

平成 23 年度
磯子区民意識調査報告書

横浜市磯子区役所

平成 23 年度 磯子区民意識調査報告書

目次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 分析の方法・結果の見方等について	1
II. 調査結果	2
1. 回答者の属性について	2
(1) F 1 性別	2
(2) F 2 年齢	2
(3) F 3 婚姻・配偶者の有無	3
(4) F 4 子どもの有無・学校教育段階	4
(5) F 5 同居の家族構成	4
(6) F 6 職業	5
(7) F 7 居住地域	6
(8) F 8 居住形態	7
(9) F 9 今の住まいに住み始めた時期	8
(10) F 10 通勤・通学先	8
(11) F 11 普段利用している鉄道駅・鉄道駅までの交通手段	9
2. 普段の生活のことや磯子区の魅力について	10
(1) 問 1 現在の生活に対する満足度	10
(2) 問 2 自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること	12
(3) 問 3 磯子区での居住意向	16
(4) 問 4 磯子区に対する愛着や誇り	18
(5) 問 5 磯子区の魅力	20
(6) 問 6 普段生活するうえで重要だと思うこと	23
(7) 問 6 各項目について現在の取り組み状況	25
3. 隣近所との付き合いや地域での活動について	28
(1) 問 7 隣近所との付き合い方	28
(2) 問 8 仕事や学業以外の活動参加	31
(3) 問 9 地域や社会に役立つ活動への参加意向	34
(4) 問 10 地域でよく利用している施設・利用してみたい施設	37
4. 生活環境全般に対する満足度・重要度について	40
(1) 問 11 生活環境に対する満足度	40
(2) 問 11 生活環境に対する満足度の以前との比較	46
(3) 問 12 住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いもの	48
(4) 問 13 磯子区が取り組むべき課題として重要度が高いもの	52

5. 区政に関する情報や区の事業などについて.....	56
(1) 問 14 区役所や市役所からの情報を入手している媒体	56
(2) 問 15 区役所から提供してほしい情報	58
(3) 問 16 磯子区で策定している方針・計画についての認知度	58
(4) 問 17 高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先	59
(5) 問 18 新杉田行政サービスコーナーの利用経験	61
6. 災害対策について.....	62
(1) 問 19 大地震が起きたときに特に心配なこと	62
(2) 問 20 大地震に対しての準備	63
(3) 問 21 磯子区や横浜市が行っている防災事業などの認知度	64
(4) 問 22 住宅用火災警報器などの設置	65
7. その他（自由意見について）	67
Ⅲ. 参考資料（調査票・単純集計結果）	69

I. 調査概要

1. 調査の目的

磯子区民のニーズや意向を的確に把握し、今後の区政運営の方向性を検討するための基礎資料とするために、区民の日常生活に関わる様々な事項について調査を実施しました。

2. 調査の方法

調査の対象者、配布・回収方法、回収率などは以下の通りです。

調査対象者	区内在住 20 歳以上の男女 3,500 人
抽出方法	住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出
調査方法	郵送式（郵送配布・郵送回収、ハガキ督促 1 回）
回答方法	無記名、選択式（一部記入式）
調査実施時期	平成 23 年 6 月 15 日～6 月 29 日
回収結果	1,864 票（有効回答 1,857 票、白紙回答 7 票）
回収率	53.3%（有効回答率 53.1%）
調査実施機関	株式会社 浜銀総合研究所

3. 分析の方法・結果の見方等について

- 設問には 1 つのみ答えるもの（シングルアンサー）と複数回答のもの（マルチアンサー）があり、マルチアンサーの設問では、表記の割合の合計は 100%を超えます。
- シングルアンサーの設問に関しても、表記の割合は選択肢ごとに少数第 2 位を四捨五入しているため、それぞれの割合の合計が 100%にならないところがあります。
- 各設問において、選択肢への○囲み、回答欄への番号や文字の記入等がなかったものについては「無回答」としてしています。また、複数の選択肢にまたがるように印をつけているためにどちらを選択しているか判断できない等については「判別不能」としてしています。
- 設問の中には前問に答えた方のみが答える設問があり、その場合には表記の「回答者数 (n)」が全体よりも少なくなっています。
- クロス集計の結果に関しては、「無回答」などの回答結果を割愛しているところがあります。
- 一部の設問については、過去に実施した磯子区民意識調査や、横浜市民意識調査等の結果と比較して調査結果を掲載しています。
- 自由記入欄、及び各設問の「その他」の内容の具体的な記述について、一つの回答の中に複数の項目について述べられている場合には、それぞれの項目について 1 件と数えているため、項目ごとの件数の合計が回答総数と一致しない場合があります。

Ⅱ. 調査結果

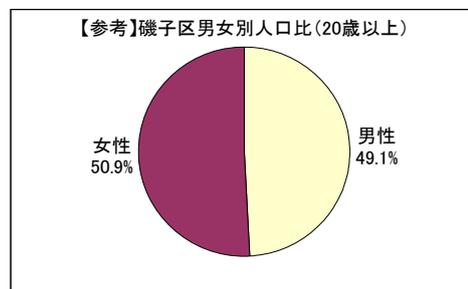
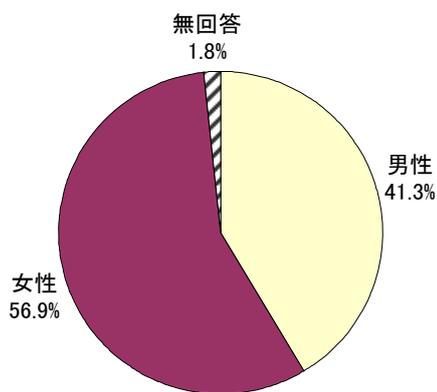
1. 回答者の属性について

(1) F1 性別

回答者の性別は、「男性」が41.3%、「女性」が56.9%と、女性のほうが多くなっています。

なお、磯子区の人口（平成23年3月末現在）は、男性は67,860人、女性は70,324人となっており、本調査における回答者の構成比は、実際の人口構成よりも女性の割合がやや高くなっています。

図1 回答者の性別（n=1,857）



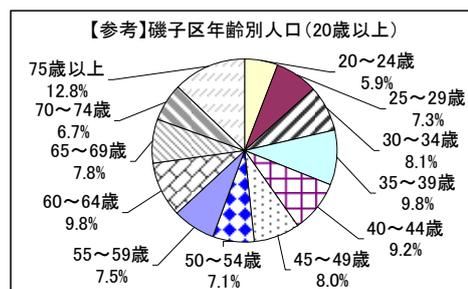
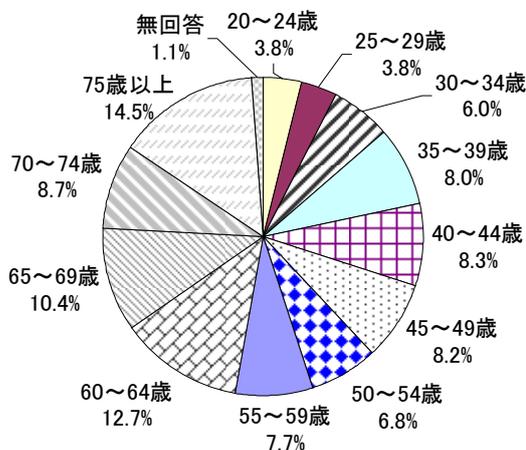
出所：磯子区町丁目別男女別人口（平成23年3月末）

(2) F2 年齢

年齢は、「75歳以上」が14.5%と最も多く、次いで「60～64歳」が12.7%となっています。60歳代、70歳代の方が多くわかります。

なお、磯子区の人口の年齢構成（平成23年3月末現在）は、図2の右の枠内に示した通りとなっています。本調査の回答者は、55歳未満の層では区全体と比べて割合が低く、55歳以上の層では区全体よりも割合が高くなっており、実際よりも高齢層への偏りがみられます。

図2 回答者の年齢（n=1,857）



出所：磯子区年齢別人口（平成23年3月末）

(3) F 3 婚姻・配偶者の有無

《婚姻・配偶者の有無》

婚姻・配偶者の有無について、「既婚（配偶者あり）」が67.4%、「既婚（離死別）」が12.4%、「未婚」が17.1%となっています。

《夫婦共働きの有無》（F 3 - 1）

「既婚（配偶者あり）」と回答した方について、共働きしているかどうかをたずねたところ、「フルタイム共働き」が13.7%、「パートタイム共働き（夫婦の何れか、あるいは両方がパートタイム）」が23.6%、「していない」は60.7%でした。

図3 回答者の婚姻・配偶者の有無（n=1,857）

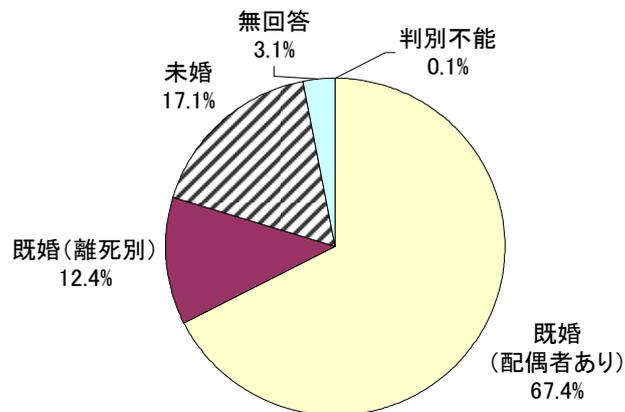
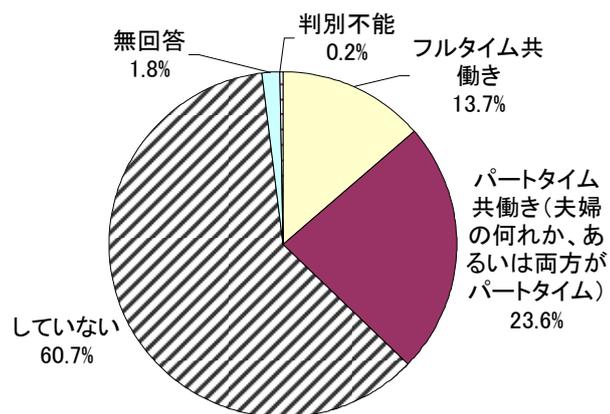


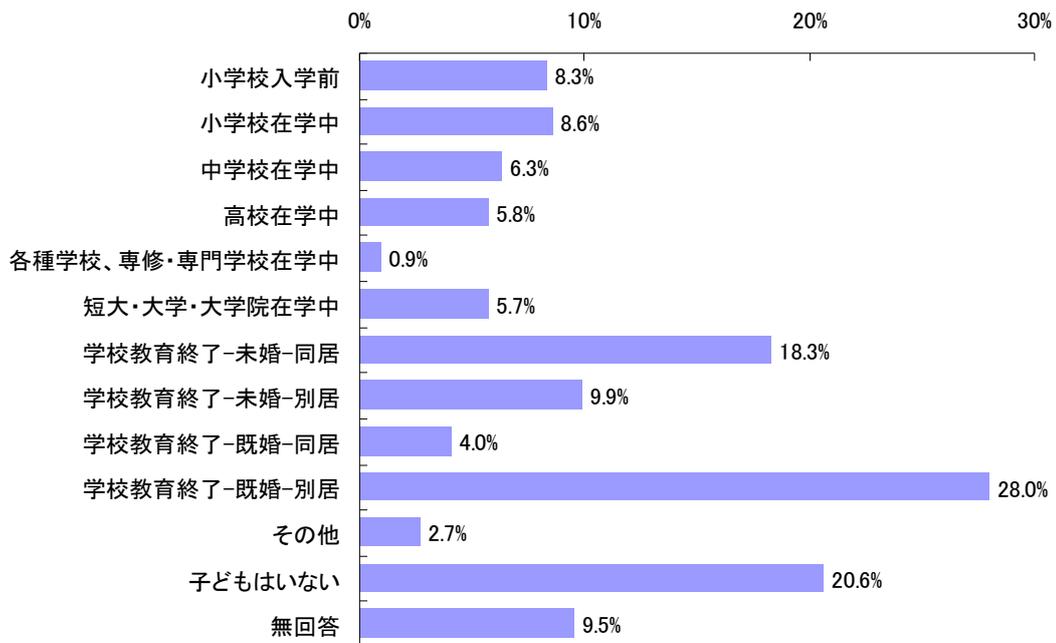
図4 夫婦共働きの有無（n=1,251）



(4) F 4 子どもの有無・学校教育段階

子どもの有無ならびに学校教育段階について、最も多かったのは「学校教育終了-既婚-別居」で 28.0%、次いで「子どもはいない」が 20.6%、「学校教育終了-未婚-同居」が 18.3%となっています。
「その他」は 2.7%で、25 件の記入がありました。

図5 回答者の子どもの有無・学校の教育段階 (n=1,857)

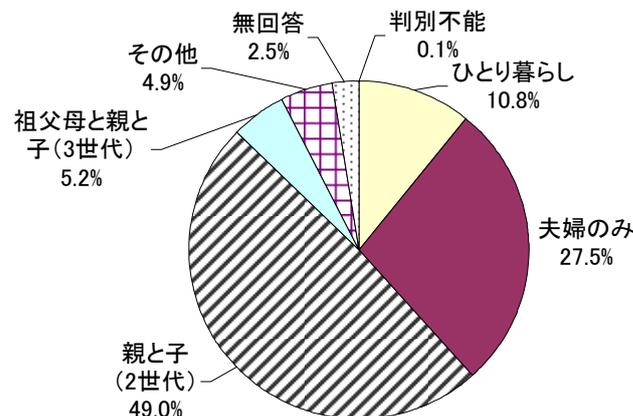


(5) F 5 同居の家族構成

同居の家族構成について、最も多かったのは「親と子 (2 世代)」で 49.0%、次いで「夫婦のみ」が 27.5%、「ひとり暮らし」が 10.8%、「祖父母と親と子 (3 世代)」が 5.2%、「その他」が 4.9%となっています。

「その他」は 4.9%で、75 件の記入がありました。内容は、「兄弟姉妹と同居」、「血縁者以外と同居」がそれぞれ 6 件、「夫婦と兄弟姉妹」、「祖父母と孫」がそれぞれ 4 件などでした。

図6 回答者の同居の家族構成 (n=1,857)



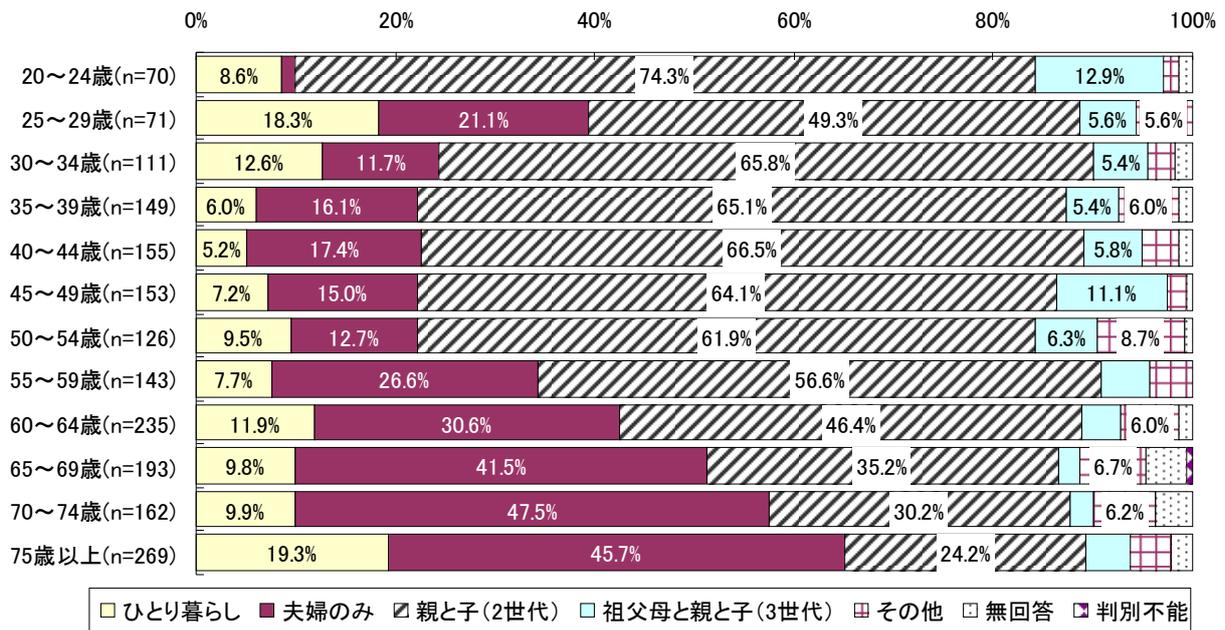
《年齢層別にみた回答者の同居の家族構成》

回答者の家族構成を年齢層別にみると、図7のようになっており、家族構成には各年齢層に応じた特徴がみられます。

「20～24歳」と比べ、「25～29歳」では「ひとり暮らし」と「夫婦のみ」の割合が大きく上昇し、「親と子（2世代）」が低下しています。「30～34歳」では「親と子（2世代）」が6割を超え、この層から「50～54歳」の層までは構成比が比較的安定して推移しています。55歳以上では高齢層になるほど「親と子（2世代）」の割合が低く、「夫婦のみ」が高くなる傾向が顕著にみられます。

また、「75歳以上」では「ひとり暮らし」の割合が全年齢層の中で最も高く、約2割となっています。

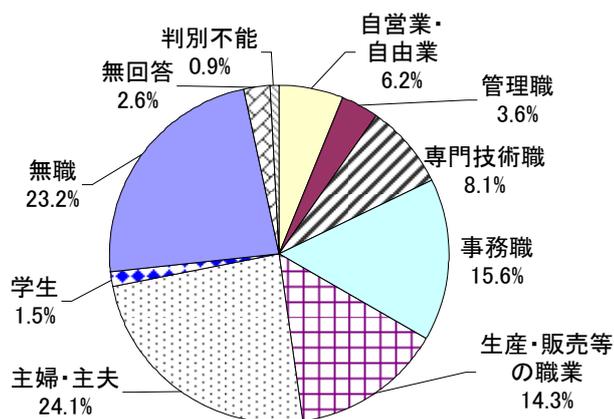
図7 年齢層別にみた回答者の同居の家族構成



(6) F6 職業

職業について、最も多かったのは「主婦・主夫」で24.1%、次いで「無職」が23.2%となっています。また、「事務職」が15.6%、「生産・販売等の職業」が14.3%となっています。

図8 回答者の職業 (n=1,857)

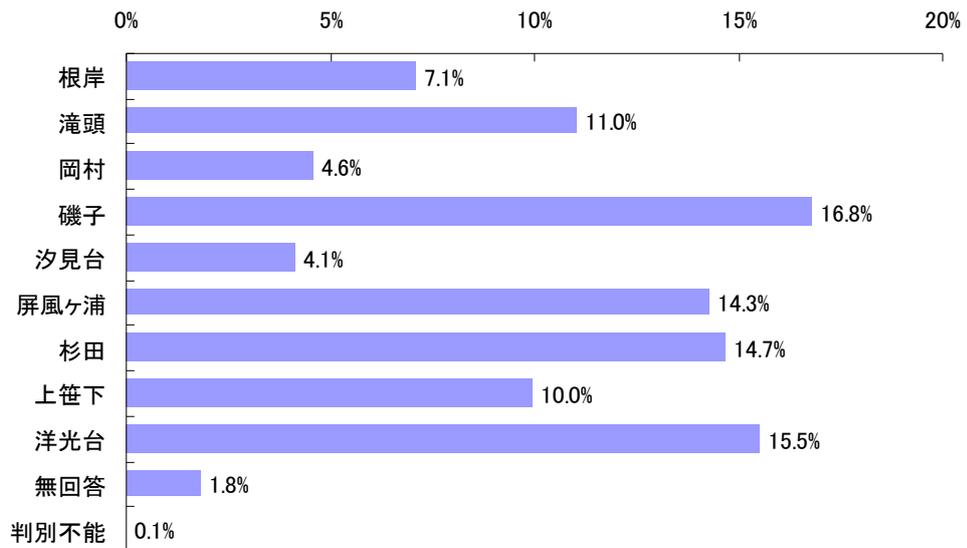


(7) F7 居住地域

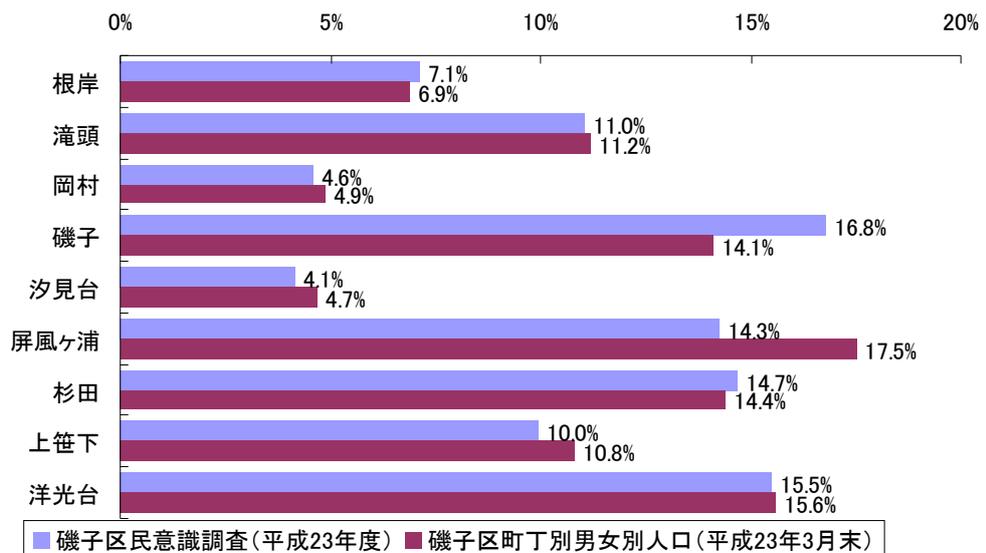
回答者の居住地域について、最も多かったのは磯子で、割合は16.8%でした。次いで洋光台が15.5%、杉田が14.7%、屏風ヶ浦が14.3%となっています。

なお、磯子区における地域別の人口構成（平成23年3月末現在）と比較すると、今回の調査における回答者の居住地域は、おおむね実際の構成比と近いものになっていますが、磯子では割合が実際よりも高く、また屏風ヶ浦においては実際よりも低くなっています。

図9 回答者の居住地域（n=1,857）



【参考】「磯子区町丁別男女別人口」（平成23年3月末現在）との比較



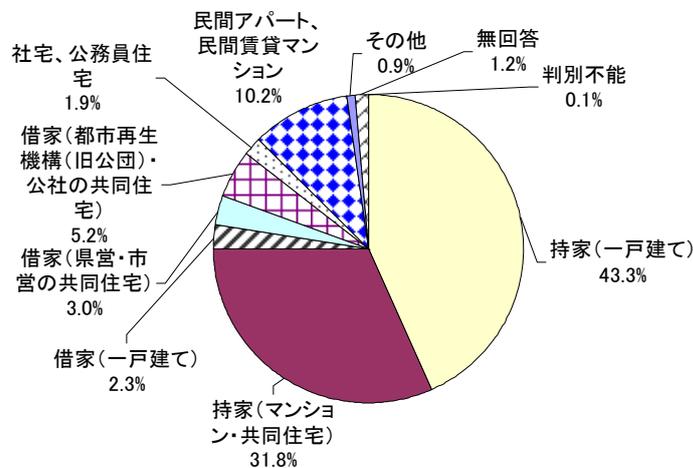
(8) F 8 居住形態

居住形態について、最も多かったのは「持家（一戸建て）」で43.3%、次いで「持家（マンション・共同住宅）」が31.8%、「民間アパート・民間賃貸マンション」が10.2%となっています。

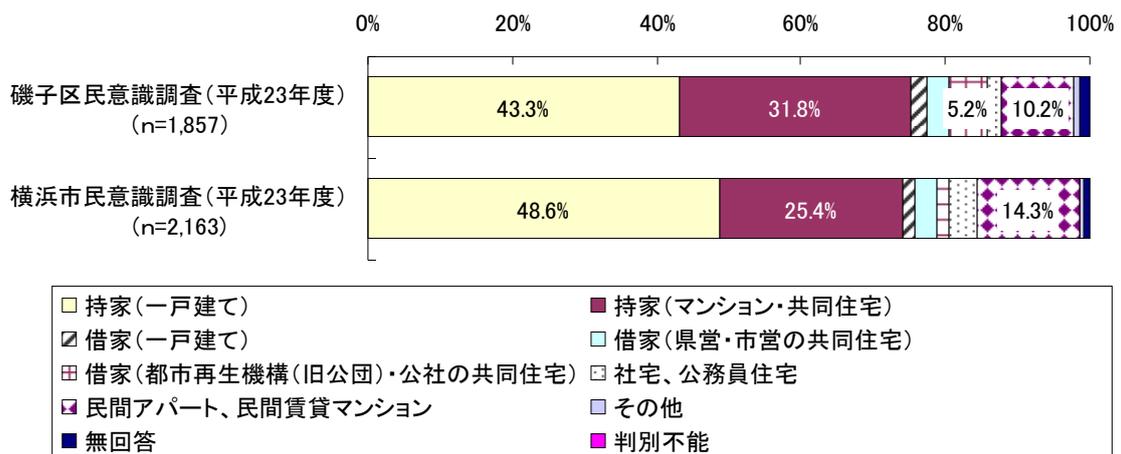
「その他」は0.9%で、13件の記入がありました。内容は、「高齢者住宅」、「施設」、「グループホーム」、「親戚の家に同居」（それぞれ1件）などでした。

「横浜市民意識調査」（平成23年度）と比較すると、持家率（「持家（一戸建て）」＋「持家（マンション・共同住宅）」）は市全体と大差ありませんが、内訳をみると「持家（一戸建て）」が5.3ポイント低く、「持家（マンション・共同住宅）」が6.4ポイント高くなっています。

図10 回答者の居住形態（n=1,857）



【参考】「横浜市民意識調査」（平成23年度）との比較

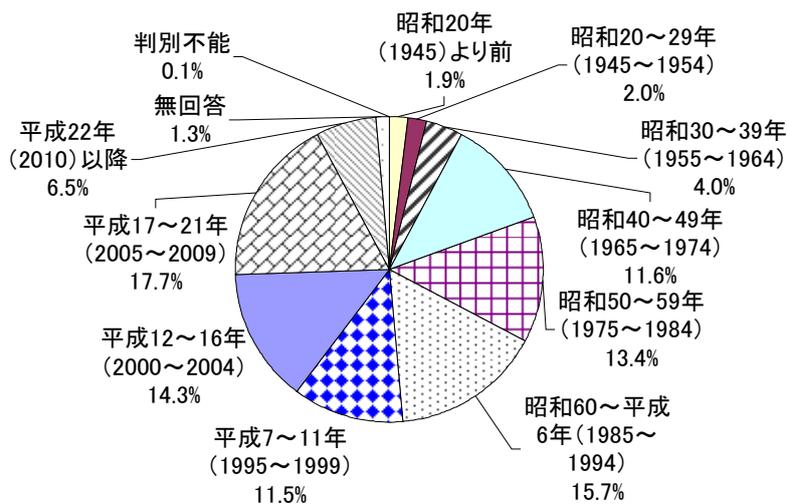


(9) F 9 今の住まいに組み始めた時期

今の住まいに組み始めた時期について、最も多かったのは「平成 17～21 年(2005～2009)」で 17.7%、次いで「昭和 60～平成 6 年 (1985～1994)」が 15.7%となっています。

戦前(昭和 20 年(1945)以前)から今の住まいに住んでいる方が 1.9%いる一方で、平成 12 年(2000)以降に組み始めた方の割合が約 4 割となっており、比較的居住年数の少ない方が多くいることがわかります。

図 1 1 回答者が今の住まいに組み始めた時期 (n=1,857)

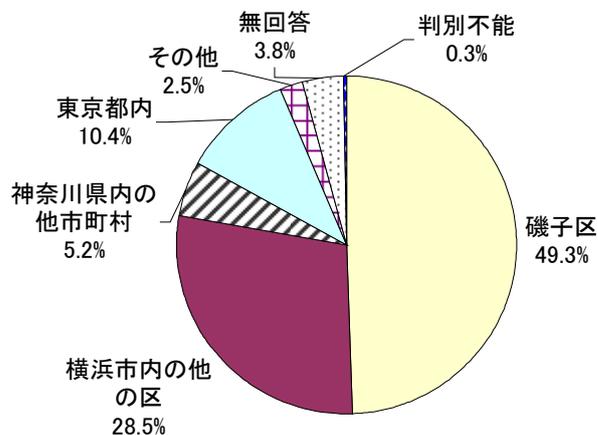


(10) F 10 通勤・通学先

通勤・通学先(または日常生活を主に過ごす場所)について、最も多かったのは「磯子区」で 49.3%、次いで「横浜市内の他の区」が 28.5%、「東京都内」が 10.4%となっています。

「その他」は 2.5%で、26 件の記入がありました。内容は、「自宅、自分の部屋」が 6 件、「日によって違う」が 2 件などでした。

図 1 2 回答者の通勤・通学先 (n=1,857)



(11) F11 普段利用している鉄道駅・鉄道駅までの交通手段

《普段利用している鉄道駅》

普段利用している鉄道駅(最も利用頻度の高い駅)について、最も多かったのは「洋光台駅」で20.3%、次いで「磯子駅」が15.8%、「根岸駅」が15.2%となっています。

「その他」は4.0%で、58件の記入がありました。「京急富岡駅」が16件、「金沢文庫駅」が9件、「弘明寺駅」(京急、及び市営地下鉄を含む)が9件、「蒔田駅」が7件などでした。

《鉄道駅までの交通手段》(F11-1)

普段利用している鉄道駅までの交通手段について、最も多かったのは「徒歩のみ」で47.8%、次いで「バス」が25.9%となっています。「その他」は1.6%で、22件の記入がありました。内容は、「タクシー」が5件などでした。

図13 回答者が普段よく利用している鉄道駅 (n=1,857)

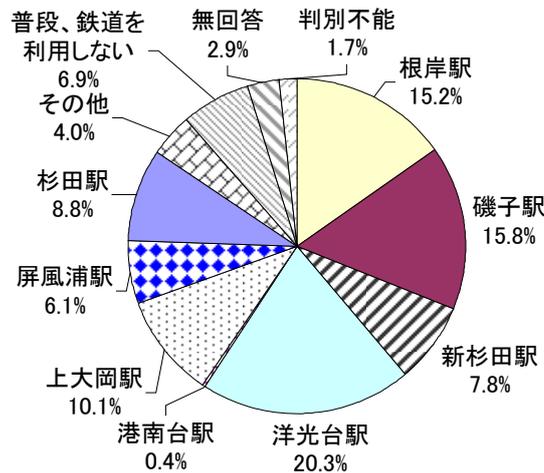
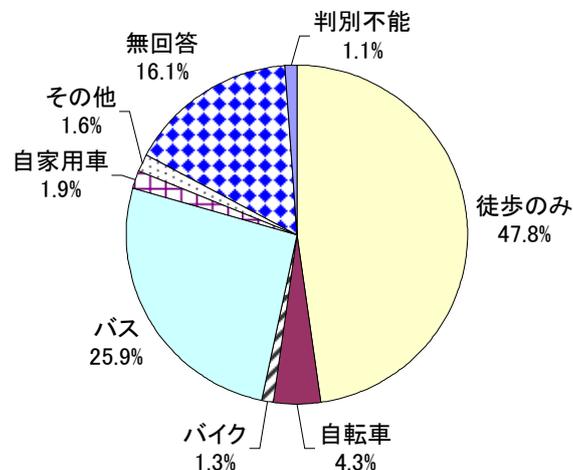


図14 回答者の鉄道駅までの交通手段 (n=1,643)



2. 普段の生活のことや磯子区の魅力について

(1) 問1 現在の生活に対する満足度

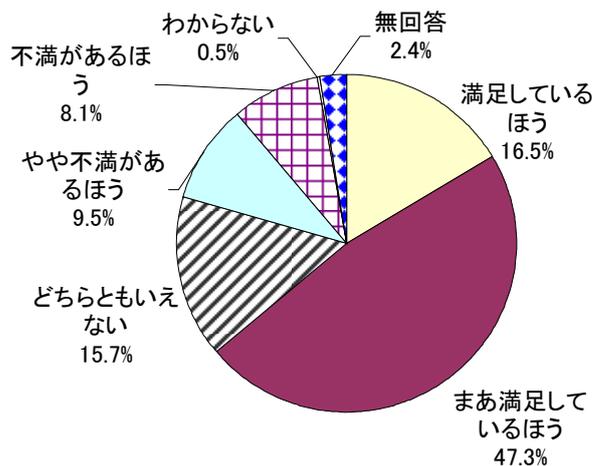
現在の自分の生活に対する満足度は、「満足しているほう」が 16.5%、「まあ満足しているほう」が 47.3%、「どちらともいえない」が 15.7%、「やや不満があるほう」が 9.5%、「不満があるほう」が 8.1% となっています。

「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」（平成 16 年度）の回答と比較すると、今回の調査では平成 16 年度と比較して「満足しているほう」の割合が増えていることがわかります。

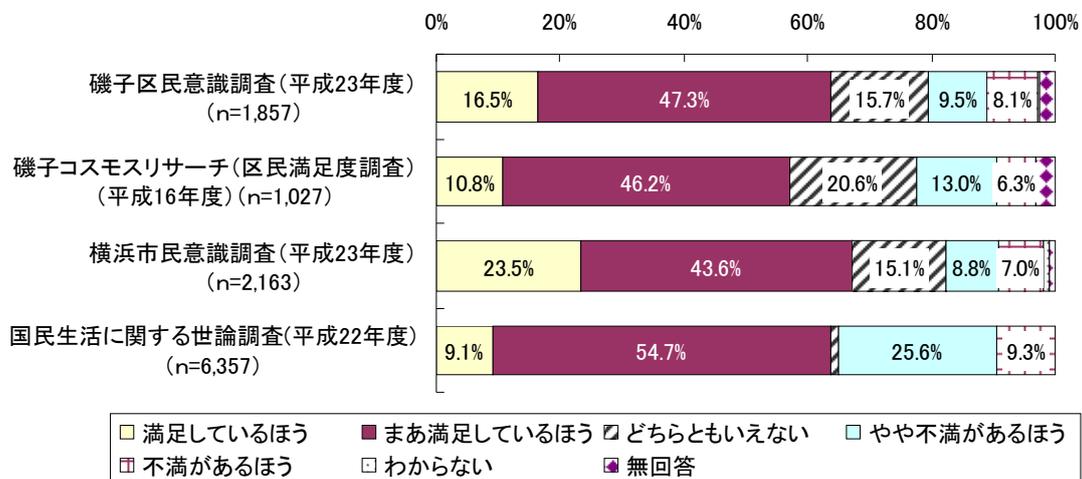
横浜市全体と磯子区の満足度を比較するため、「横浜市民意識調査」（平成 23 年度）をみると、磯子区では「満足しているほう」の割合が横浜市全体と比べ低くなっています。

また、「国民生活に関する世論調査」（平成 22 年度、内閣府）と比較すると、「満足しているほう」の割合が 7.4 ポイント上回っており、磯子区では全国の平均よりも満足度が高いことがうかがえます。

図 15 現在の生活に対する満足度（n=1,857）



【参考】他の調査との比較



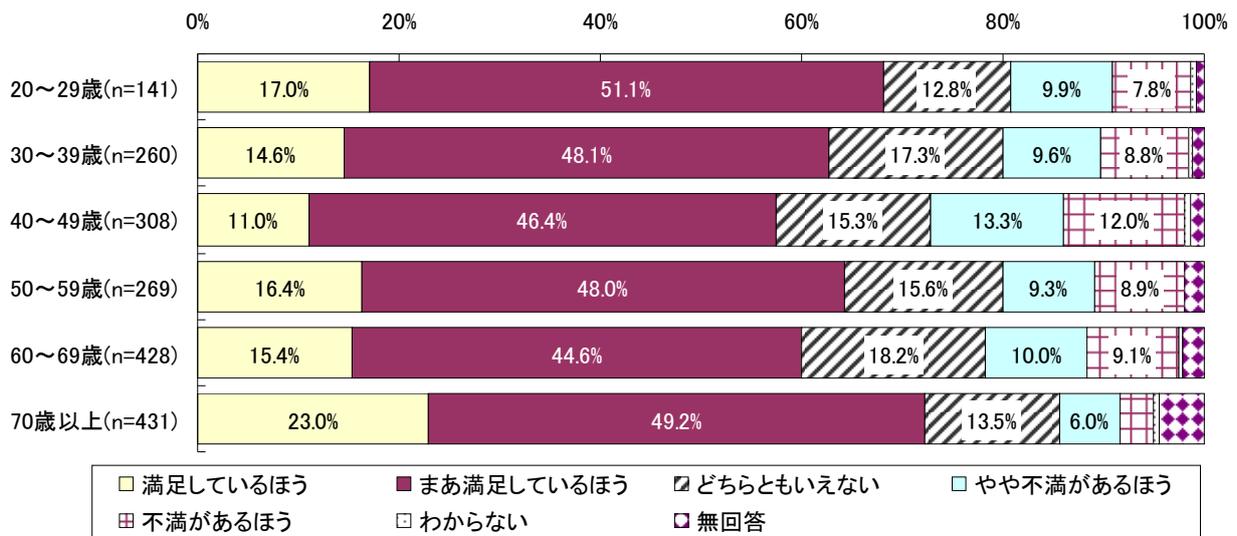
※磯子コスモスリサーチには、「わからない」という選択肢はありませんでした

《年齢層別にみた現在の生活に対する満足度》

現在の生活に対する満足度を年齢層別にみると、図16のようになっています。

「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」の合計をみると、「70歳以上」が最も高く、次いで「20～29歳」、「50～59歳」となっています。また「70歳以上」においては、約4分の1の方が「満足しているほう」と回答しており、他の年齢層と比べ割合が高くなっています。

図16 年齢層別にみた現在の生活に対する満足度

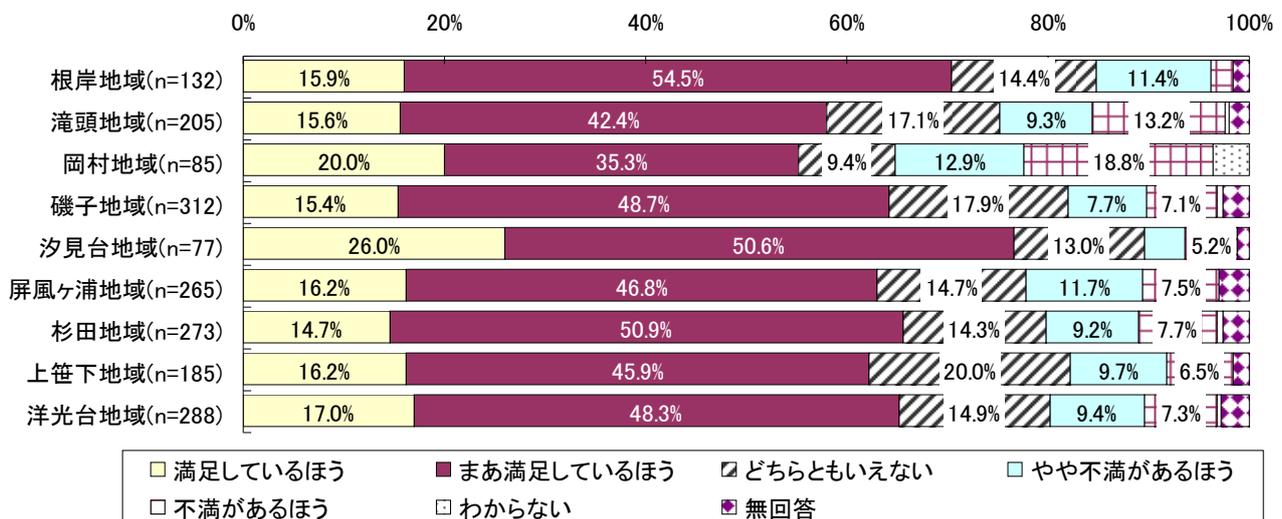


《居住地域別にみた現在の生活に対する満足度》

現在の生活に対する満足度を居住地域別にみると、根岸地域と汐見台地域では「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」の合計が高くなっており、汐見台地域では「満足しているほう」の割合が全地域中で最も高くなっています。

一方、滝頭地域、岡村地域では「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」の合計が他の地域よりも低くなっており、特に岡村地域では「やや不満があるほう」と「不満があるほう」の合計が3割を超えています。

図17 居住地域別にみた現在の生活に対する満足度



(2) 問2 自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

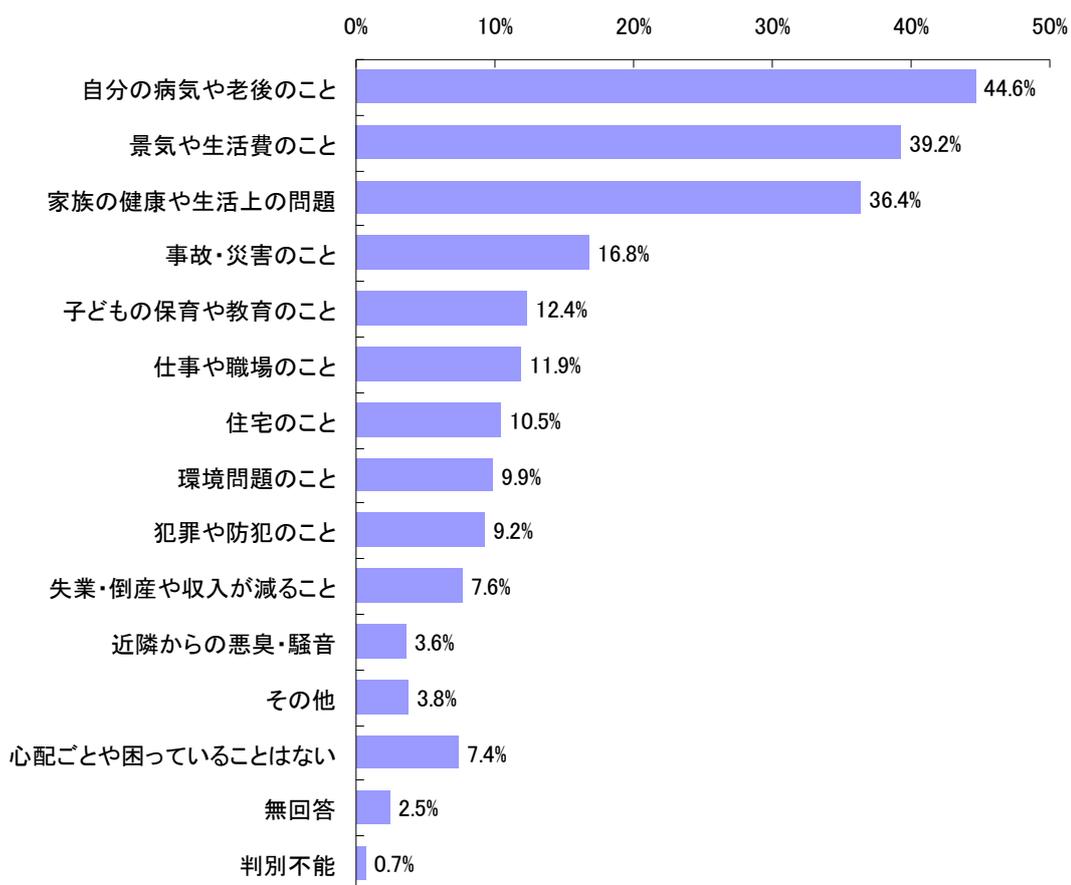
自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて、項目を3つまで挙げてもらったところ、「自分の病気や老後のこと」が最も多く、次いで「景気や生活費のこと」、「家族の健康や生活上の問題」となっています。

「その他」は3.8%で、60件の記入がありました。内容は、「老後や介護への不安」が14件、「ネコ・ハト・ペット等の糞尿に関すること」が9件、「生活環境に関すること（動物の糞尿に関すること以外）」が9件、「原発事故、放射能に関すること」が9件（電力供給の不安定さに対する心配1件を含む）などとなっています。

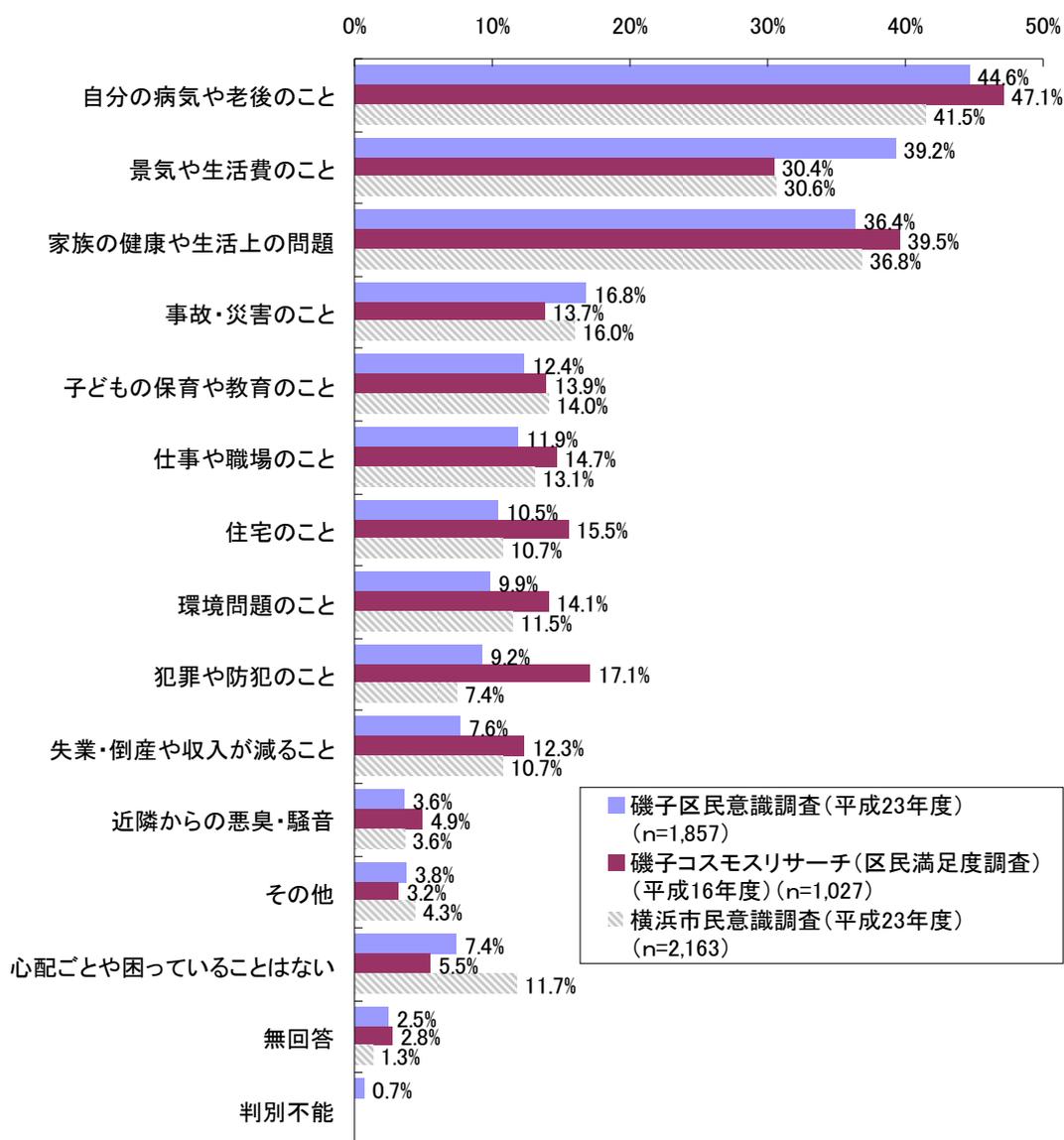
「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」（平成16年度）における同様の設問の回答と比較すると、今回の調査では「犯罪や防犯のこと」、「住宅のこと」のように割合が低くなっている項目がみられる一方、「景気や生活費のこと」のように平成16年度よりも割合が高くなっているものもみられます。

「横浜市民意識調査」（平成23年度）における同様の設問の結果と比較すると、「景気や生活費のこと」は「横浜市民意識調査」よりも8.6ポイント高く、特に差が大きい項目となっています。

図18 自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること（n=1,857）



【参考】他の調査との比較



《年齢層別にみた心配ごと、困っていること》

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて年齢層別にみると、表1のようになっています。「自分の病気や老後のこと」は年齢とともに割合が高まる傾向があり、「子供の保育や教育のこと」は30～44歳の間で3割を上回るなど、特定の年代と関係の深い項目については、年齢と割合の間に関連性がみられます。

表1 年齢層別にみた自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

	自分の病気や老後のこと	景気や生活費のこと	家族の健康や生活上の問題	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	犯罪や防犯のこと
20～24歳(n=70)	12.9%	40.0%	22.9%	4.3%	30.0%	7.1%	12.9%
25～29歳(n=71)	16.9%	50.7%	33.8%	23.9%	39.4%	11.3%	4.2%
30～34歳(n=111)	18.9%	42.3%	35.1%	32.4%	26.1%	6.3%	13.5%
35～39歳(n=149)	24.2%	49.0%	29.5%	35.6%	15.4%	9.4%	13.4%
40～44歳(n=155)	24.5%	47.7%	33.5%	34.8%	21.9%	9.7%	7.1%
45～49歳(n=153)	34.0%	42.5%	34.0%	24.2%	18.3%	15.0%	7.8%
50～54歳(n=126)	51.6%	31.0%	40.5%	15.9%	11.9%	11.9%	7.9%
55～59歳(n=143)	44.1%	46.9%	35.0%	1.4%	11.9%	11.9%	7.0%
60～64歳(n=235)	55.7%	40.9%	39.1%	0.9%	5.5%	6.8%	8.1%
65～69歳(n=193)	60.6%	36.8%	44.6%	1.6%	4.1%	5.7%	6.7%
70～74歳(n=162)	67.3%	34.0%	36.4%	0.0%	0.6%	4.3%	13.0%
75歳以上(n=269)	60.2%	26.4%	38.7%	0.7%	0.7%	0.7%	9.3%
	住宅のこと	事故・災害のこと	環境問題のこと	近隣からの悪臭・騒音	その他	心配ごとや困っていることはない	無回答
20～24歳(n=70)	8.6%	17.1%	11.4%	8.6%	10.0%	12.9%	2.9%
25～29歳(n=71)	8.5%	19.7%	5.6%	4.2%	0.0%	7.0%	0.0%
30～34歳(n=111)	14.4%	20.7%	7.2%	3.6%	1.8%	7.2%	0.0%
35～39歳(n=149)	12.8%	16.1%	7.4%	5.4%	3.4%	6.7%	0.7%
40～44歳(n=155)	11.6%	13.5%	6.5%	1.3%	4.5%	7.1%	3.9%
45～49歳(n=153)	12.4%	13.7%	11.8%	6.5%	3.3%	5.2%	0.0%
50～54歳(n=126)	15.1%	14.3%	16.7%	6.3%	4.8%	5.6%	2.4%
55～59歳(n=143)	7.0%	18.9%	11.9%	1.4%	5.6%	9.1%	3.5%
60～64歳(n=235)	13.6%	17.0%	11.5%	3.8%	3.0%	6.4%	2.6%
65～69歳(n=193)	9.3%	15.5%	9.3%	2.6%	3.1%	6.7%	4.1%
70～74歳(n=162)	9.9%	16.0%	9.9%	2.5%	2.5%	7.4%	2.5%
75歳以上(n=269)	5.2%	19.3%	9.3%	1.5%	4.8%	9.3%	3.7%

◻: 他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

《居住地域別にみた心配ごと、困っていること》

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて居住地域別にみると、表2のようになっています。汐見台地域では「自分の病気や老後のこと」の比率が28.6%と低く、「子供の保育や教育のこと」が他地域よりも高くなっており、一方で岡村地域では「自分の病気や老後のこと」が半数を超えているなど、地域による差がみられます。

表2 居住地域別にみた自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

	自分の病気や老後のこと	景気や生活費のこと	家族の健康や生活上の問題	子どもの保育や教育のこと	仕事や職場のこと	失業・倒産や収入が減ること	犯罪や防犯のこと
根岸地域(n=132)	43.2%	33.3%	35.6%	9.1%	13.6%	9.1%	6.8%
滝頭地域(n=205)	45.4%	42.4%	38.5%	12.7%	8.8%	9.8%	11.7%
岡村地域(n=85)	51.8%	47.1%	40.0%	11.8%	16.5%	9.4%	9.4%
磯子地域(n=312)	47.8%	40.7%	35.6%	14.7%	8.7%	7.4%	6.7%
汐見台地域(n=77)	28.6%	31.2%	35.1%	23.4%	16.9%	3.9%	11.7%
屏風ヶ浦地域(n=265)	43.4%	40.8%	38.9%	12.8%	11.3%	7.5%	9.1%
杉田地域(n=273)	46.5%	38.1%	38.5%	9.9%	14.3%	6.2%	9.9%
上笹下地域(n=185)	43.2%	41.1%	31.4%	7.0%	15.1%	9.7%	9.7%
洋光台地域(n=288)	42.0%	36.5%	35.1%	14.9%	10.4%	6.3%	9.7%
	住宅のこと	事故・災害のこと	環境問題のこと	近隣からの悪臭・騒音	その他	心配ごとや困っていることはない	無回答
根岸地域(n=132)	8.3%	18.2%	10.6%	3.8%	4.5%	6.8%	3.0%
滝頭地域(n=205)	13.2%	19.5%	11.2%	2.4%	2.0%	7.8%	0.5%
岡村地域(n=85)	12.9%	14.1%	4.7%	8.2%	2.4%	4.7%	1.2%
磯子地域(n=312)	7.7%	19.9%	9.6%	3.8%	3.5%	7.1%	2.9%
汐見台地域(n=77)	16.9%	10.4%	3.9%	2.6%	5.2%	9.1%	5.2%
屏風ヶ浦地域(n=265)	6.4%	14.3%	7.2%	3.0%	3.4%	6.0%	4.2%
杉田地域(n=273)	11.7%	14.3%	13.2%	3.7%	5.5%	8.1%	1.1%
上笹下地域(n=185)	12.4%	17.3%	11.4%	2.7%	2.7%	8.6%	1.6%
洋光台地域(n=288)	11.8%	18.1%	10.4%	3.5%	4.2%	8.0%	2.8%

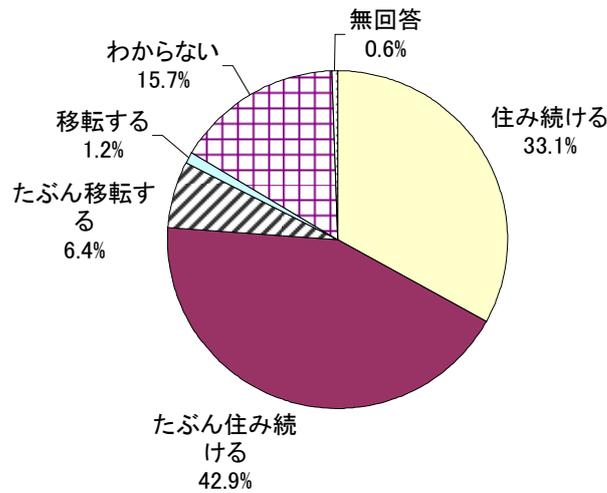
28.6% : 他地域と比較して顕著な特徴の見られる部分

(3) 問3 磯子区での居留意向

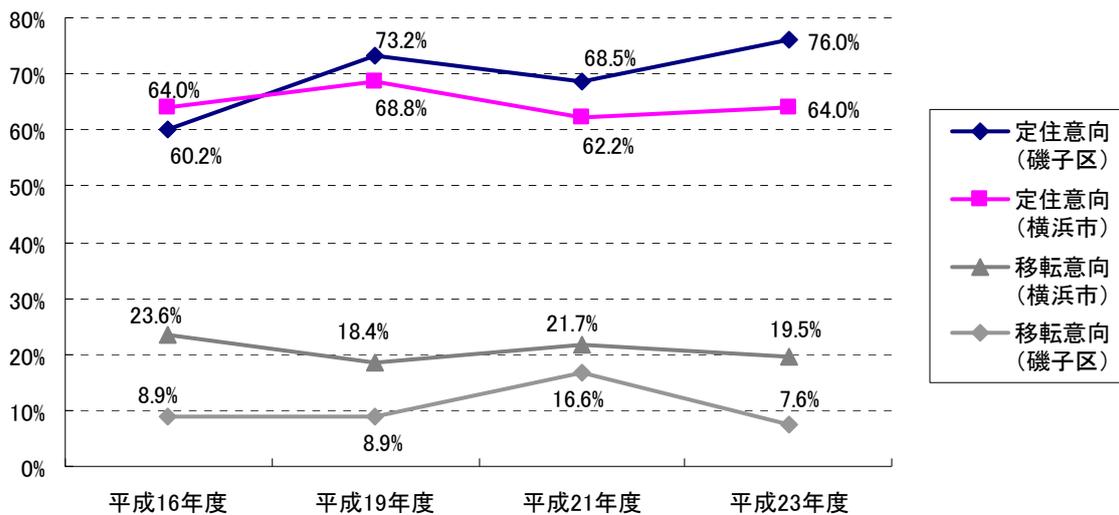
「これからもずっと磯子区に住み続けたい」かどうかについて、「住み続ける」が33.1%、「たぶん住み続ける」が42.9%、「たぶん移転する」が6.4%、「移転する」が1.2%となっています。

なお、質問の仕方が異なるため単純な比較はできませんが、参考までにこれまでに実施した「磯子区民意調査」及び「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」と比較すると、「住み続けたい」という意向が以前よりもやや高くなっていることがわかります。また「横浜市民意識調査」と比較すると、磯子区では横浜市全体よりも定住意向がやや高く、移転意向が低いという傾向が見られます。

図19 磯子区に住み続けたいかどうか (n=1,857)



【参考】過去の「磯子区民意調査」、「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」、及び「横浜市民意識調査」との比較



※「磯子区民意調査」（平成19年度、21年度）、及び「横浜市民意識調査」では、「現在の住まいに住み続けたいか」という趣旨の質問となっています

※定住意向：「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の割合の合計

移転意向：「移転する」と「たぶん移転する」の割合の合計

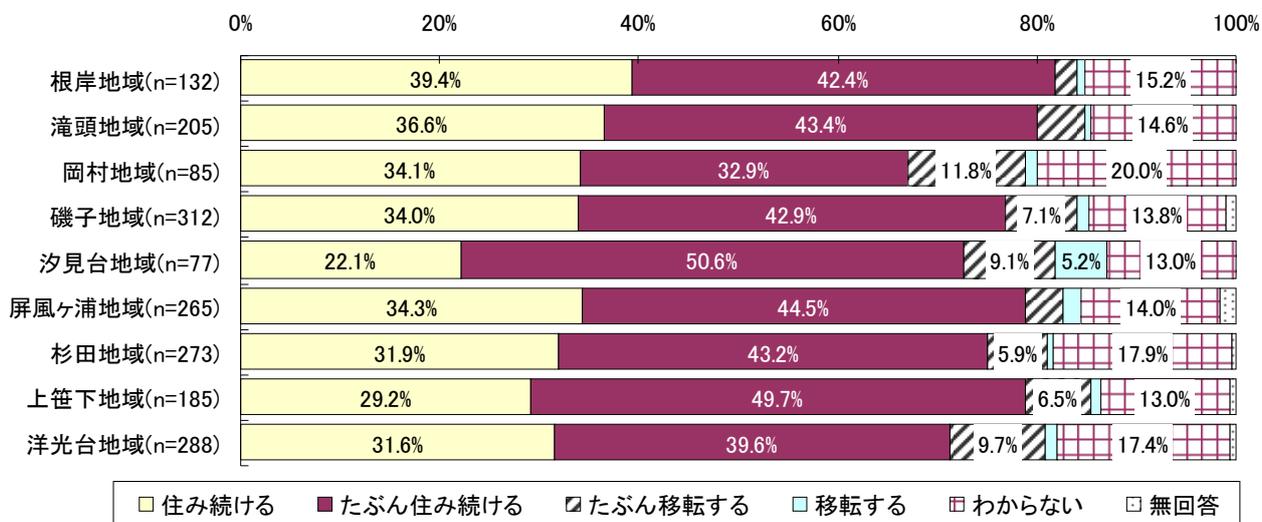
《居住地域別にみた磯子区での居留意向》

「これからもずっと磯子区に住み続けたい」かどうかについて居住地域別にみると、図 20 のようになっています。

「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の合計をみると、根岸地域が最も高く、また岡村地域が最も低くなっています。

なお、「住み続ける」の割合をみると、最も高い根岸地域では約 4 割となっていますが、汐見台地域では他の地域と比べ最も低く、約 2 割となっています。

図 20 居住地域別にみた磯子区での居留意向

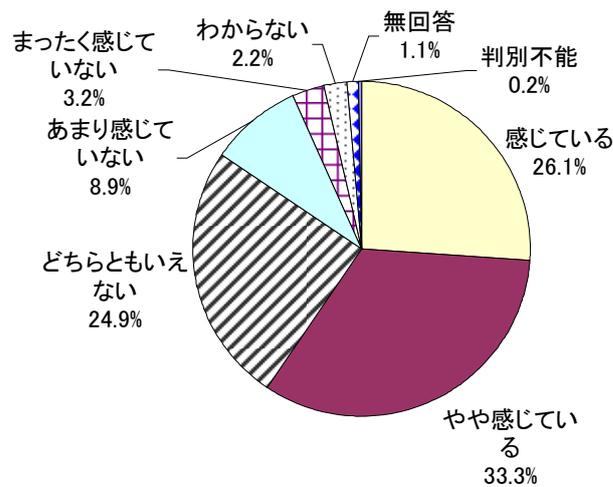


(4) 問4 磯子区に対する愛着や誇り

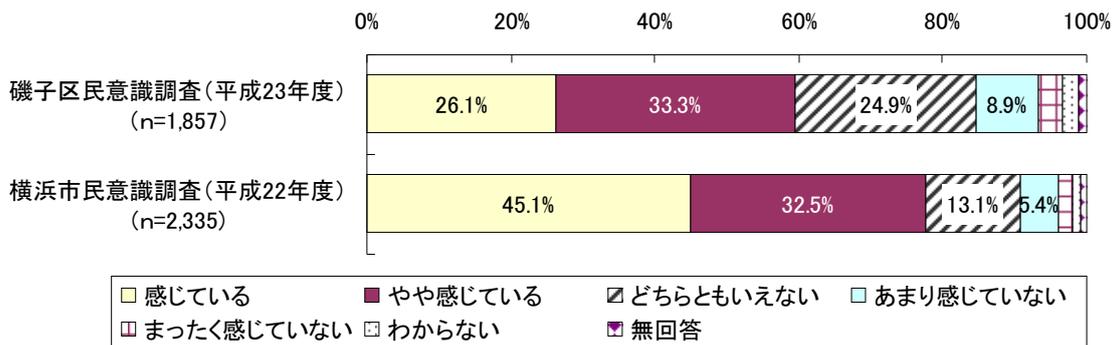
磯子区に愛着や誇りを感じているかについて、「感じている」は26.1%、「やや感じている」が33.3%、「どちらともいえない」が24.9%、「あまり感じていない」が8.9%、「まったく感じていない」が3.2%となっています。

「横浜市民意識調査」(平成22年度)の同様の設問と比較すると、「感じている」が19.0ポイント、「感じている」と「やや感じている」の合計が18.2ポイント低くなっています。

図21 磯子区に愛着や誇りを感じているか (n=1,857)



【参考】「横浜市民意識調査」(平成22年度)との比較



※「横浜市民意識調査」では、「あなたは、横浜というまちに対して、愛着や誇りを感じていますか。」という設問となっています

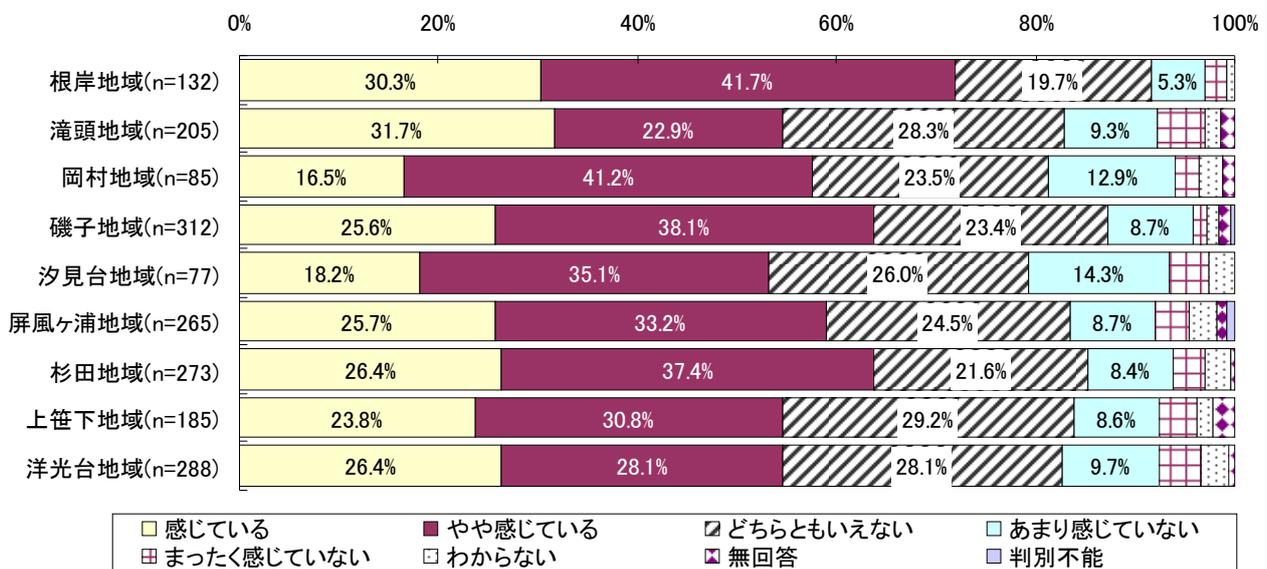
《居住地域別にみた磯子区に対する愛着や誇り》

磯子区に愛着や誇りを感じているかについて居住地域別にみると、図 22 のようになっています。

磯子区に対する愛着や誇りを「感じている」と「やや感じている」の合計をみると、根岸地域で最も高く、約 7 割となっています。

その他の地域では「感じている」と「やや感じている」の合計が 6 割前後となっていますが、その内訳には地域による差がみられます。滝頭地域では「感じている」が 31.7%と全地域で最も高くなっていますが、岡村地域と汐見台地域では「感じている」の割合が他に比べ低く、どちらの地域も 2 割を下回っています。

図 2 2 居住地域別にみた磯子区に対する愛着や誇り



(5) 問5 磯子区の魅力

磯子区の魅力は何であると考えるかについて、自由記述にてたずねたところ、1,168 件の回答がありました。磯子区の魅力として、以下のような事柄が挙げられています。

表3 磯子区の魅力として回答に挙げられている事柄

磯子区の魅力として回答に挙げられている事柄	件数
自然が豊かであること（海、山、緑等）	483 件
自宅周辺の住環境がよいこと（静か、住みやすい等）	318 件
生活に便利であること（交通の便がよい等）	238 件
まちの雰囲気、住民の気質がよいこと	98 件
その他の魅力	226 件

※一つの回答の中に複数の項目について述べられている場合には、それぞれの項目について1件と数えているため、項目ごとの件数の合計は回答総数と一致しません

《自然が豊かであること》

磯子区の魅力として、「自然が豊かであること」について約4割の方から回答が寄せられました。主な内容としては「海が近い」、「海があり山がある」など自然の景観を挙げているものと、「都心に近い割に緑が豊かである」など都市の中にある緑や身近な自然について記述しているものとなっています。とくに、「海と山」が織りなす景観について触れている回答が多くみられます。

寄せられた回答からは、磯子区の自然環境に対して区民の多くが「海が近く、山や森（市民の森など）があり、街中に緑が多い」というイメージを抱いていることがうかがえます。ただ、以前と比較して海などの環境が悪化していることを残念に思う意見も寄せられています。

寄せられた回答の例	回答者の属性 (年齢、性別、居住地域)
海もあり山もある 景観が良い。自然が（緑が）ある	30代、男性、滝頭
円海山、久良岐公園など多くの緑があり、街中にも草木が多い。根岸湾も高台から見え、環境がよいと思う。	30代、女性、汐見台
海が近くにあり緑が多い所	40代、女性、屏風ヶ浦
都心から適度な距離にあってかつ、自然も感じられる	40代、女性、杉田
海があり、丘がある。田舎でもなく都会でもない	50代、女性、磯子
都心と自然の調和しているところ	50代、男性、上笹下
海があることであったが埋め立てによる海の景色が変わり残念である、一考願いたい。	70代以上、性別無回答、屏風ヶ浦

※記述内容は原文をそのまま引用しています

《自宅周辺の住環境がよいこと》

「公園や街がきれい」、「静かで住みやすい」、「落ち着いている」など、住環境がよいことについての回答が回答者の約4分の1から寄せられ、閑静でゆったりとした住環境に魅力を感じている方も多いことがうかがえます。また、「治安がよい」、「自然災害が少ない」といった、安全な地域であることを評価する回答もみられました。

寄せられた回答の例	回答者の属性 (年齢、性別、居住地域)
住宅地は比較的静かで暮らしやすく、それなりに近代化されているので住み良い町だと思います。	20代、女性、杉田
大きな公園があり、運動、休息ができる。横浜駅など横浜の中心へのアクセスが良い。落ちついている。	20代、男性、根岸
横浜市内としては緑に恵まれ、居住地付近は静かである。交通の便も悪くない。	50代、男性、岡村
都会でもなく不便でもなく、住環境(交通、静かな街並み、眺望、空気等)もよく、近隣の人柄も良い。	50代、男性、屏風ヶ浦
治安の良いこと。公園や町もきれいで住みやすいこと。	60代、女性、洋光台
住みやすいところ、高齢者も多いが若い人も周りに住んでいて安心出来る静かな落ち着いている町	60代、女性、滝頭

※記述内容は原文をそのまま引用しています

《生活に便利であること》

「交通の便がよい」、「買い物に便利」、「横浜や東京都心に近い」といった回答が回答者の約2割から寄せられ、東京や横浜までのアクセスのよさ、そして地域交通や日常の買い物といった普段の生活が便利であることも磯子区の魅力として挙げられています。医療施設や公共施設が充実していることを挙げている方もみられました。

寄せられた回答の例	回答者の属性 (年齢、性別、居住地域)
住宅街ではあるが生活に必要な施設(区役所が分かりやすい、スーパー等も多く、商店街も多いと思う)が多い。公園もあり、賑やかな所である。	30代、女性、洋光台
都心までの便が良い 生活に不自由しない。	40代、男性、磯子
交通の便がよく、近くに商店、マーケット、大型店等、買い物にも便利です。また公園も整備されて環境も良い。	50代、女性、滝頭
ショッピング、病院などインフラが整っている。	50代、男性、屏風ヶ浦
市中心部へのアクセスも良く、緑も多く、各施設も便利な所にあるところ。高齢化していてもサービスが充実して利用しやすいかなと思えるところ。	60代、女性、屏風ヶ浦
交通が便利、医院、病院が近くに多い	60代、男性、屏風ヶ浦

※記述内容は原文をそのまま引用しています

《まちの雰囲気、住民の気質が良いこと》

生活の利便性以外の部分において、街の景観を評価している意見や、「(杉田など)昔ながらの商店街がある」、「下町情緒がある」、「昔の横浜の雰囲気が残っている」、「住民の気質がよい」という回答も回答者の1割程度から寄せられています。

寄せられた回答の例	回答者の属性 (年齢、性別、居住地域)
そこそこ便利で緑も多く、首都圏ながら下町っぽくて人情がある	30代、女性、磯子
歴史的に価値のある建物が残っている。たとえば東漸寺、妙法寺、杉田八幡様等	30代、女性、汐見台
生活環境が整っている。昔ながらの近所づきあいがあり、下町の風情がある。	50代、女性、滝頭
磯子区役所にいつでもやさしく対応していただきますし自治会の皆様も親切です。心が豊かな人が多いと思います。	50代、女性、屏風ヶ浦
歴史のある場所がある。古くからある町の人たちの気質が良い。	50代、男性、根岸
古き良きよこはまらしさ	70代以上、男性、磯子

※記述内容は原文をそのまま引用しています

《その他の魅力》

そのほかにも、「有名人(美空ひばり、ゆず)の出身地であること」、「生まれ育ったまちであること」、「住み慣れていて愛着があること」などの回答が寄せられています。

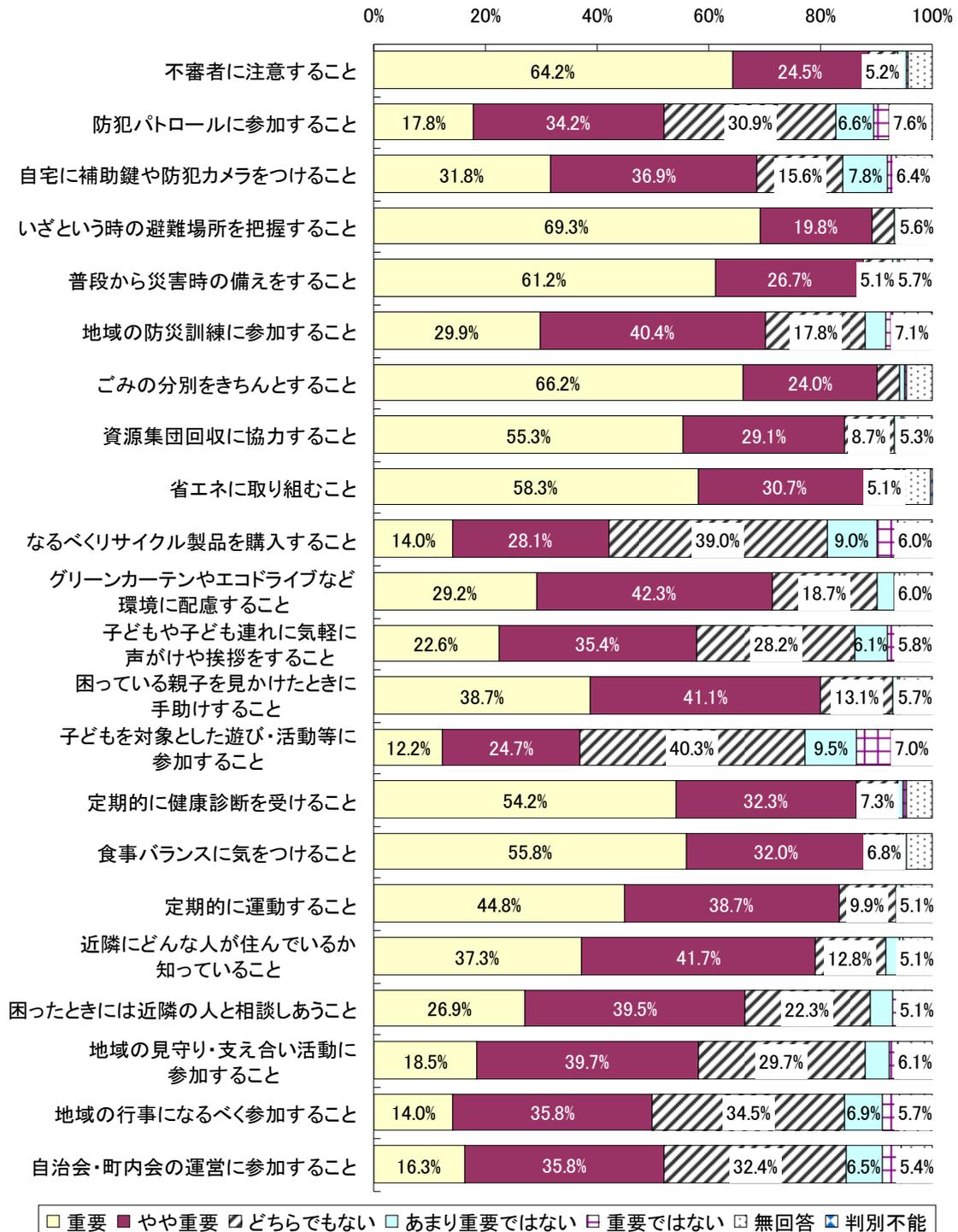
寄せられた意見の例	回答者の属性 (年齢、性別、居住地域)
ミュージシャンゆずの出身地であるところ。	20代、女性、岡村
周囲の友人と話していても地元から出たくないとよく聞くので、住民が地元で愛着を持っているところ。	20代、女性、杉田
生まれた時からずっと住んでいるので愛着があります	30代、男性、根岸
永く住んでいて、知人も多い。	70代以上、男性、杉田

※記述内容は原文をそのまま引用しています

(6) 問6 普段生活するうえで重要だと思うこと

普段生活するうえで重要だと思うことについて、「重要」との回答が高いのは、「いざという時の避難場所を把握すること」、「ごみの分別をきちんとすること」、「不審者に注意すること」等となっています。一方、「子どもを対象とした遊び・活動等に参加すること」、「なるべくリサイクル製品を購入すること」、「地域の行事になるべく参加すること」等では「重要」との回答割合は低くなっています。

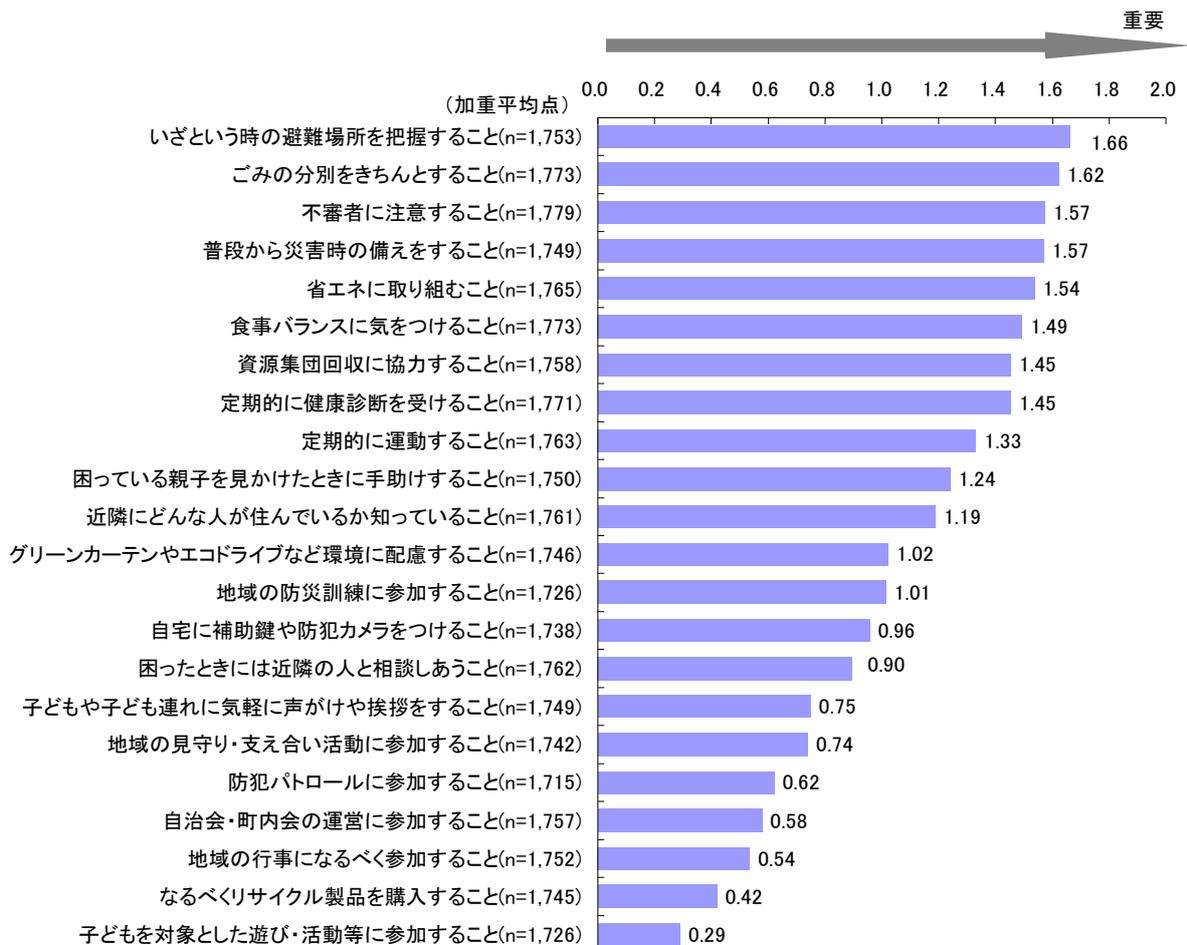
図2-3 観点別・項目別の重要度に対する評価 (n=1,857)



「重要」を+2点、「やや重要」を+1点、「どちらでもない」を0点、「あまり重要ではない」を-1点、「重要ではない」を-2点として加重平均し、各項目についての重要度の評価を指標化したところ、図24のようになりました。

回答結果を得点化して見た場合にも、項目ごとの重要度については問6における回答結果と同様となっていることを把握することができます。

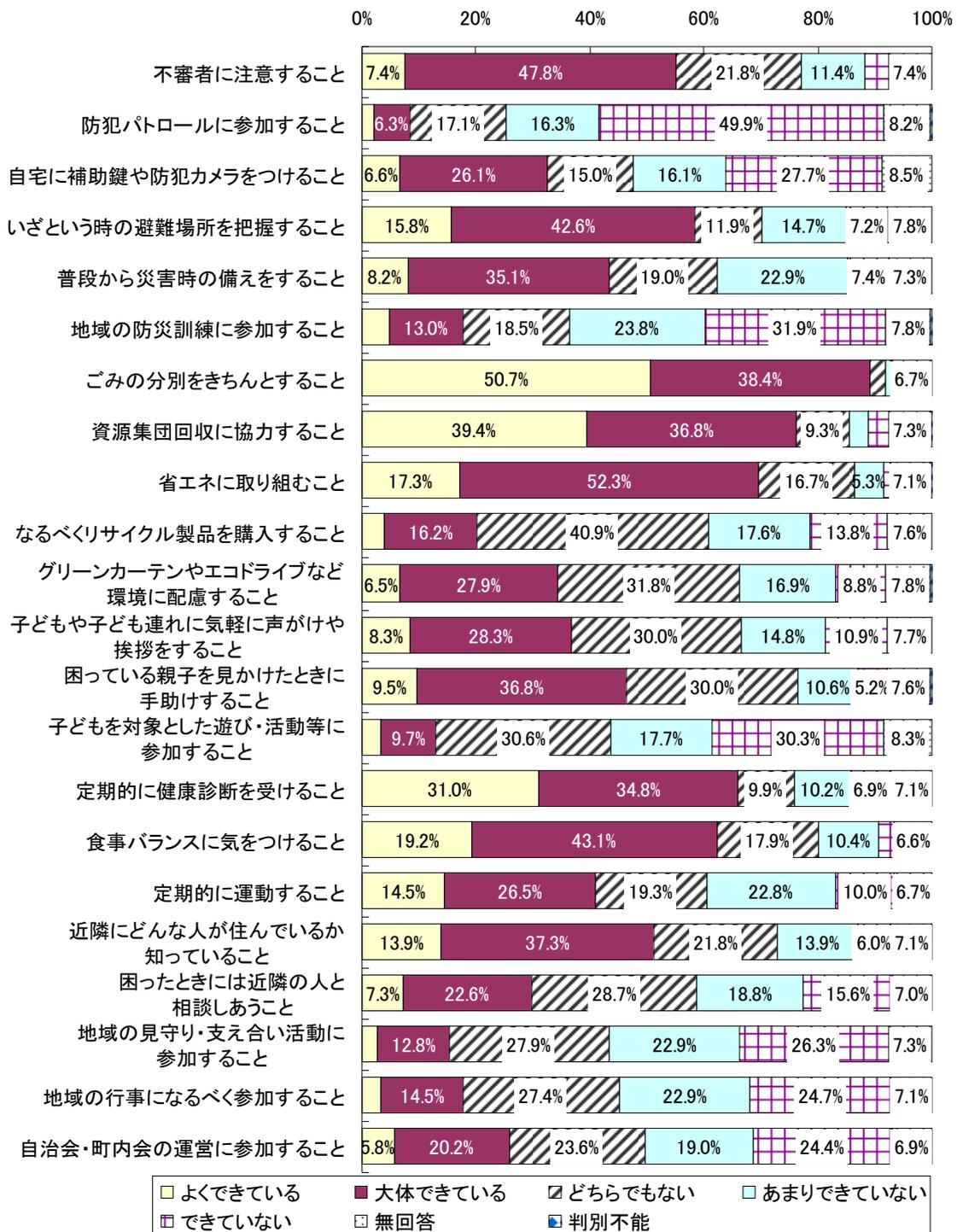
図24 観点別・項目別の重要度に関する評価（加重平均による指標化）



(7) 問6 各項目について現在の取り組み状況

「重要だと思うこと」としてたずねた各項目について、現在の取り組み状況をたずねたところ、「よくできている」との回答が多いのは、「ごみの分別をきちんとすること」、「資源集団回収に協力すること」、「定期的に健康診断を受けること」等となっています。

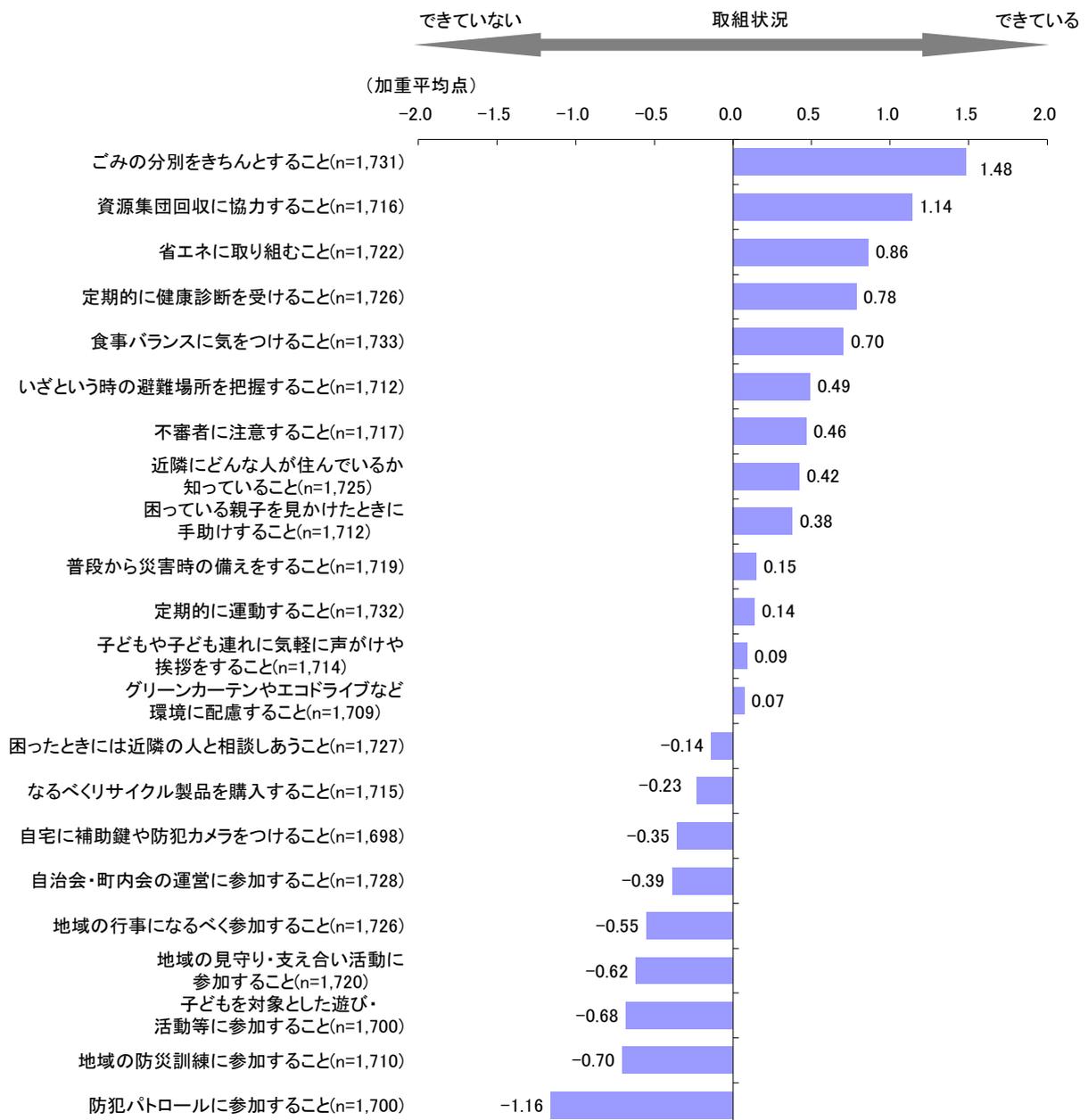
図25 各項目について現在の取り組み状況 (n=1,857)



取り組み状況について「よくできている」を+2点、「大体できている」を+1点、「どちらでもない」を0点、「あまりできていない」を-1点、「できていない」を-2点として加重平均し、各項目についての取り組みの評価を指標化したところ、図26のようになりました。

最も取り組み状況のよかった「ごみの分別をきちんとすること」の得点は1.48点でした。「防犯パトロールに参加すること」など9項目では、得点がマイナスとなっています。

図26 観点別・項目別の取り組み状況に関する評価（加重平均による指標化）



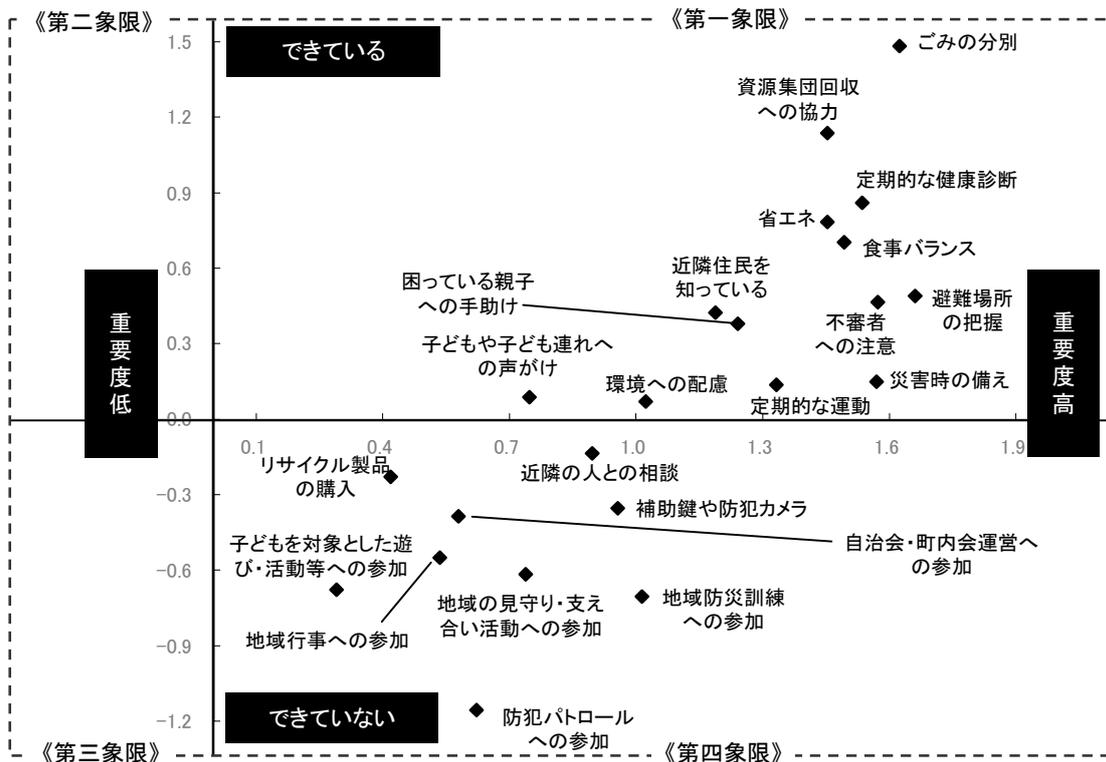
《「重要度」と「取り組み状況」の関係》

問6の「重要度」と「取り組み状況」について、それぞれ指標化した結果から両者の関係を見ると、図27のような結果となりました。

第一象限（「重要度高」・「できている」）には、13項目が位置しています。2番目に重要度の高かった「ごみの分別をきちんとすること」（図中では「ごみの分別」）は、取り組み状況をみても1.48ポイントと高くなっています。一方、最も重要度が高いとされた「いざという時の避難場所を把握すること」（図中では「避難場所の把握」）は、取り組み状況は0.49ポイントとなっており、重要度に対して取り組み状況の評価が低いという結果となりました。それ以外にも、「普段から災害時の備えをすること」（図中では「災害時の備え」）、「地域の防災訓練に参加すること」（図中では「地域防災訓練への参加」）といった防災に関する項目には、重要度に対して取り組み状況の評価が良くないという傾向がみられます。

第四象限（「重要度高」・「できていない」）には9項目が位置しています。取り組み状況が最も悪かったのは「防犯パトロールに参加すること」（図中では「防犯パトロールへの参加」）であり、-1.16ポイントとなっていますが、重要度は0.62ポイントとなっており、第四象限に位置する他の項目と比較すると、重要度の評価に対して取り組み状況が特に低く評価されています。

図27 「重要度」と「取り組み状況」の関係



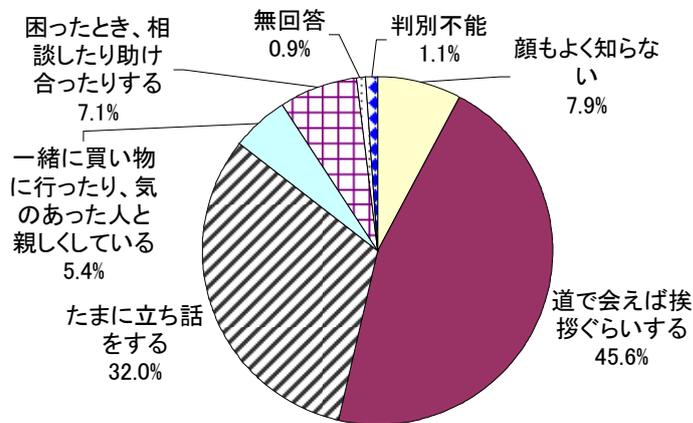
3. 隣近所との付き合いや地域での活動について

(1) 問7 隣近所との付き合い方

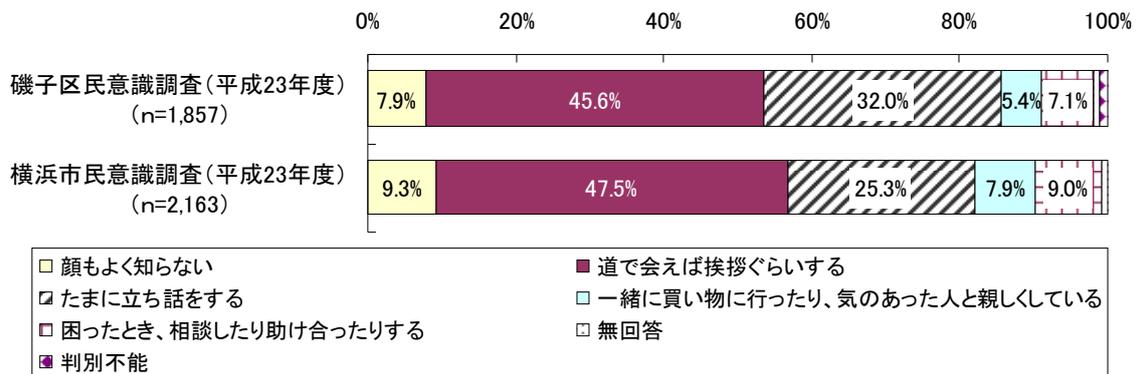
隣近所と普段どのような付き合い方をしているかについて、最も多かったのは「道で会えば挨拶ぐら
いする」で45.6%、次いで「たまに立ち話をする」が32.0%、「顔もよく知らない」が7.9%となってい
ます。

「横浜市民意識調査」(平成23年度)との比較では、「顔もよく知らない」は1.4ポイント程度低く、
「たまに立ち話をする」が6.7ポイント高くなっています。

図28 隣近所との付き合い方 (n=1,857)



【参考】「横浜市民意識調査」(平成23年度)との比較

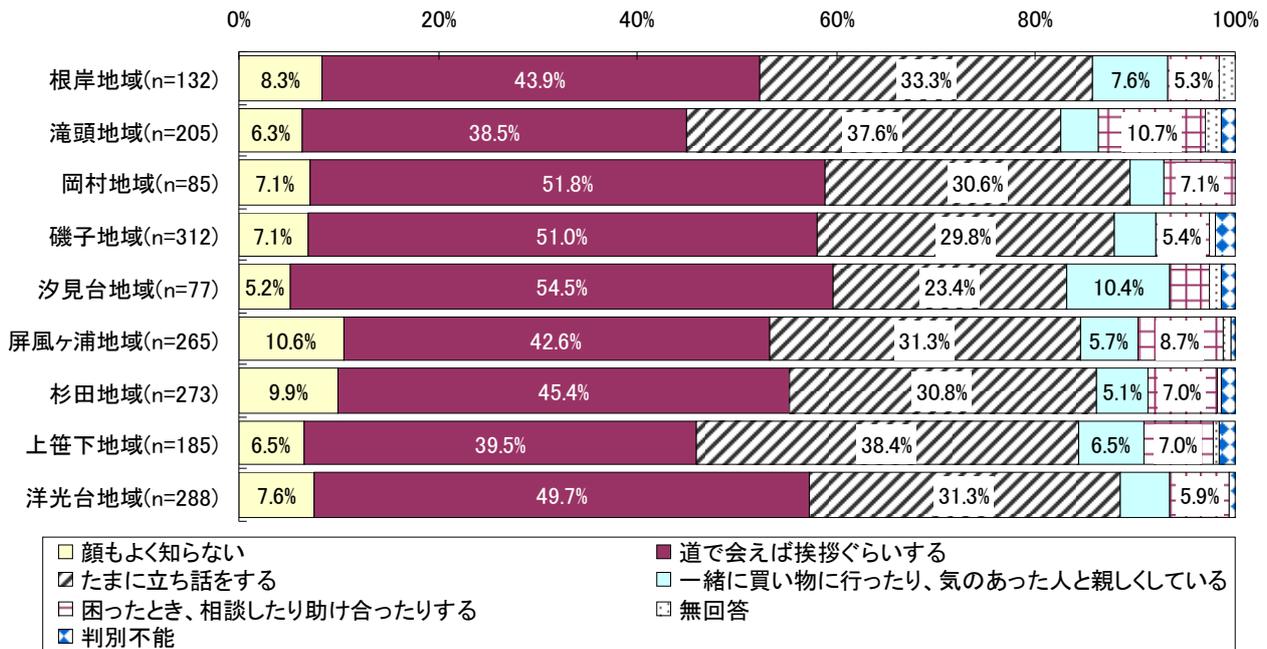


《居住地域別にみた隣近所との付き合い方》

隣近所との普段の付き合い方について居住地域別にみると、図 29 のようになっており、地域によって隣近所との付き合い方には差がみられます。

滝頭地域と上笹下地域では、「たまに立ち話をする」の割合が他の地域と比べ高くなっており、一方で「道で会えば挨拶ぐらいする」が他よりも低くなっています。

図 29 居住地域別にみた隣近所との付き合い方



《性別、年齢層別にみた隣近所との付き合い方》

隣近所との普段の付き合い方について性別及び年齢層別にみると、図 30、及び図 31 のようになっています。

男女ともに、「顔もよく知らない」の割合は若年層が高く、「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」の割合は高年齢層のほうが高くなっていますが、年齢と付き合い方の関係には男女で異なる傾向がみられます。

女性では年齢層が高くなるにつれて「顔も知らない」や「道で会えば挨拶ぐらいする」の割合が低くなり、隣近所との付き合い方が密になる傾向があることがわかります。

一方、男性では 30～59 歳の間はあまり変化がありませんが、60 歳以上になると「顔も知らない」や「道で会えば挨拶ぐらいする」の割合が大きく低下しています。

図30 性別、年齢層別にみた隣近所との付き合い方（男性）

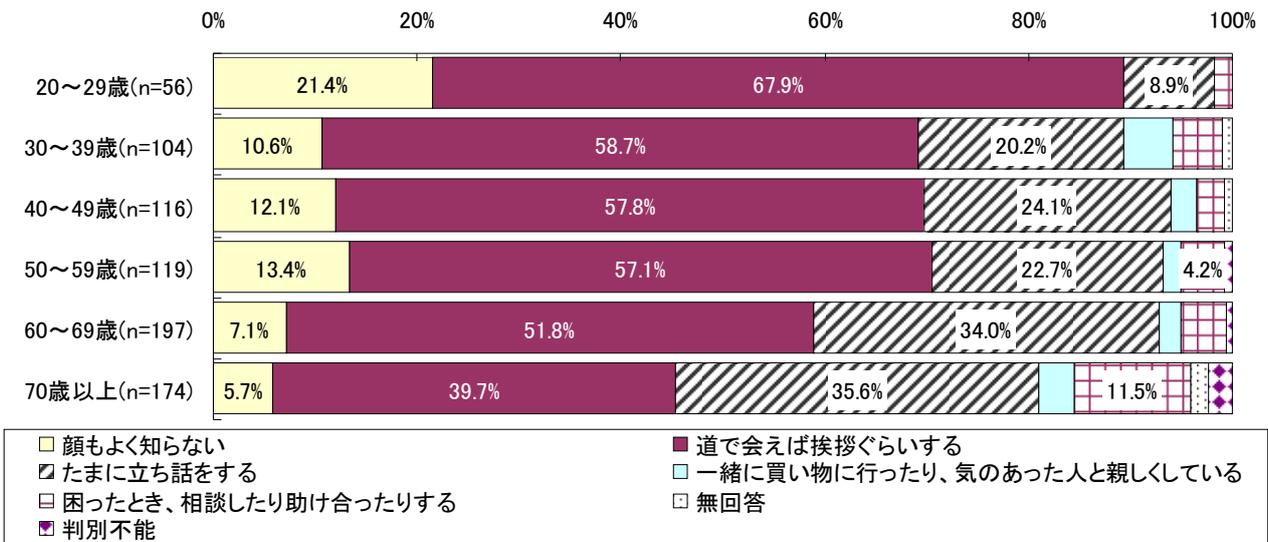
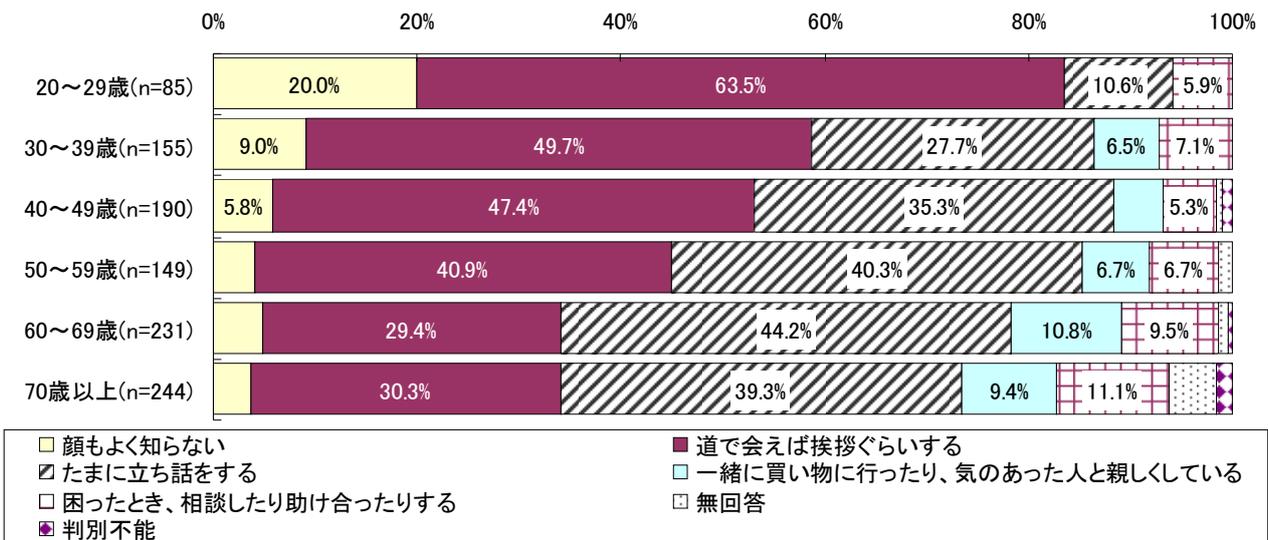


図31 性別、年齢層別にみた隣近所との付き合い方（女性）



(2) 問8 仕事や学業以外の活動参加

《活動への参加》

仕事や学業以外でどのような活動に参加しているかたずねたところ、最も多かったのは「特にない」で45.8%でした。「特にない」を除いて考えると、最も多かったのは「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」で21.2%、次いで「自治会・町内会の活動」が19.9%、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が13.8%となっています。「横浜市民意識調査」(平成22年度)と比較すると、「特にない」の割合が11.1ポイント低く、各活動へ参加している割合が全体的に高くなっています。

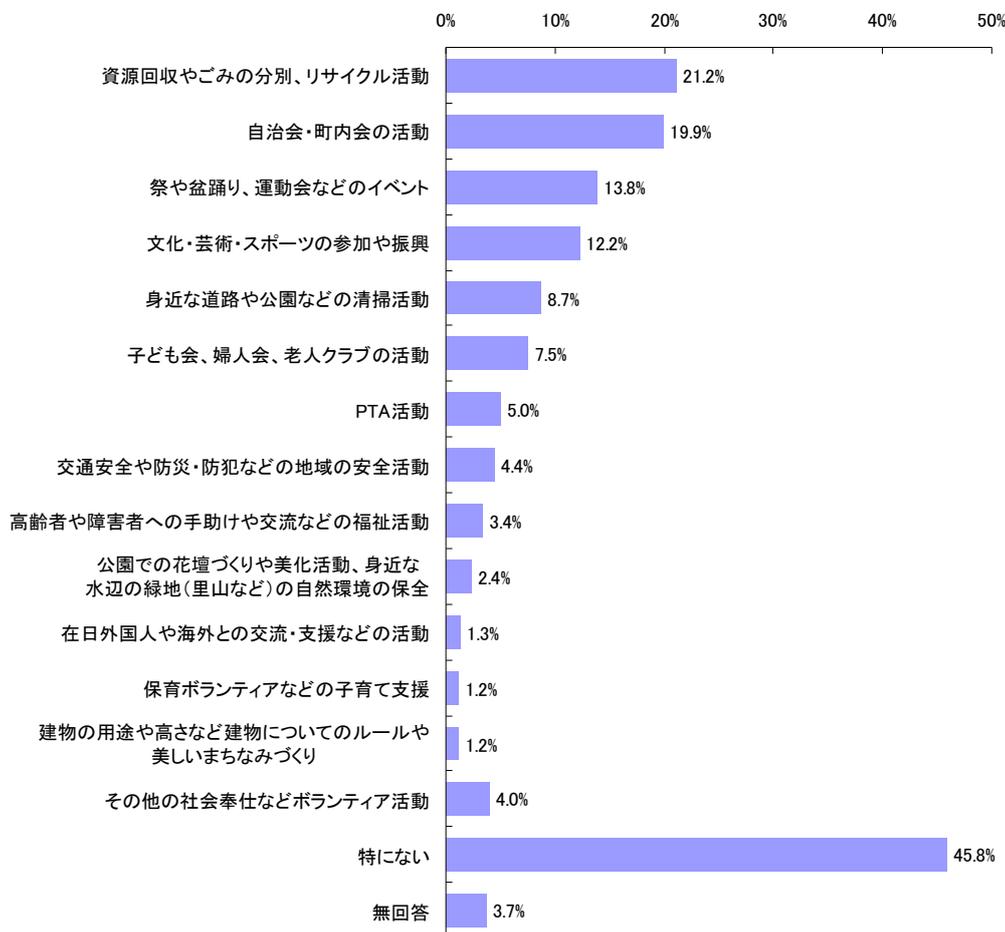
「その他の社会奉仕などボランティア活動」は4.0%で、58件の記入がありました。内容は、「子育て支援」に関するものが8件、「高齢者福祉」、「障害者福祉」に関するものが7件などとなっています。

《地域活動に参加しない理由》(問8-1)

「特にない」と回答した方に対し、地域活動に参加しない理由をたずねたところ、最も多かったのは「仕事・学業・家事などで忙しく、時間的なゆとりがないから」で53.0%、次いで「どのような地域活動があるかわからないから」が29.4%となっています。

「その他」は18.1%で、189件の記入がありました。内容は、「病気、体調不良等」が77件と最も多く、そのほかには「高齢のため」が56件、「家事、家族の世話(介護含む)等で忙しいため」が27件などとなっています。

図3-2 仕事や学業以外で参加している活動 (n=1,857)



【参考】「横浜市民意識調査」(平成22年度)における同様の設問の回答 (n=2,335)

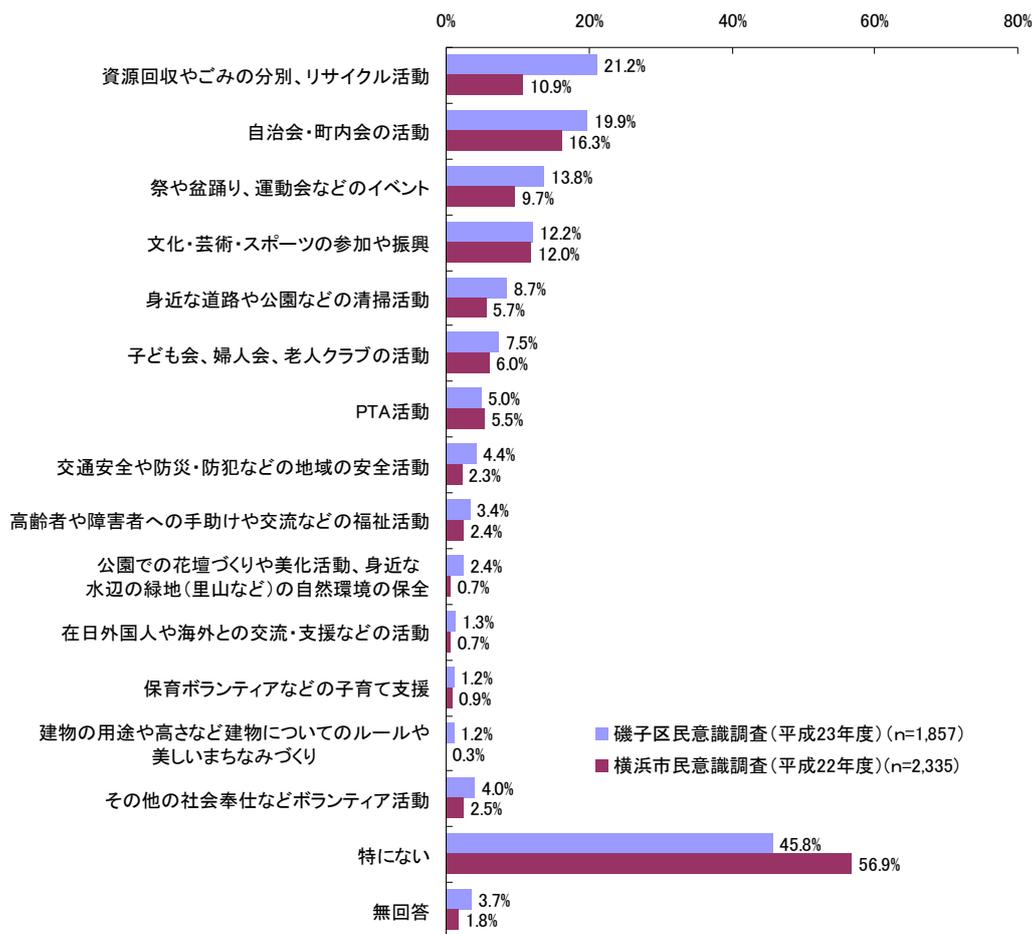
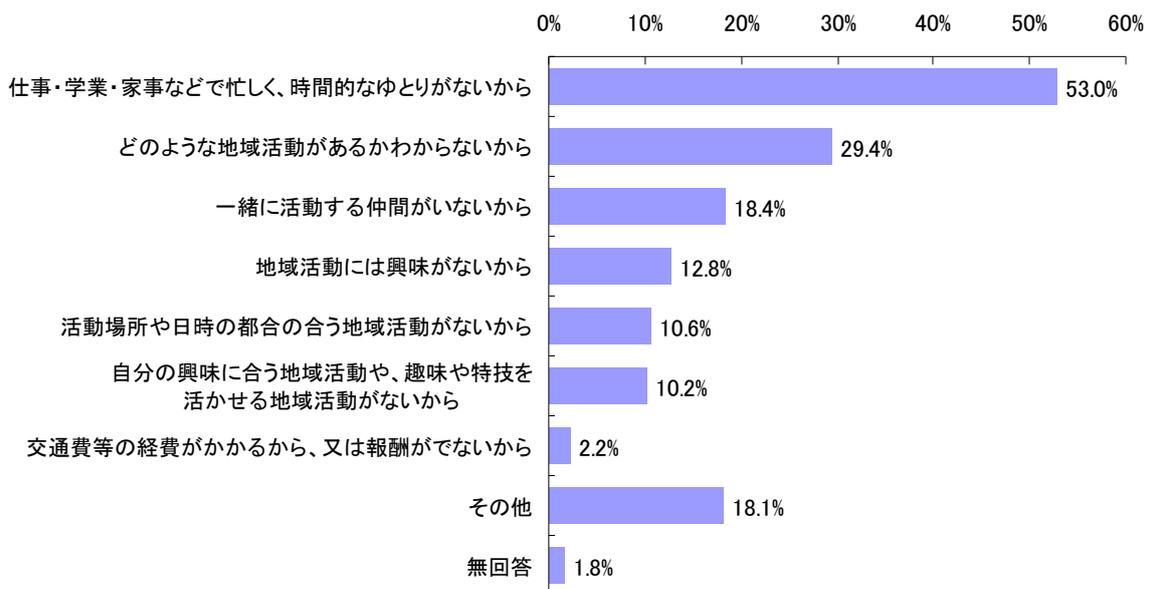


図33 地域活動に参加しない理由 (n=851)



《性別、年齢層別にみた仕事や学業以外で参加している活動》

仕事や学業以外で参加している活動について性別及び年齢層別にみると、表4のようになりました。

「自治会・町内会の活動」や「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」、「身近な道路や公園などの清掃活動」、「PTA活動」など、地域コミュニティに主体的にかかわる活動については、性別・年齢別に参加傾向が異なることがわかる一方、「文化・芸術・スポーツの参加や振興」や「祭や盆踊り、運動会などのイベント」などについては、それほど差異がみられませんでした。

なお、参加している活動が「特にない」と回答している割合をみると、若年層の男性で特に高くなっており、20～39歳の層では6割以上が活動に参加していないと回答しています。

表4 性別、年齢層別にみた仕事や学業以外で参加している活動

		自治会・町内会の活動	子ども会、婦人会、老人クラブの活動	高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術・スポーツの参加や振興	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺の緑地（里山など）の自然環境の保全
男性	20～29歳(n=56)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.9%	12.5%	8.9%	0.0%
	30～39歳(n=104)	17.3%	4.8%	1.0%	4.8%	8.7%	16.3%	19.2%	0.0%
	40～49歳(n=116)	16.4%	7.8%	2.6%	6.9%	13.8%	19.0%	28.4%	0.0%
	50～59歳(n=119)	19.3%	3.4%	0.8%	9.2%	7.6%	16.0%	26.1%	3.4%
	60～69歳(n=197)	18.8%	2.0%	2.5%	6.6%	14.2%	9.6%	15.2%	4.6%
	70歳以上(n=174)	26.4%	12.1%	6.3%	17.8%	17.2%	13.2%	20.7%	2.9%
女性	20～29歳(n=85)	5.9%	2.4%	2.4%	1.2%	5.9%	10.6%	22.4%	0.0%
	30～39歳(n=155)	10.3%	14.2%	1.9%	3.2%	7.1%	20.6%	25.2%	1.3%
	40～49歳(n=190)	18.4%	8.9%	2.1%	8.4%	8.4%	14.2%	27.4%	1.1%
	50～59歳(n=149)	20.8%	1.3%	2.7%	7.4%	11.4%	9.4%	24.2%	1.3%
	60～69歳(n=231)	32.9%	7.8%	6.5%	11.7%	17.3%	15.2%	20.3%	2.6%
	70歳以上(n=244)	22.5%	13.1%	5.3%	12.7%	11.9%	11.5%	15.6%	5.3%
		在日外国人や海外との交流・支援などの活動	PTA活動	保育ボランティアなどの子育て支援	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	その他の社会奉仕などボランティア活動	特にない	無回答
男性	20～29歳(n=56)	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	66.1%	1.8%
	30～39歳(n=104)	0.0%	3.8%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	64.4%	0.0%
	40～49歳(n=116)	1.7%	10.3%	0.9%	4.3%	0.9%	4.3%	46.6%	0.9%
	50～59歳(n=119)	3.4%	1.7%	0.8%	5.9%	0.0%	4.2%	44.5%	3.4%
	60～69歳(n=197)	1.5%	0.0%	1.0%	4.6%	2.0%	3.6%	53.8%	4.1%
	70歳以上(n=174)	1.9%	0.0%	0.0%	3.8%	0.9%	8.0%	30.2%	5.2%
女性	20～29歳(n=85)	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	1.2%	3.5%	57.6%	1.2%
	30～39歳(n=155)	1.9%	12.3%	1.9%	3.9%	1.3%	1.3%	47.1%	0.6%
	40～49歳(n=190)	0.5%	24.2%	2.1%	5.8%	0.5%	2.1%	41.1%	1.6%
	50～59歳(n=149)	0.7%	4.0%	3.4%	1.3%	1.3%	4.7%	45.6%	2.0%
	60～69歳(n=231)	0.9%	1.3%	1.7%	5.6%	1.3%	6.1%	40.7%	1.7%
	70歳以上(n=244)	1.6%	0.0%	0.4%	6.1%	1.6%	3.7%	38.9%	10.7%

66.1% : 他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

(3) 問9 地域や社会に役立つ活動への参加意向

《地域や社会に役立つ活動への参加意向》

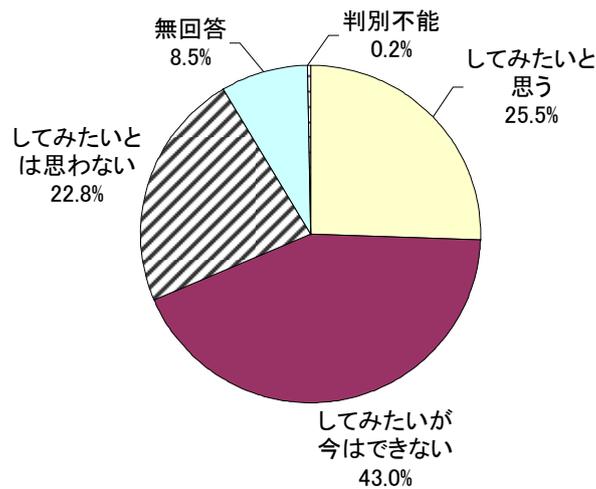
何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいかについて、「してみたいと思う」は25.5%、「してみたいが今はできない」が43.0%、「してみたいとは思わない」が22.8%でした。

「横浜市民意識調査」(平成22年度)と比較すると、「してみたいと思う」が4.0ポイント高くなっていますが、「してみたいが今はできない」も6.9ポイント高くなっています。

《どのような活動に参加してみたいか》(問9-1)

また、「してみたいと思う」あるいは「してみたいが今はできない」と回答した方について、どのような活動に参加してみたいかたずねたところ、最も多かったのは「文化・芸術・スポーツの参加や振興」で29.6%、次いで「公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺の緑地(里山など)の自然環境の保全」が19.7%、「身近な道路や公園などの清掃活動」が19.3%となっています。

図34 地域や社会に役立つ活動への参加意向 (n=1,857)



【参考】「横浜市民意識調査」(平成22年度)との比較

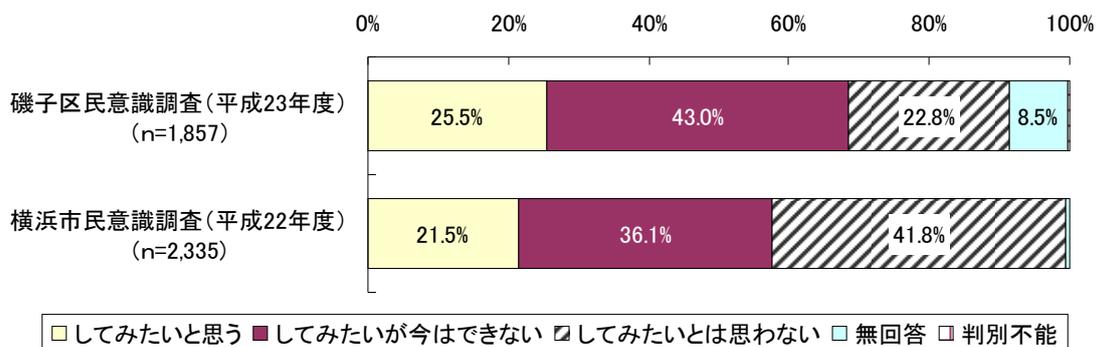
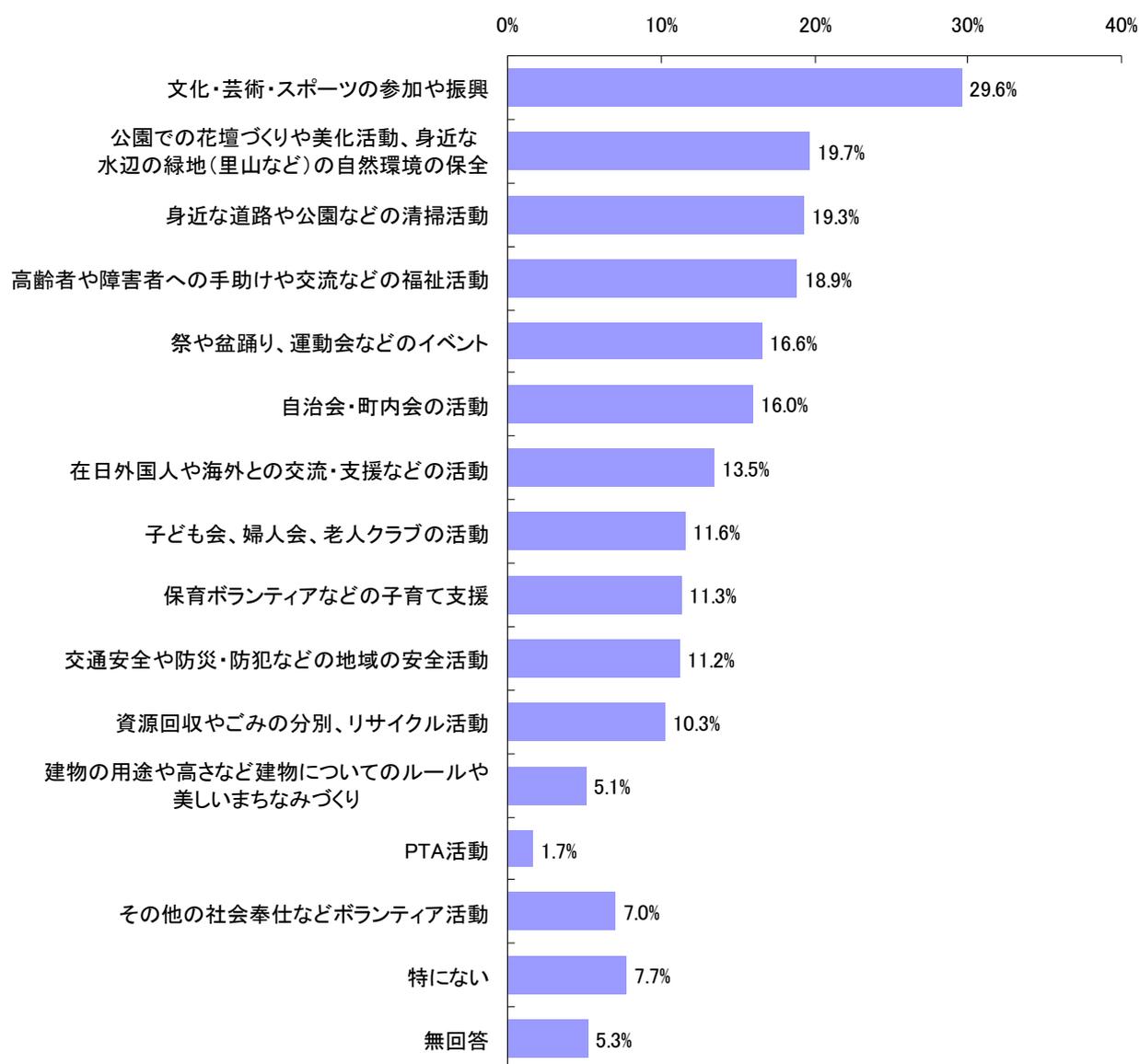


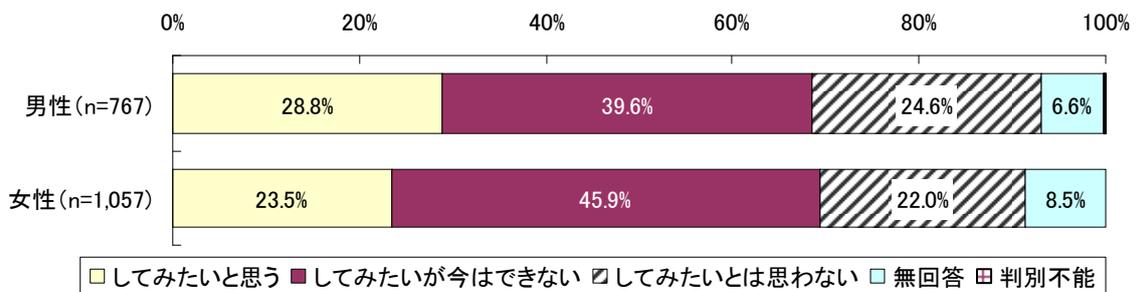
図35 どのような活動に参加してみたいか (n=1,272)



《性別からみた地域や社会に役立つ活動への参加意向》

地域や社会に役立つ活動への参加意向について、性別からみたところ、「してみたいと思う」の割合は男性のほうが高くなっています。一方「してみたいが今はできない」は女性のほうが多くなっており、両方の合計では女性のほうがやや高くなっています。

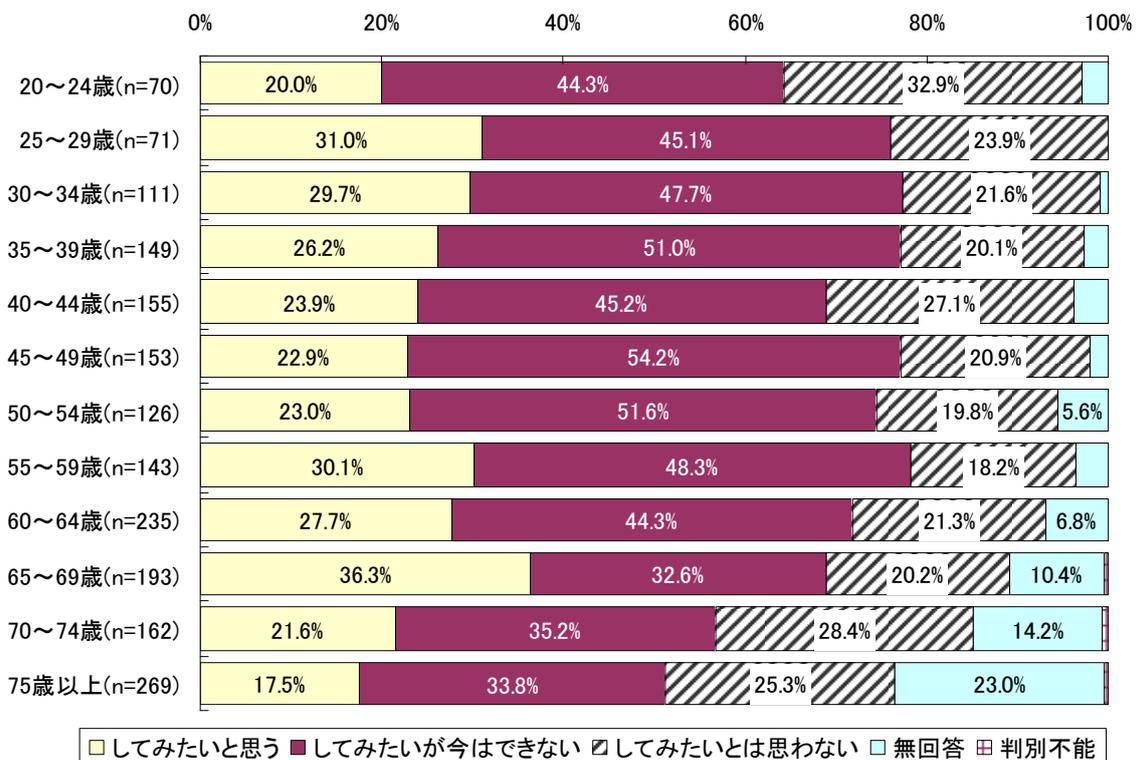
図36 性別からみた地域や社会に役立つ活動への参加意向



《年齢層別にみた地域や社会に役立つ活動への参加意向》

地域や社会に役立つ活動への参加意向について、年齢別にみたところ、「してみたいと思う」と「してみたいが今はできない」の合計は70歳以上を除き6割を超えています。「してみたいと思う」の割合が最も高いのは「65～69歳」で36.3%でした。

図37 年齢層別にみた地域や社会に役立つ活動への参加意向

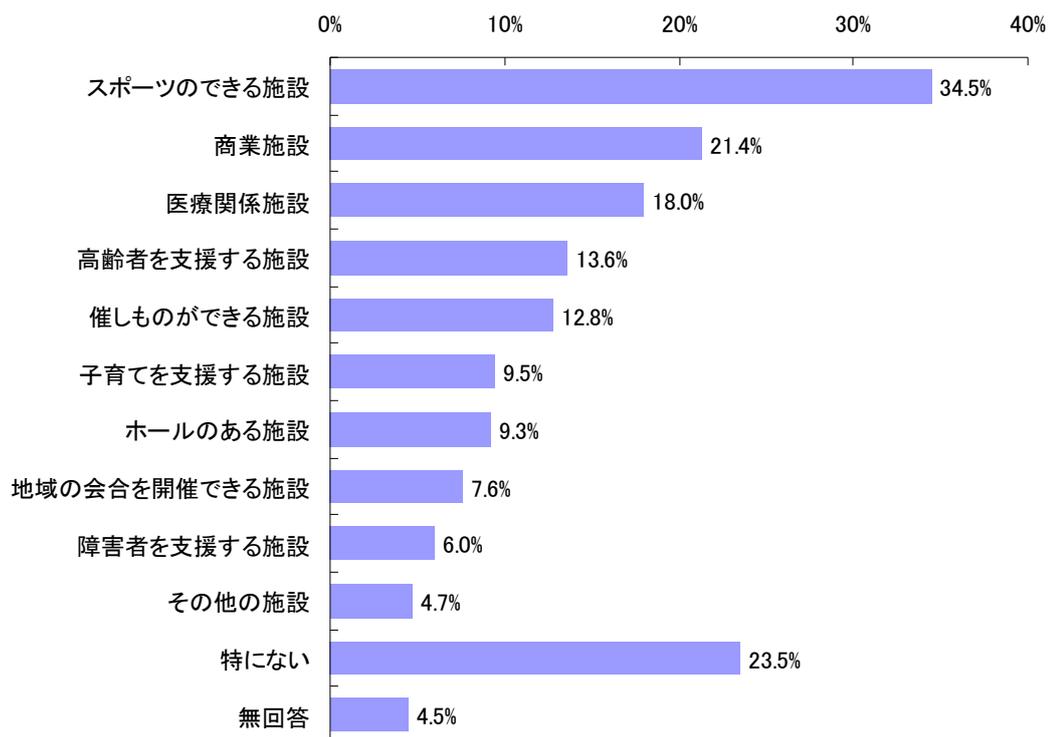


(4) 問 10 地域でよく利用している施設・利用してみたい施設

地域でよく利用している施設、もしくは利用してみたい施設について、「特にない」を除き最も多かったのは「スポーツのできる施設」で 34.5%、次いで「商業施設」が 21.4%、「医療関係施設」が 18.0% でした。

「その他の施設」は 4.7%で、82 件の記入がありました。内容は、「図書館」が 60 件、「地区センター」が 10 件、「公園」が 6 件などとなっています。

図 38 地域でよく利用している施設・利用してみたい施設 (n=1,857)



《性別、年齢層別にみた地域でよく利用している施設・利用してみたい施設》

地域でよく利用している施設・利用してみたい施設についての回答を性別及び年齢層別にみると、表5のようになっています。

「スポーツのできる施設」、「商業施設」では若い年齢層のほうが割合が高く、また「子育てを支援する施設」や「高齢者を支援する施設」のように、特定の年齢層の方が受益者となるサービスについては、該当する年齢層からの回答割合が高くなっています。一方、それ以外の施設については、性別・年齢別にみてそれほど大きな差異はみられませんでした。

表5 性別、年齢層別にみた地域でよく利用している施設・利用してみたい施設

		子育てを支援する施設	高齢者を支援する施設	障害者を支援する施設	地域の会合を開催できる施設	スポーツのできる施設	ホールのある施設
男性	20～29歳(n=56)	5.4%	1.8%	1.8%	3.6%	57.1%	3.6%
	30～39歳(n=104)	27.9%	3.8%	2.9%	1.9%	48.1%	6.7%
	40～49歳(n=116)	11.2%	3.4%	4.3%	10.3%	40.5%	6.9%
	50～59歳(n=119)	2.5%	7.6%	6.7%	6.7%	36.1%	5.9%
	60～69歳(n=197)	1.5%	10.7%	6.1%	12.7%	36.0%	10.7%
	70歳以上(n=174)	0.6%	20.1%	4.0%	12.6%	25.3%	9.2%
女性	20～29歳(n=85)	17.6%	2.4%	7.1%	1.2%	49.4%	11.8%
	30～39歳(n=155)	42.6%	4.5%	4.5%	1.3%	43.2%	10.3%
	40～49歳(n=190)	12.1%	7.9%	6.8%	5.3%	36.3%	8.4%
	50～59歳(n=149)	5.4%	12.1%	7.4%	10.1%	38.9%	10.7%
	60～69歳(n=231)	3.5%	20.8%	6.1%	10.0%	30.3%	10.8%
	70歳以上(n=244)	0.8%	32.4%	7.8%	7.8%	17.2%	9.4%
		催しものができる施設	医療関係施設	商業施設	その他の施設	特にない	無回答
男性	20～29歳(n=56)	12.5%	8.9%	37.5%	1.8%	21.4%	1.8%
	30～39歳(n=104)	12.5%	17.3%	31.7%	4.8%	21.2%	1.0%
	40～49歳(n=116)	12.1%	14.7%	32.8%	5.2%	27.6%	0.0%
	50～59歳(n=119)	5.9%	21.0%	26.1%	5.0%	29.4%	0.8%
	60～69歳(n=197)	14.2%	24.9%	14.7%	7.1%	26.4%	4.1%
	70歳以上(n=174)	12.1%	13.8%	12.1%	5.7%	27.0%	6.3%
女性	20～29歳(n=85)	7.1%	12.9%	31.8%	8.2%	22.4%	0.0%
	30～39歳(n=155)	10.3%	21.3%	35.5%	1.9%	14.2%	1.9%
	40～49歳(n=190)	15.8%	17.9%	32.1%	6.3%	23.2%	1.6%
	50～59歳(n=149)	13.4%	20.8%	20.8%	5.4%	19.5%	2.0%
	60～69歳(n=231)	16.5%	12.6%	13.0%	5.2%	28.1%	5.2%
	70歳以上(n=244)	14.3%	22.5%	7.4%	1.2%	21.7%	11.9%

 : 他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

《居住地域別にみた地域でよく利用している施設・利用してみたい施設》

地域でよく利用している施設・利用してみたい施設についての回答を居住地域別にみると、表6のようになり、各施設とも地域によって割合に差が生じています。

「スポーツのできる施設」は全地区において最も割合が高い施設となっており、特に汐見台地域では44.2%と他地域に比べ高くなっています。また、汐見台地域、屏風ヶ浦地域、杉田地域では「商業施設」の割合が比較的高く、25%前後となっています。

表6 居住地域別にみた地域でよく利用している施設・利用してみたい施設

	子育てを支援する施設	高齢者を支援する施設	障害者を支援する施設	地域の会合を開催できる施設	スポーツのできる施設	ホールのある施設
根岸地域(n=132)	12.1%	17.4%	9.8%	9.8%	31.8%	8.3%
滝頭地域(n=205)	9.3%	17.6%	10.2%	8.8%	33.7%	9.3%
岡村地域(n=85)	7.1%	10.6%	9.4%	4.7%	35.3%	5.9%
磯子地域(n=312)	8.0%	11.2%	4.8%	6.1%	34.9%	8.7%
汐見台地域(n=77)	15.6%	5.2%	2.6%	3.9%	44.2%	10.4%
屏風ヶ浦地域(n=265)	8.3%	14.0%	7.2%	6.0%	33.6%	8.7%
杉田地域(n=273)	7.7%	13.6%	5.5%	9.2%	37.7%	9.5%
上笹下地域(n=185)	13.0%	13.5%	3.8%	11.4%	33.0%	10.3%
洋光台地域(n=288)	10.8%	14.9%	3.5%	7.3%	33.7%	10.4%
	催しものができる施設	医療関係施設	商業施設	その他の施設	特にない	無回答
根岸地域(n=132)	18.9%	16.7%	18.2%	3.8%	22.7%	4.5%
滝頭地域(n=205)	11.7%	21.0%	16.1%	4.4%	26.3%	3.9%
岡村地域(n=85)	11.8%	14.1%	18.8%	1.2%	25.9%	7.1%
磯子地域(n=312)	11.2%	15.1%	22.8%	5.8%	23.4%	6.4%
汐見台地域(n=77)	7.8%	20.8%	24.7%	7.8%	16.9%	3.9%
屏風ヶ浦地域(n=265)	12.1%	17.7%	26.8%	3.4%	25.3%	3.4%
杉田地域(n=273)	13.6%	20.5%	24.9%	6.6%	20.5%	2.2%
上笹下地域(n=185)	16.2%	19.5%	19.5%	2.2%	25.9%	4.3%
洋光台地域(n=288)	12.5%	17.7%	18.8%	4.9%	22.9%	3.5%

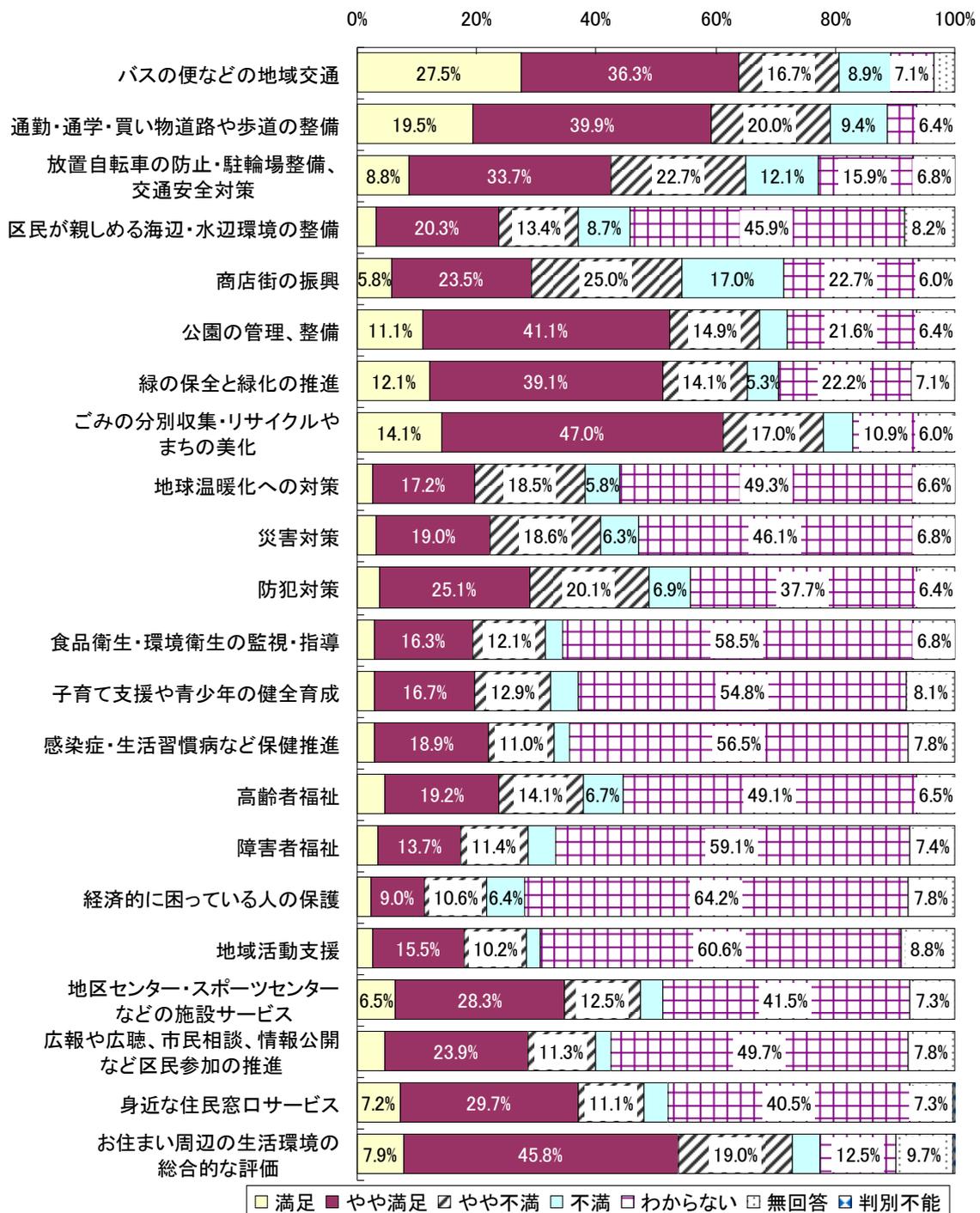
4. 生活環境全般に対する満足度・重要度について

(1) 問 11 生活環境に対する満足度

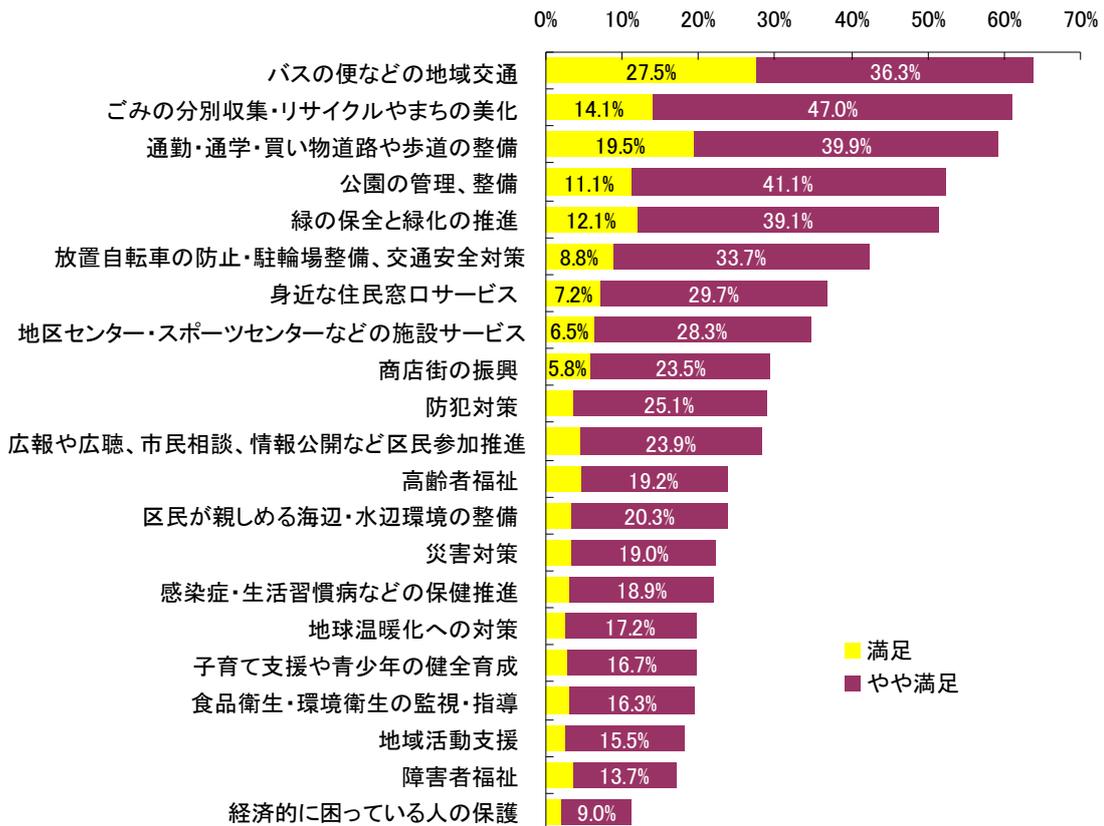
現在のお住まいの周辺的生活環境に対する満足度に関して、「総合的な評価」としては、「満足」が7.9%、「やや満足」が45.8%、「やや不満」19.0%、「不満」4.8%となっています。

観点別・項目別には、「満足」との回答は、「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」等で高く、一方、「不満」との回答は、「商店街の振興」、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」等で高くなっています。

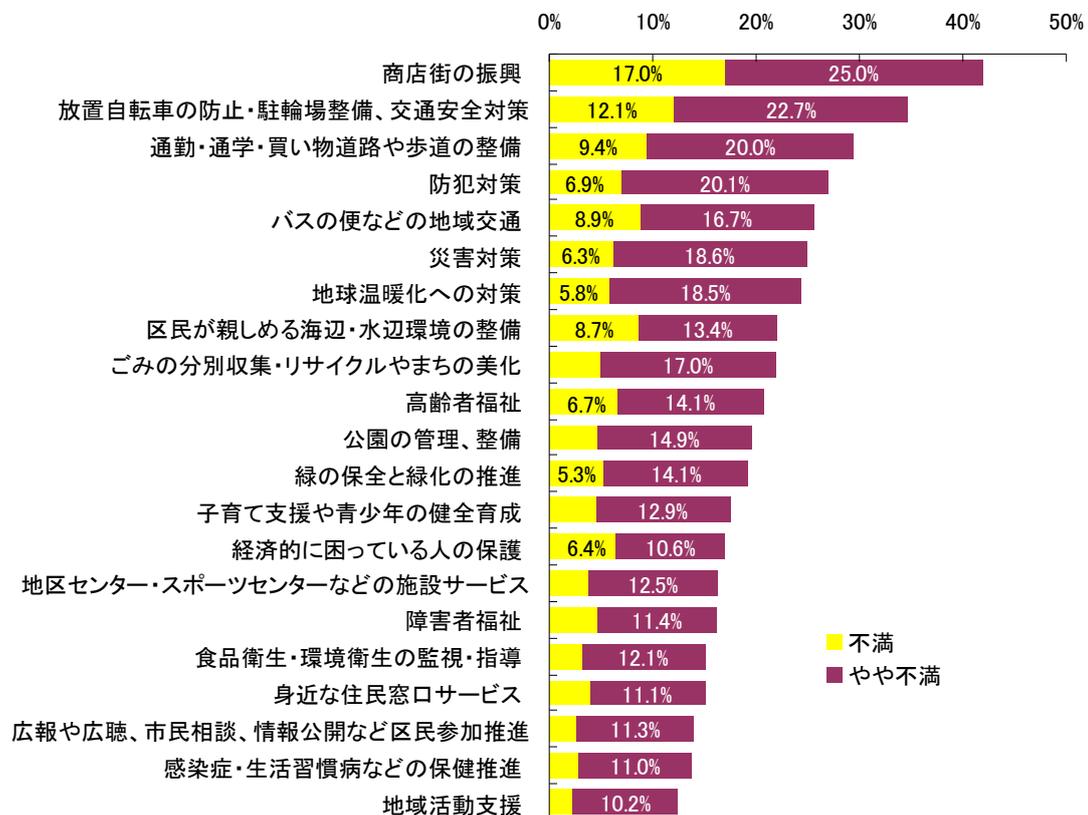
図39 生活環境に対する観点別・項目別にみた満足度、及び総合的な満足度（n=1,857）



【図 39 再掲】 観点別・項目別にみた生活環境に対する「満足」と「やや満足」の割合（n=1,857）

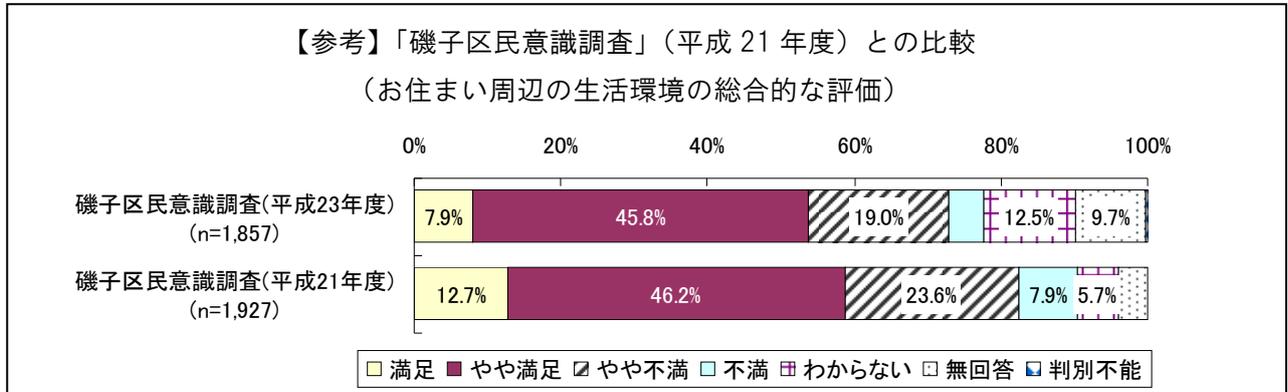


【図 39 再掲】 観点別・項目別にみた生活環境に対する「不満」と「やや不満」の割合（n=1,857）



《「磯子区民意識調査」(平成 21 年度) との比較》

「お住まい周辺の生活環境の「総合的な評価」について、満足度を「磯子区民意識調査」(平成 21 年度) と比較すると、「満足」の割合は低下していますが、一方で「やや不満」、及び「不満」の割合も低下しており、「わからない」の割合が高くなっています。



《年齢層別、居住地域別にみた「周辺の生活環境の総合的な評価」》

「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」について、「満足」を+2点、「やや満足」を+1点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として加重平均し、満足度を指標化した数値を年齢別にみると、「30～39歳」の年齢層で評価が低く、70歳以上で高くなっていることがわかります。

また、居住地域別に「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」について同様の指標を用いて満足度をみると、汐見台、洋光台の2地域で満足度が高く、ともに0.60ポイントを上回っています。一方、滝頭では0.09ポイントと、他地域よりも特に満足度が低くなっています。

図 4 0 年齢層別にみた「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」(指標)

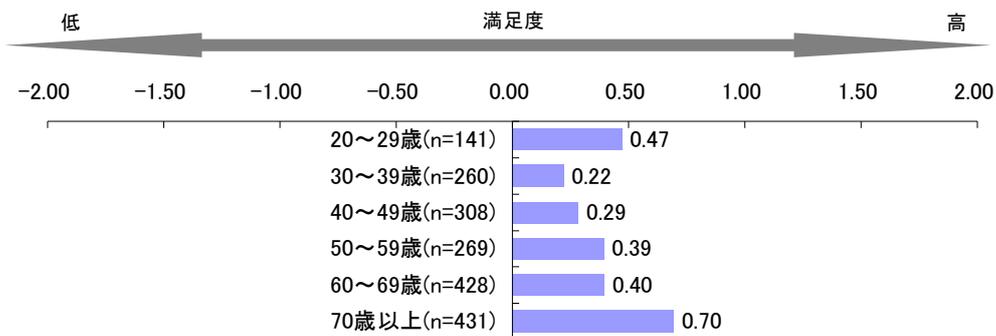
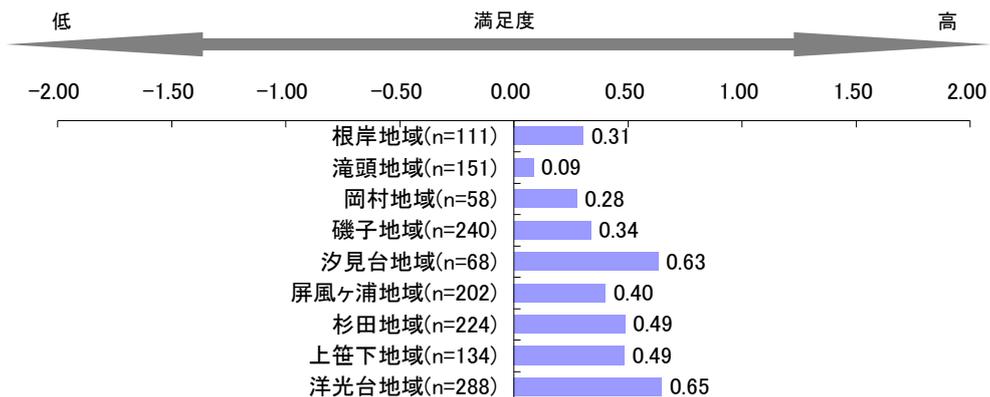


図 4 1 居住地域別にみた「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」(指標)



《年齢層別にみた生活環境に対する満足度》

年齢層別に「満足」と「やや満足」の割合の合計が高い項目をみると、表7のようになります。

上位5つまでに挙げられている項目は各年齢層ともおおむね共通しており、「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」において割合が高くなっています。

一方、「やや不満」と「不満」の割合の合計が高い項目をみると、表8のようになります。

いずれの年齢層においても、「商店街の振興」が1位となっています。また、各年齢層において「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「バスの便などの地域交通」など、満足と回答した方の割合が高い項目に対しても不満を感じている方が少なくないことがわかります。

そのほかに「防犯対策」が広い年齢層で挙げられており、また年齢の高い層では「地球温暖化への対策」に不満を感じている割合が高くなっています。

表7 年齢層別にみた生活環境に対する「満足」+「やや満足」の割合の高い項目

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
20～29歳 (n=141)	バスの便などの地域交通	61.7%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	61.0%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	60.3%	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	53.9%	緑の保全と緑化の推進	52.5%
30～39歳 (n=260)	バスの便などの地域交通	60.8%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	58.5%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	56.9%	緑の保全と緑化の推進	56.2%	公園の管理、整備	48.9%
40～49歳 (n=308)	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	60.4%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	59.4%	バスの便などの地域交通	55.8%	公園の管理、整備	49.4%	緑の保全と緑化の推進	46.8%
50～59歳 (n=269)	バスの便などの地域交通	60.2%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	59.5%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	59.1%	緑の保全と緑化の推進	52.0%	公園の管理、整備	48.7%
60～69歳 (n=428)	バスの便などの地域交通	65.0%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	62.9%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	58.6%	公園の管理、整備	54.4%	緑の保全と緑化の推進	51.9%
70歳以上 (n=431)	バスの便などの地域交通	74.7%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	63.8%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	61.9%	公園の管理、整備	54.5%	緑の保全と緑化の推進	51.7%

表8 年齢層別にみた生活環境に対する「やや不満」+「不満」の割合の高い項目

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
20～29歳 (n=141)	商店街の振興	40.4%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	34.8%	防犯対策	31.2%	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	29.1%	バスの便などの地域交通	25.5%
30～39歳 (n=260)	商店街の振興	38.8%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	37.3%	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	36.5%	バスの便などの地域交通	31.9%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	29.2%
40～49歳 (n=308)	商店街の振興	47.7%	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	37.3%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	36.0%	バスの便などの地域交通	35.1%	防犯対策	29.2%
50～59歳 (n=269)	商店街の振興	50.6%	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	40.1%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	33.8%	バスの便などの地域交通	28.3%	防犯対策	27.9%
60～69歳 (n=428)	商店街の振興	43.7%	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	36.9%	地球温暖化への対策	30.4%	防犯対策	30.1%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	29.0%
70歳以上 (n=431)	商店街の振興	33.9%	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	28.3%	高齢者福祉	24.1%	防犯対策	22.3%	地球温暖化への対策	20.9%

《居住地域別にみた生活環境に対する満足度》

居住地域別に「満足」と「やや満足」の割合の合計が高い項目をみると、表9のようになります。

「バスの便などの地域交通」はすべての地域で5割を超え、特に割合の高い項目となっているほか、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「公園の管理、整備」、「緑の保全と緑化の推進」が各地域で上位に入っていますが、その順位には地域による差がみられます。

一方、「やや不満」と「不満」の割合の合計が高い項目をみると、表10のようになります。

ほとんどの地域で「商店街の振興」、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」に対し不満と感じている割合が高くなっています。また「防犯対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」がほとんどの地域で上位に入っており、これらの項目についても全体的に不満と感じている方の割合が高いことがわかります。

なお、汐見台地域では「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」が4位、「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」が5位となっているなど、他の地域とは異なる特徴がみられます。

表9 居住地域別にみた生活環境に対する「満足」+「やや満足」の割合の高い項目

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
根岸地域 (n=132)	バスの便などの地域交通	74.2%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	57.6%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	56.8%	公園の管理、整備	50.8%	緑の保全と緑化の推進	49.2%
滝頭地域 (n=205)	バスの便などの地域交通	59.5%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	53.2%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	51.2%	公園の管理、整備	51.2%	緑の保全と緑化の推進	41.0%
岡村地域 (n=85)	バスの便などの地域交通	57.6%	公園の管理、整備	56.5%	緑の保全と緑化の推進	50.6%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	49.4%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	48.2%
磯子地域 (n=312)	バスの便などの地域交通	64.1%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	64.1%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	58.3%	公園の管理、整備	48.1%	緑の保全と緑化の推進	47.8%
汐見台地域 (n=77)	緑の保全と緑化の推進	75.3%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	71.4%	バスの便などの地域交通	68.8%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	67.5%	公園の管理、整備	66.2%
屏風ヶ浦地域 (n=265)	バスの便などの地域交通	65.7%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	61.9%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	61.1%	公園の管理、整備	48.7%	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	47.5%
杉田地域 (n=273)	バスの便などの地域交通	64.1%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	59.0%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	53.5%	緑の保全と緑化の推進	50.5%	身近な住民窓口サービス	50.2%
上笹下地域 (n=185)	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	58.9%	バスの便などの地域交通	57.3%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	57.3%	公園の管理、整備	53.5%	緑の保全と緑化の推進	51.9%
洋光台地域 (n=288)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	77.1%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	68.4%	バスの便などの地域交通	66.3%	緑の保全と緑化の推進	63.5%	公園の管理、整備	59.7%

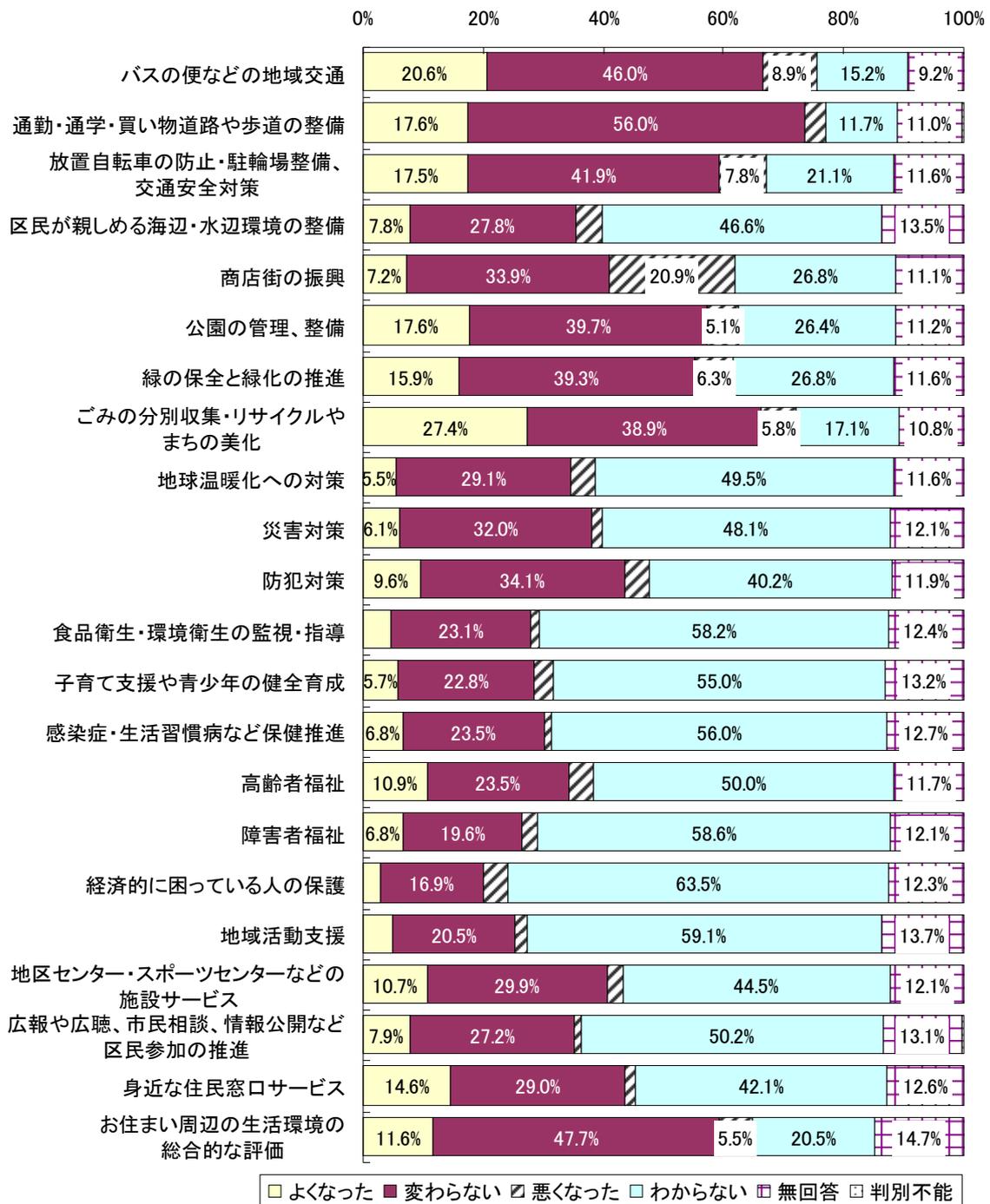
表10 居住地域別にみた生活環境に対する「やや不満」+「不満」の割合の高い項目

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
根岸地域 (n=132)	商店街の振興	45.5%	放置自転車の防 止・駐輪場整備、 交通安全対策	42.4%	通勤・通学・買い物 道路や歩道の整備	31.1%	災害対策	28.8%	防犯対策	27.3%
滝頭地域 (n=205)	商店街の振興	56.1%	放置自転車の防 止・駐輪場整備、 交通安全対策	43.4%	通勤・通学・買い物 道路や歩道の整備	39.5%	バスの便などの地 域交通	34.6%	防犯対策	30.7%
岡村地域 (n=85)	放置自転車の防 止・駐輪場整備、 交通安全対策	41.2%	通勤・通学・買い物 道路や歩道の整備	37.6%	バスの便などの地 域交通	35.3%	商店街の振興	35.3%	防犯対策	27.1%
磯子地域 (n=312)	商店街の振興	44.2%	放置自転車の防 止・駐輪場整備、 交通安全対策	32.4%	バスの便などの地 域交通	28.5%	通勤・通学・買い物 道路や歩道の整備	28.2%	防犯対策	26.6%
汐見台地域 (n=77)	商店街の振興	53.2%	通勤・通学・買い物 道路や歩道の整備	28.6%	バスの便などの地 域交通	26.0%	区民が親しめる海 辺・水辺環境の整 備	24.7%	地区センター・ス ポーツセンターな どの施設サービス	22.1%
屏風ヶ浦 地域 (n=265)	商店街の振興	36.2%	通勤・通学・買い物 道路や歩道の整備	29.4%	放置自転車の防 止・駐輪場整備、 交通安全対策	29.1%	防犯対策	26.4%	地球温暖化への対 策	24.2%
杉田地域 (n=273)	放置自転車の防 止・駐輪場整備、 交通安全対策	44.3%	通勤・通学・買い物 道路や歩道の整備	36.3%	商店街の振興	33.3%	防犯対策	31.1%	災害対策	26.7%
上笹下地域 (n=185)	商店街の振興	38.9%	バスの便などの地 域交通	37.3%	放置自転車の防 止・駐輪場整備、 交通安全対策	35.1%	通勤・通学・買い物 道路や歩道の整備	31.4%	防犯対策	29.2%
洋光台地域 (n=288)	商店街の振興	44.4%	放置自転車の防 止・駐輪場整備、 交通安全対策	27.1%	地球温暖化への対 策	24.0%	防犯対策	22.9%	災害対策	22.6%

(2) 問 11 生活環境に対する満足度の以前との比較

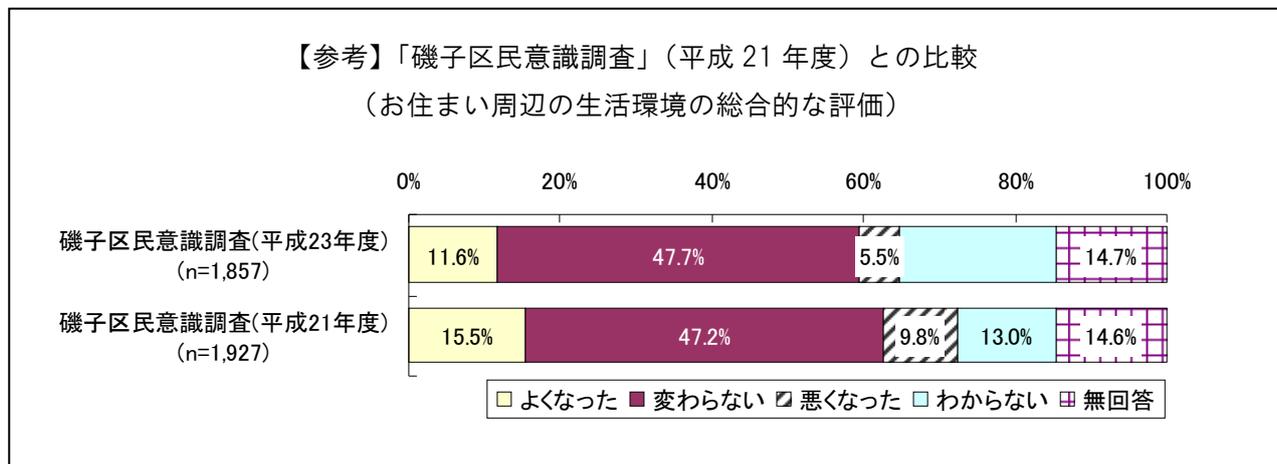
生活環境に対する満足度について、以前と比べての変化についてたずねたところ、「よくなった」との回答が多かったのは「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「公園の管理、整備」、「放置自転車の防止・駐車場整備、交通安全対策」等となっています。一方、「悪くなった」との回答が特に多かったのは、「商店街の振興」でした。

図 4 2 生活環境に対する満足度の以前との比較 (n=1,857)



《「磯子区民意識調査」(平成21年度)との比較》

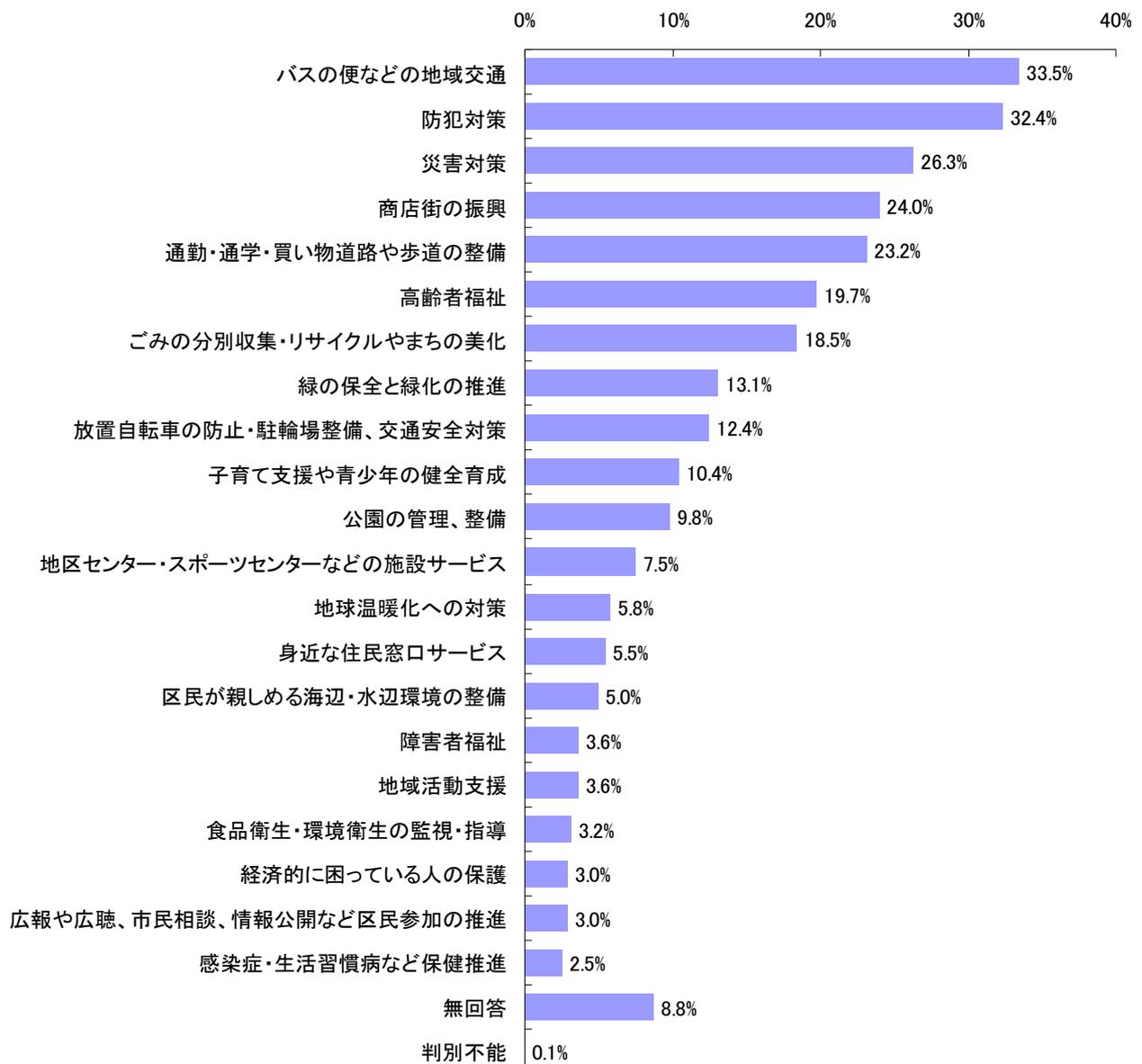
「お住まい周辺の生活環境の「総合的な評価」について、以前からの変化を「磯子区民意識調査」(平成21年度)と比較すると、「変わらない」の割合に変化はあまりみられませんが、「よくなった」、「悪くなった」の割合が低下しており、「わからない」の割合が高くなっています。



(3) 問 12 住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いもの

住まいの周辺の環境に関し、「とくに重要度が高いと考えるもの」について項目を3つまで挙げてもらったところ、「バスの便などの地域交通」が最も多く、次いで「防犯対策」、「災害対策」、「商店街の振興」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」となっています。

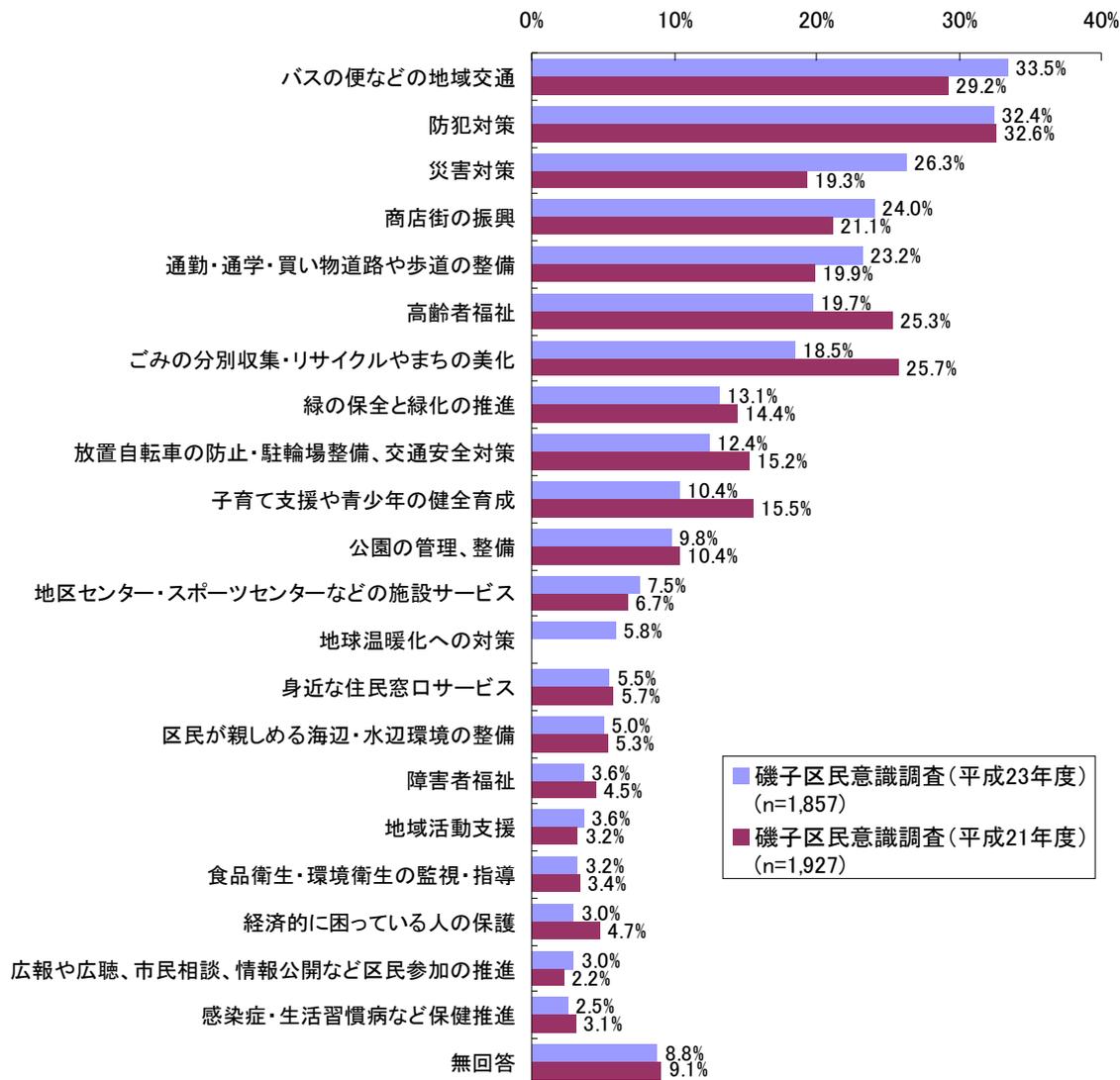
図 4 3 住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いもの (n=1,857)



《「磯子区民意識調査」(平成21年度)との比較》

「磯子区民意識調査」(平成21年度)と比較すると、全体的に割合の高い項目、低い項目には同様の傾向が見られます。「災害対策」等の項目では平成21年度よりも割合が高くなっており、一方で「高齢者福祉」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「子育て支援や青少年の健全育成」では割合が低くなっています。

【参考】「磯子区民意識調査」(平成21年度)との比較



※「磯子区民意識調査」(平成21年度)に、「地球温暖化への対策」という項目はありませんでした

《割合の高かった項目(上位5項目)》

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
磯子区民意識調査(平成23年度) (n=1,857)	バスの便などの地域交通	33.5%	防犯対策	32.4%	災害対策	26.3%	商店街の振興	24.0%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	23.2%
磯子区民意識調査(平成21年度) (n=1,927)	防犯対策	32.6%	バスの便などの地域交通	29.2%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	25.7%	高齢者福祉	25.3%	商店街の振興	21.1%

《重要度と満足度の関係》

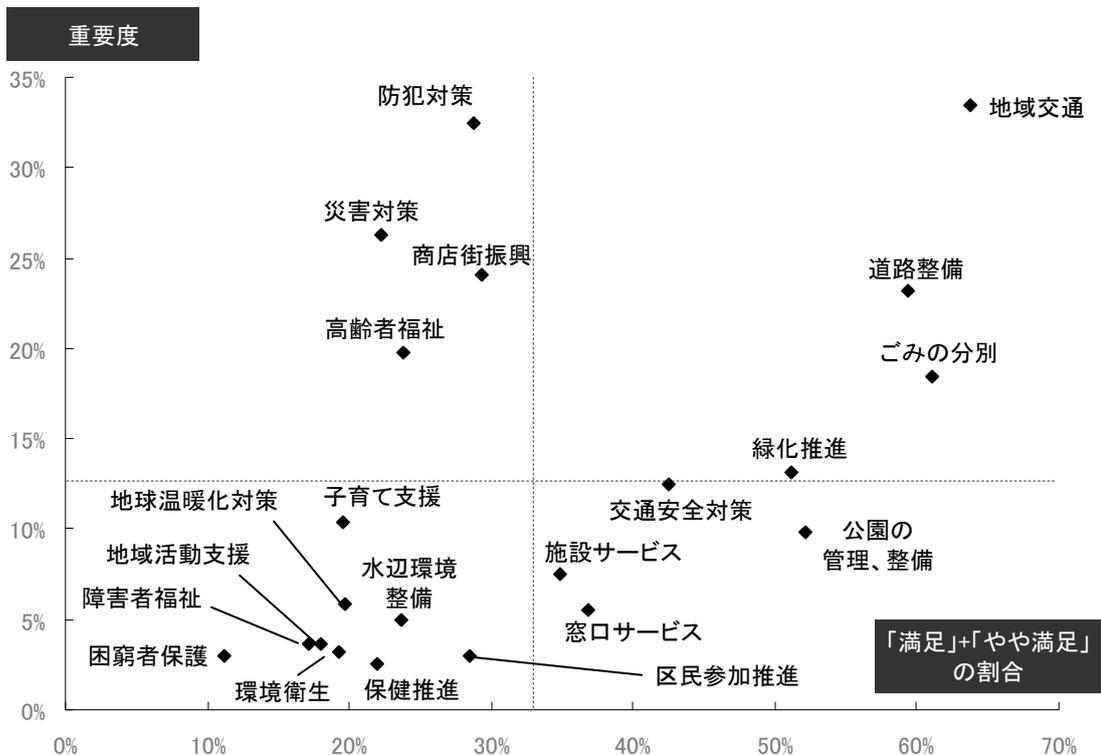
住まいの周辺の環境に関し、各項目の「とくに重要度が高いと考えるもの」としての回答割合（縦軸）と問 11 における「満足」+「やや満足」の割合（横軸）の関係についてみると、図 44 のようになります。

重要度の高い項目についてみると、「バスの便などの地域交通」（図中では「地域交通」）や「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（図中では「道路整備」）は重要度、「満足」+「やや満足」の割合がともに高い位置にあります。一方で「防犯対策」、「災害対策」、「商店街の振興」（図中では「商店街振興」）といった項目は問 11 における「満足」と「やや満足」の合計は 2 割から 3 割となっており、項目全体からみて割合があまり高くないところに位置しています。

また、「とくに重要度が高いと考えるもの」としての回答割合（縦軸）と問 11 における「不満」+「やや不満」の割合（横軸）の関係についてみると、図 45 のようになります。

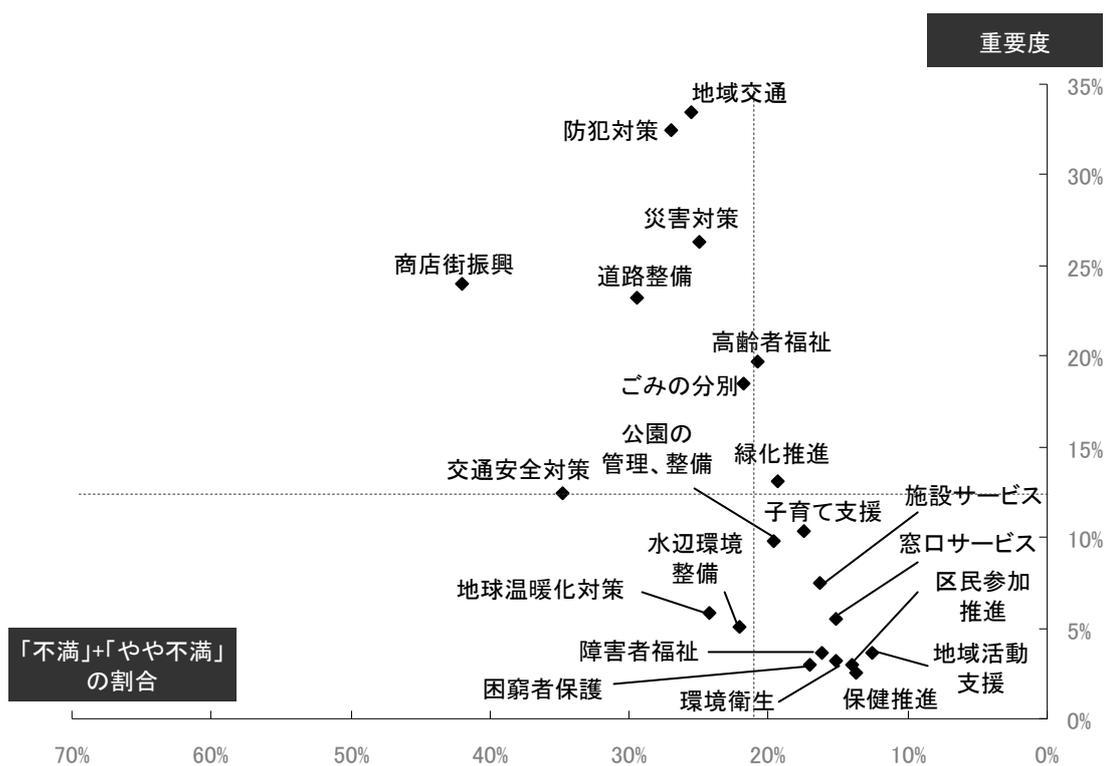
「バスの便などの地域交通」（図中では「地域交通」）、「防犯対策」、「災害対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（図中では「道路整備」）、「商店街の振興」（図中では「商店街振興」）等の項目は重要度が高い位置にあります。一方で「不満」+「やや不満」の割合が平均を上回っています。

図 4 4 住まいの周辺環境における重要度と「満足」+「やや満足」の割合



※点線は、重要度、及び「満足」+「やや満足」の割合の平均値を示しています

図4-5 住まいの周辺環境における重要度と「不満」+「やや不満」の割合

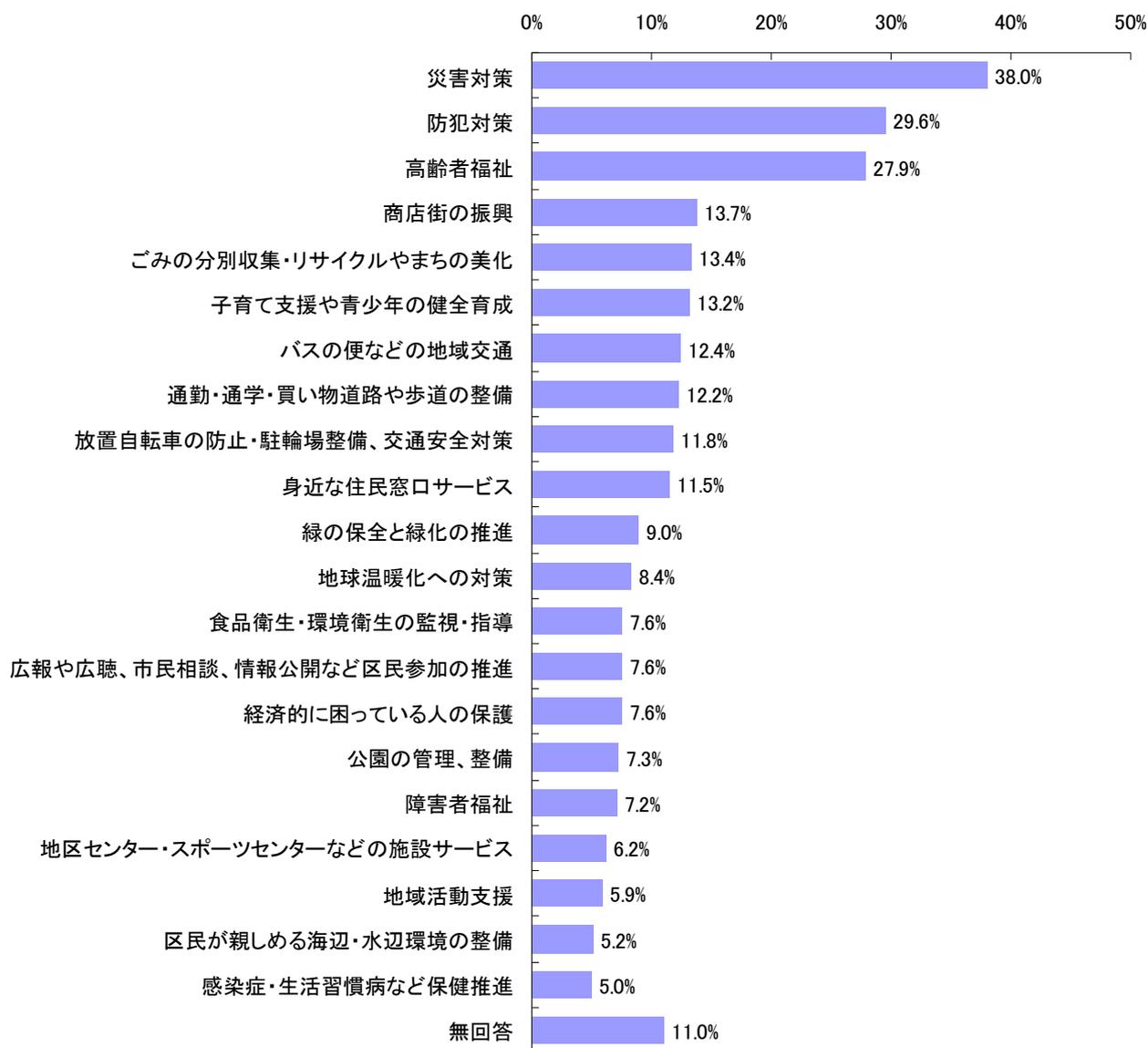


※点線は、重要度、及び「不満」+「やや不満」の割合の平均値を示しています

(4) 問 13 磯子区が取り組むべき課題として重要度が高いもの

問 12 と同様の設問項目に関し、「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」を 3 つまで挙げてもらったところ、「災害対策」が最も多く、次いで「防犯対策」、「高齢者福祉」となっています。この 3 点については、他の項目と比べて特に多くの回答が集まっていることがわかります。

図 4 6 磯子区が取り組むべき課題として特に重要度が高いもの (n=1,857)

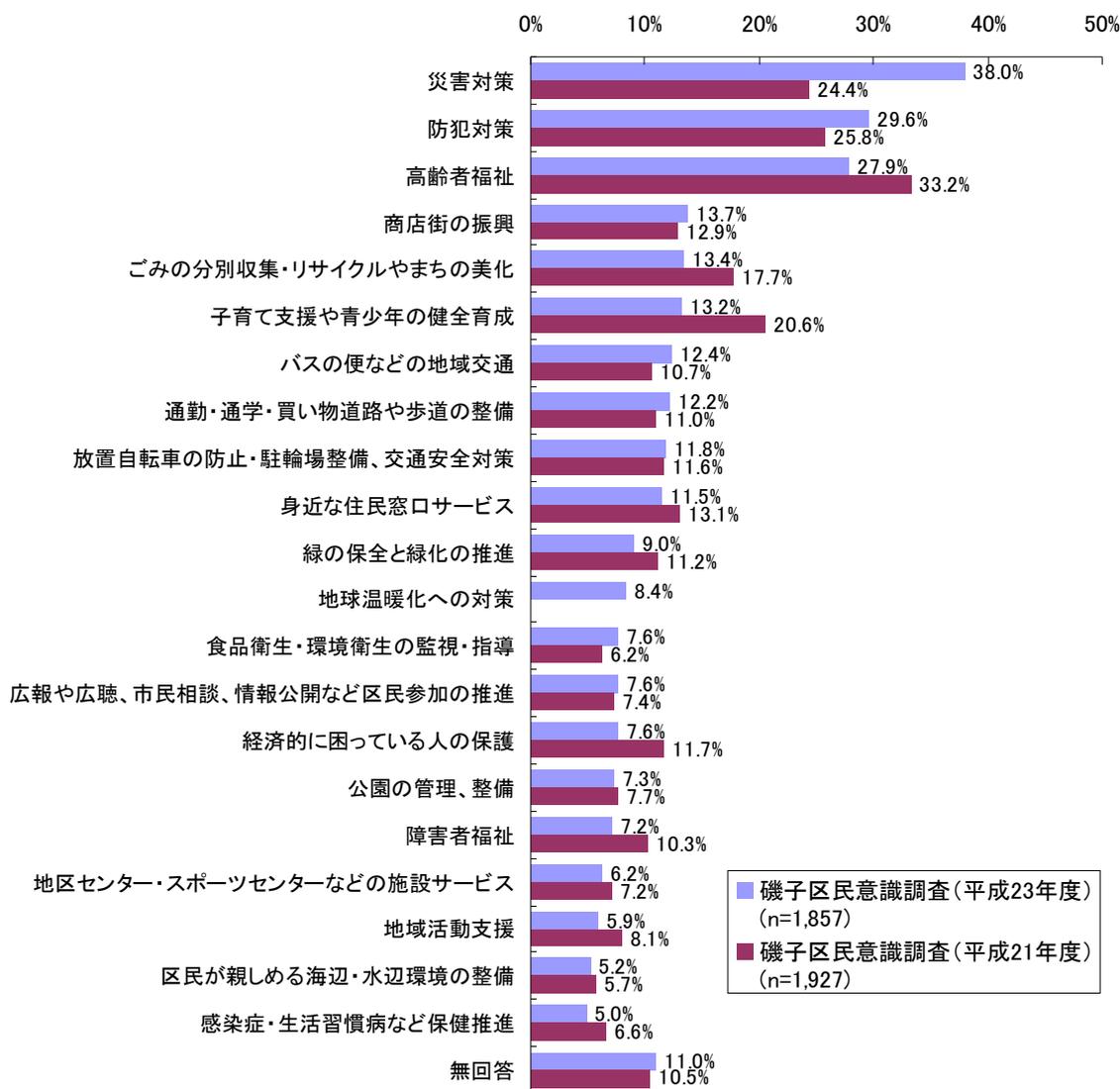


《「磯子区民意識調査」(平成21年度)との比較》

「磯子区民意識調査」(平成21年度)と比較すると、下図のようになっています。

「災害対策」、「防犯対策」等の項目では、平成21年度の調査よりも割合が高く、特に「災害対策」は平成21年度よりも10ポイント以上高くなっています。一方、「高齢者福祉」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「経済的に困っている人の保護」では平成21年度調査よりも割合が低くなっています。

【参考】「磯子区民意識調査」(平成21年度)との比較



※「磯子区民意識調査」(平成21年度)に、「地球温暖化への対策」という項目はありませんでした

《割合の高かった項目(上位5項目)》

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
磯子区民意識調査 (平成23年度) (n=1,857)	災害対策	38.0%	防犯対策	29.6%	高齢者福祉	27.9%	商店街の振興	13.7%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	13.4%
磯子区民意識調査 (平成21年度) (n=1,927)	高齢者福祉	33.2%	防犯対策	25.8%	災害対策	24.4%	子育て支援や青少年の健全育成	20.6%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	17.7%

《重要度と満足度の関係》

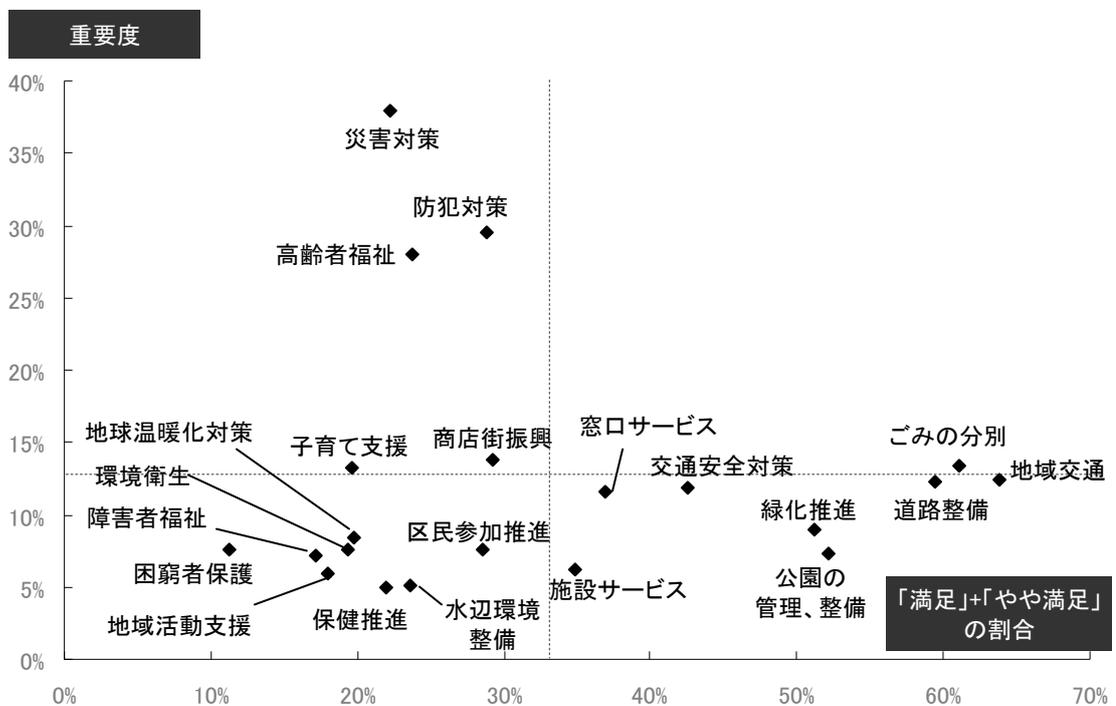
「磯子区が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」としての回答割合（縦軸）と問 11 における「満足」+「やや満足」の割合（横軸）の関係についてみると、図 47 のようになります。

「災害対策」、「防犯対策」、「高齢者福祉」は区が取り組むべき課題としての重要度が他の項目と比較して高くなっていますが、問 11 における「満足」と「やや満足」の合計は 2 割から 3 割となっており、項目全体からみてあまり割合の高くない位置にあります。

一方、「磯子区が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」としての回答割合（縦軸）と「不満」+「やや不満」の割合（横軸）との関係についてみると、図 48 のようになります。

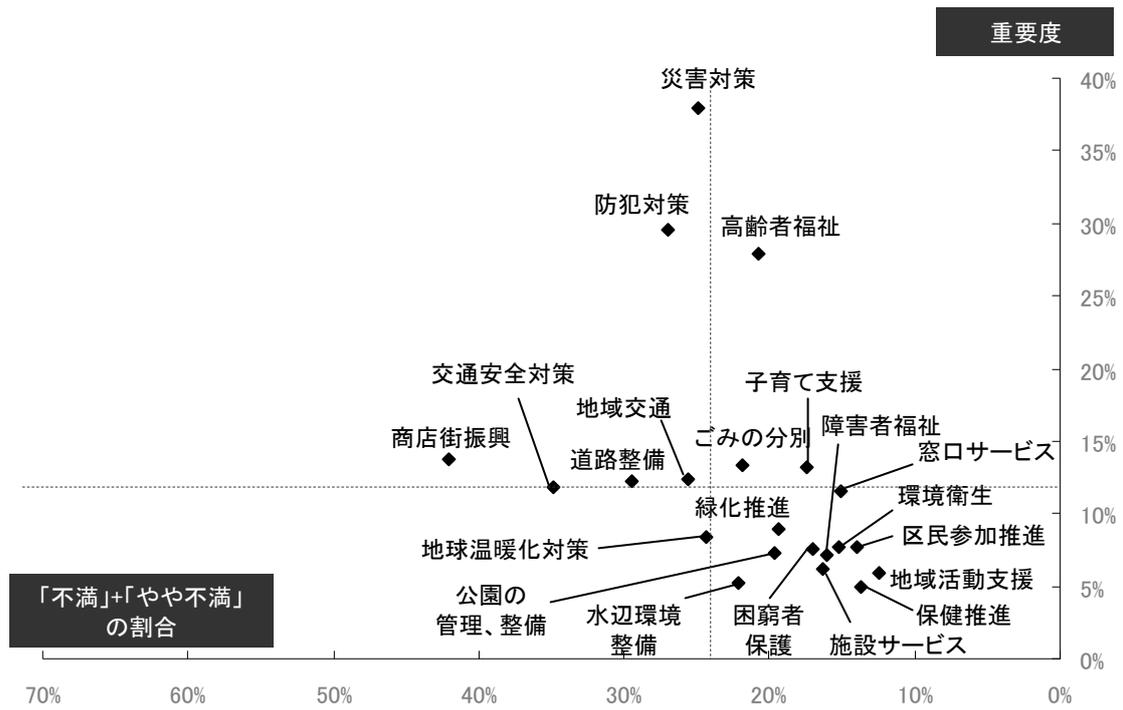
「災害対策」、「防災対策」は区が取り組むべき課題としての重要度が高くなっていますが、「不満」+「やや不満」の割合は平均値より高くなっています。

図 47 磯子区が取り組むべき課題としての重要度と「満足」+「やや満足」の割合



※点線は、重要度、及び「満足」+「やや満足」の割合の平均値を示しています

図4-8 磯子区が取り組むべき課題としての重要度と「不満」+「やや不満」の割合



※点線は、重要度、及び「不満」+「やや不満」の割合の平均値を示しています

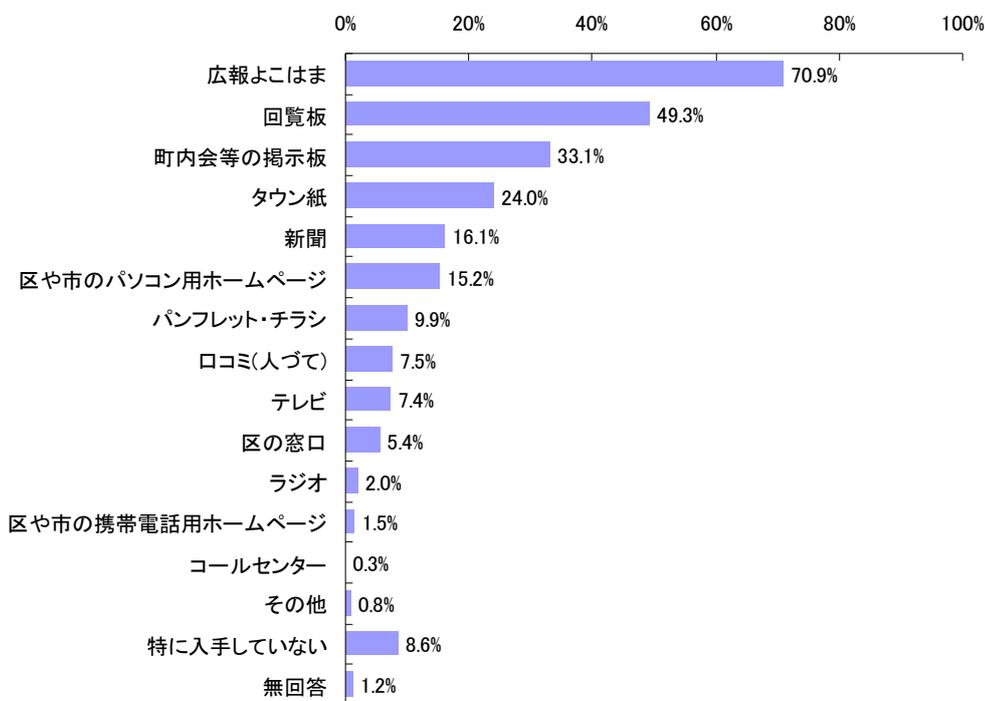
5. 区政に関する情報や区の事業などについて

(1) 問 14 区役所や市役所からの情報を入手している媒体

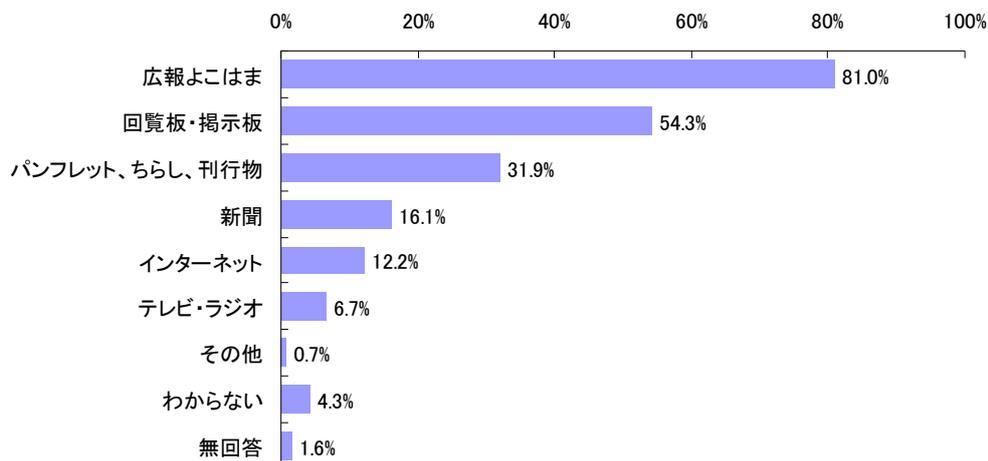
どのような媒体によって区役所や市役所からの情報を入手しているかについて、最も多かったのは「広報よこはま」で70.9%、次いで「回覧板」が49.3%、「町内会等の掲示板」が33.1%、「タウン紙」が24.0%でした。選択肢が同じではないため単純に比較はできませんが、参考までに平成16年度の「磯子コスモスリサーチ」と比較すると、「広報よこはま」等の割合が低くなっています。また、平成16年度には「インターネット」が12.2%であったのに対し平成23年度には「区や市のパソコン用ホームページ」が15.2%となっており、インターネットを利用している割合がやや高まっています。

「その他」は0.8%で、14件の記入がありました。内容は、「他区の広報」、「自治会」、「パソコン」、「図書館」などとなっています。

図49 区役所や市役所からの情報を入手している媒体 (n=1,857)



【参考】 磯子コスモスリサーチ (平成16年度) における同様の設問の回答 (n=1,027)



《年齢層別にみた区役所や市役所からの情報を入手している媒体》

どのような媒体によって区役所や市役所からの情報を入手しているかについて年齢層別にみたところ、表 11 のようになりました。

「広報よこはま」や「町内会等の掲示板」、「回覧板」は、いずれの年齢層においても情報源として比較的好く読まれていることがわかりますが、特に年齢層が高いほど、これらの手段を利用している傾向が強くなっています。一方「区や市のパソコン用ホームページ」は比較的年齢層の若い方において利用している割合が高くなっています。

なお、特に若年層において、区役所や市役所からの情報を「特に入手していない」と回答する割合が高く、「20～29歳」で 30.5%となっています。

表 11 年齢層別にみた区役所や市役所からの情報を入手している媒体

	広報よこはま	区や市のパソコン用ホームページ	区や市の携帯電話用ホームページ	テレビ	ラジオ	新聞	タウン紙	パンフレット・チラシ
20～29歳(n=141)	34.8%	21.3%	3.5%	9.2%	0.7%	7.8%	19.9%	4.3%
30～39歳(n=260)	56.9%	30.0%	4.6%	5.8%	1.2%	6.2%	21.9%	9.6%
40～49歳(n=308)	70.1%	22.1%	1.0%	3.2%	1.9%	8.4%	27.6%	5.8%
50～59歳(n=269)	73.2%	16.4%	0.7%	4.1%	0.7%	15.6%	21.6%	9.7%
60～69歳(n=428)	81.8%	10.5%	0.7%	6.8%	2.3%	16.1%	25.2%	14.3%
70歳以上(n=431)	81.0%	3.5%	0.7%	13.2%	3.7%	30.4%	24.6%	10.7%
	町内会等の掲示板	回覧板	コールセンター	区の窓口	口コミ(人づて)	その他	特に入手していない	無回答
20～29歳(n=141)	17.0%	18.4%	0.0%	4.3%	9.2%	0.7%	30.5%	0.0%
30～39歳(n=260)	19.2%	31.2%	0.4%	6.2%	6.9%	0.4%	14.2%	0.0%
40～49歳(n=308)	24.0%	44.8%	0.0%	1.9%	4.5%	0.6%	9.4%	0.3%
50～59歳(n=269)	34.2%	52.4%	0.7%	5.2%	5.2%	0.7%	7.8%	0.4%
60～69歳(n=428)	40.4%	56.3%	0.0%	6.1%	10.3%	0.7%	4.0%	0.5%
70歳以上(n=431)	45.7%	65.4%	0.5%	7.2%	8.4%	1.2%	2.8%	3.0%

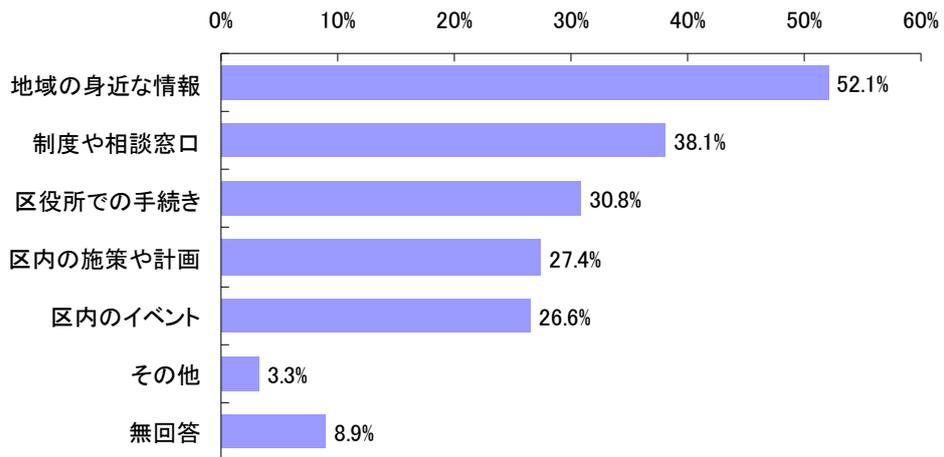
30.5%:他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

(2) 問 15 区役所から提供してほしい情報

区役所から提供してほしい情報として、最も多かったのは「地域の身近な情報」で52.1%、次いで「制度や相談窓口」が38.1%となっています。

「その他」は3.3%であり、51件の記入がありました。内容は、「災害に関すること」が9件、「医療に関すること」が4件、「開発に関すること」が3件などとなっています。

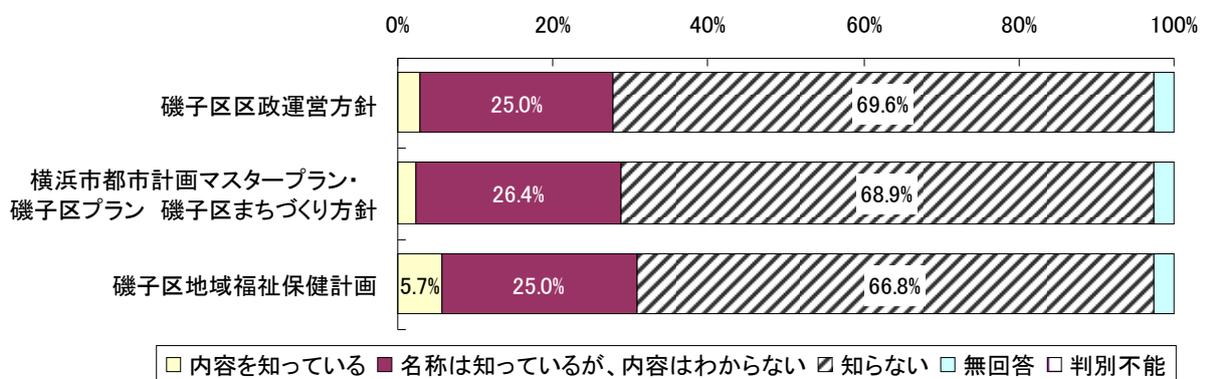
図50 区役所から提供してほしい情報 (n=1,857)



(3) 問 16 磯子区で策定している方針・計画についての認知度

磯子区で策定している方針・計画の認知度に関し、「磯子区区政運営方針」、「横浜市都市計画マスタープラン・磯子区プラン 磯子区まちづくり方針」、「磯子区地域福祉保健計画（愛称：スイッチ^{オン}磯子）」について、それぞれ「知らない」と答えた方が約7割となっています。

図51 磯子区で策定している方針・計画についての認知度 (n=1,857)

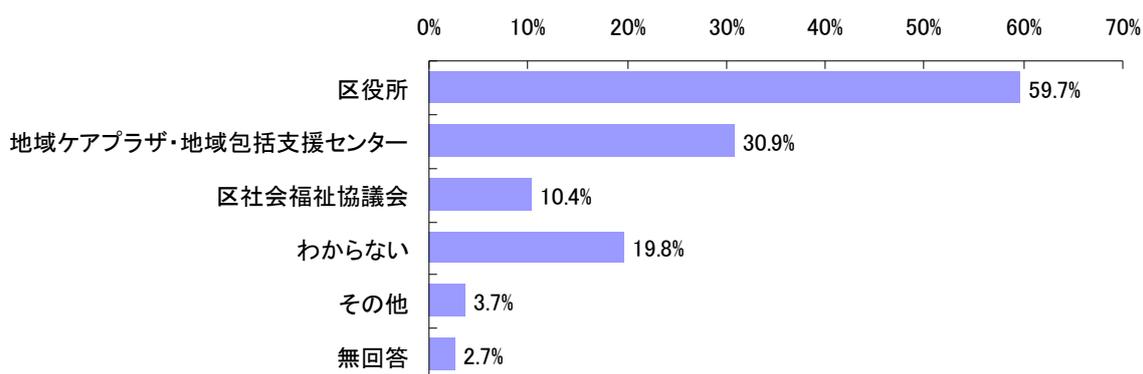


(4) 問 17 高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先

高齢者の介護や福祉のことで困ったときにどこに相談するかについて、最も多かったのは「区役所」で 59.7%、次いで「地域ケアプラザ・地域包括支援センター」が 30.9%となっています。なお、「わからない」との回答は 19.8%でした。

「その他」は 3.7%で、54 件の記入がありました。内容は、「ケアマネジャー」が 9 件、「家族、親族」が 8 件、「民生委員」が 6 件などでした。また、「今のところ困っていない」との回答が 5 件ありました。

図 5 2 高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先 (n=1,857)



《年齢層別にみた高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先》

高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先を年齢層別にみると、表 12 のようになります。

「区役所」、「地域ケアプラザ・地域包括支援センター」、「区社会福祉協議会」を相談先としている割合をみると、「40～49 歳」、「50～59 歳」の層において、それ以下の年齢層よりも相談先として挙げている割合が高くなる傾向がみられます。特に「区社会福祉協議会」では、「50～59 歳」における回答割合が「40～49 歳」の 2 倍以上となっています。

なお、高齢者福祉の対象となる「60～69 歳」、「70 歳以上」の層においても、相談先が「わからない」と回答している方が 1 割程度となっています。

表 1 2 年齢層別にみた高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先

	区役所	地域ケアプラザ・地域包括支援センター	区社会福祉協議会	わからない	その他	無回答
20～29歳(n=141)	39.7%	23.4%	4.3%	41.8%	5.7%	2.1%
30～39歳(n=260)	48.1%	25.8%	4.2%	34.2%	3.1%	2.3%
40～49歳(n=308)	65.6%	26.6%	5.8%	22.7%	1.6%	1.3%
50～59歳(n=269)	64.7%	35.3%	12.6%	18.6%	4.5%	0.4%
60～69歳(n=428)	63.3%	32.7%	16.1%	12.1%	2.6%	3.3%
70歳以上(n=431)	62.6%	35.7%	12.5%	10.7%	5.1%	3.7%

《居住地域別にみた高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先》

高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先を居住地域別にみると、表 13 のようになります。

「区社会福祉協議会」には差があまりみられません、「区役所」、「地域ケアプラザ・地域包括支援センター」には地域による差がみられます。上笹下地域では「区役所」、汐見台地域や屏風ヶ浦地域では「地域ケアプラザ・地域包括支援センター」を相談先として挙げている方の割合が他の地域と比較して高くなっています。

表 13 居住地域別にみた高齢者の介護や福祉で困ったときの相談先

	区役所	地域ケアプラザ・地域包括支援センター	区社会福祉協議会	わからない	その他	無回答
根岸地域(n=132)	59.1%	27.3%	9.8%	22.7%	1.5%	3.8%
滝頭地域(n=205)	59.5%	32.2%	9.3%	19.5%	2.9%	2.9%
岡村地域(n=85)	61.2%	24.7%	11.8%	17.6%	4.7%	2.4%
磯子地域(n=312)	63.1%	29.8%	10.9%	17.9%	2.6%	2.6%
汐見台地域(n=77)	59.7%	37.7%	10.4%	23.4%	0.0%	3.9%
屏風ヶ浦地域(n=265)	58.5%	35.1%	9.1%	20.4%	3.4%	1.5%
杉田地域(n=273)	56.8%	31.5%	11.0%	20.5%	3.7%	1.1%
上笹下地域(n=185)	65.4%	30.3%	10.3%	19.5%	5.4%	2.7%
洋光台地域(n=288)	57.3%	30.9%	11.8%	20.1%	5.2%	1.7%

(5) 問 18 新杉田行政サービスコーナーの利用経験

《新杉田行政サービスコーナーの利用経験》

新杉田行政サービスコーナーを利用したいことがあるかについて、「利用したことがある」は 32.2%、「知っているが、利用したことがない」が 27.7%、「知らない」が 37.7%でした。

《新杉田行政サービスコーナーを利用しない理由》(問 18-1)

「知っているが、利用したことがない」と回答した方について、利用しない理由についてたずねたところ、最も多かったのは「証明書が必要なことがあまりない」で 48.1%、次いで「自分にとって利用しにくい場所にある」が 40.9%となっています。

「その他」は 13.4%で、62 件の記入がありました。内容は、「区役所を利用しているから」が 26 件、「他の行政サービスコーナーを利用するから」が 18 件などとなっています。

図 5 3 新杉田行政サービスコーナーの利用経験 (n=1,857)

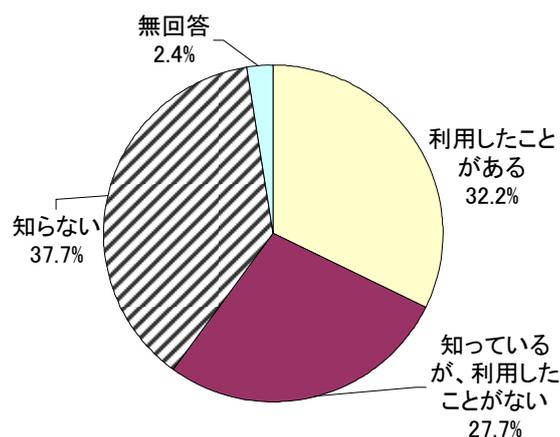
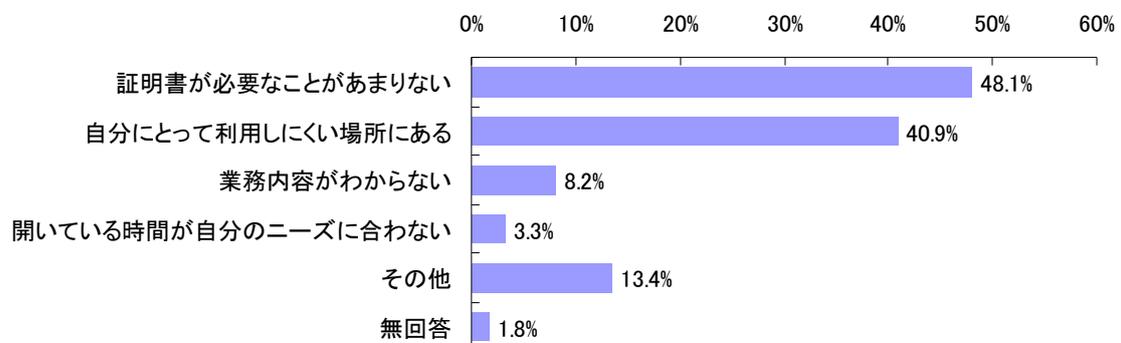


図 5 4 新杉田サービスコーナーを利用しない理由 (n=514)



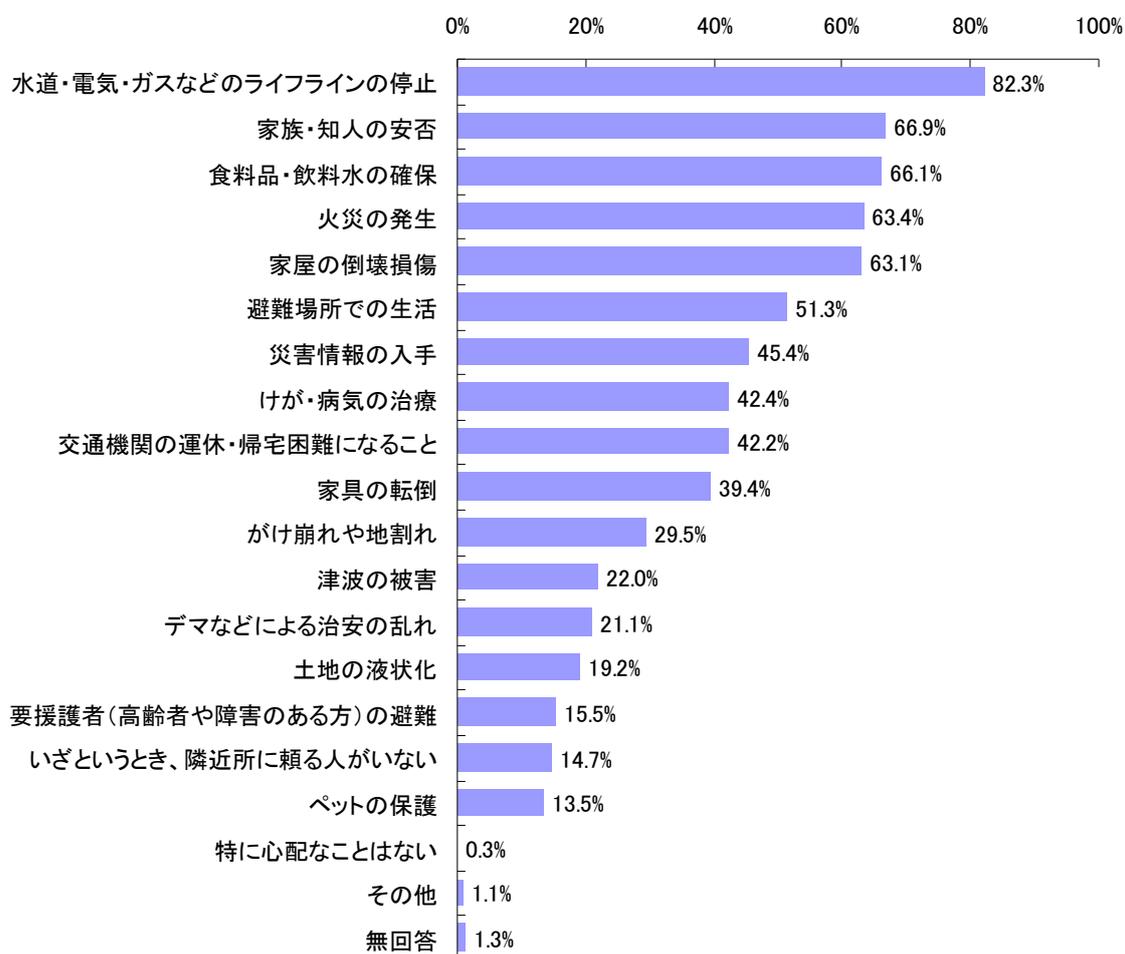
6. 災害対策について

(1) 問 19 大地震が起きたときに特に心配なこと

大地震が起きたときに特に心配なことについて、最も多かったのは「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」で82.3%、次いで「家族・知人の安否」が66.9%、「食料品・飲料水の確保」が66.1%、「火災の発生」が63.4%、「家屋の倒壊損傷」が63.1%となっています。なお、「特に心配なことはない」との回答は0.3%でした。

「その他」は1.1%で、19件の記入がありました。内容は、「子どもの避難、安全確保」、「高齢である、あるいは障害があること」がそれぞれ3件、「都市機能のマヒ」、「トイレ」が2件などでした。

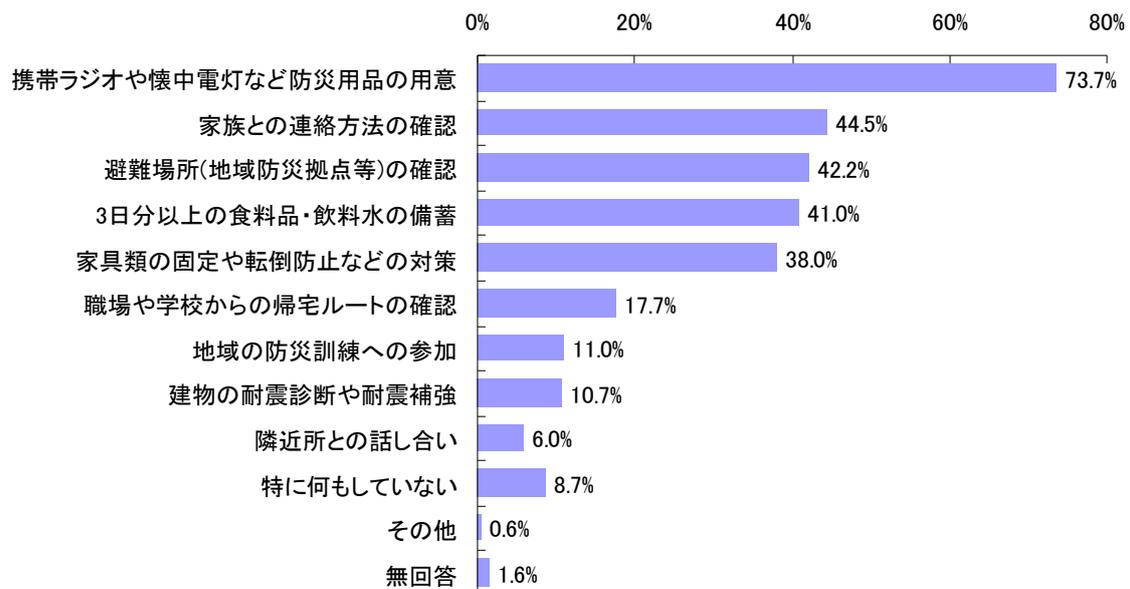
図55 大地震が起きたときに特に心配なこと (n=1,857)



(2) 問 20 大地震に対する準備

大地震に対してどのような準備を行っているかについて、最も多かったのは「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」で73.7%、次いで「家族との連絡方法の確認」が44.5%、「避難場所（地域防災拠点等）の確認」が42.2%、「3日分以上の食料品・飲料水の備蓄」が41.0%となっています。なお、「特に何もしていない」との回答は8.7%でした。「その他」は0.6%で、12件の記入がありました。

図56 大地震に対する準備（n=1,857）

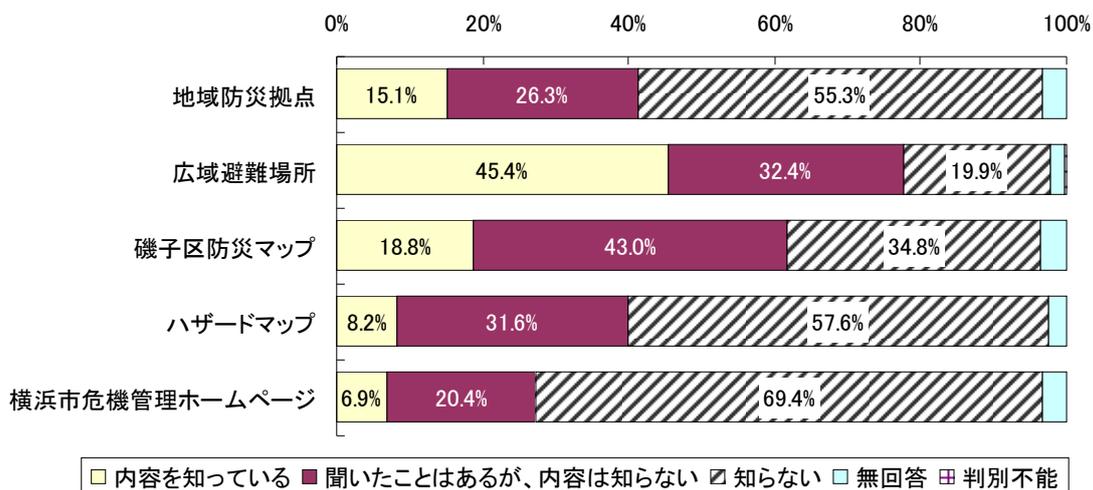


(3) 問 21 磯子区や横浜市が行っている防災事業などの認知度

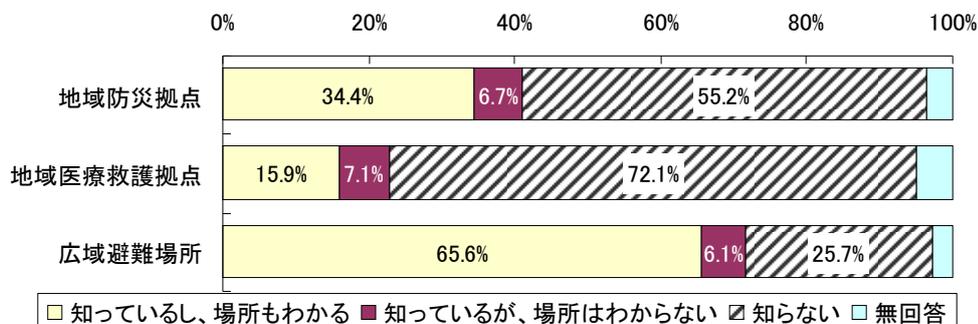
磯子区や横浜市が行っている防災事業などの認知度に関し、「地域防災拠点」、「広域避難場所」、「磯子区防災マップ」、「ハザードマップ」、「横浜市危機管理ホームページ」のうち、「知らない」との回答が最も多かったのは「横浜市危機管理ホームページ」で69.4%、次いで「ハザードマップ」が57.6%でした。一方、「内容を知っている」との回答が最も多かったのは「広域避難場所」で45.4%でした。

「横浜市民意識調査」（平成23年度）では、「広域避難場所」について「知っているし、場所もわかる」が65.6%となっています。質問の仕方が異なるため単純な比較はできませんが、磯子区では横浜市民全体と比べて広域避難場所の認知度が低いことがうかがえます。また「地域防災拠点」について同様に比較すると、横浜市全体では「知っているし、場所もわかる」が34.4%であるのに対し、磯子区では「内容を知っている」が15.1%となっており、こちらについても市全体と比べ認知度が低いことがうかがえます。

図57 磯子区や横浜市が行っている防災事業などの認知度（n=1,857）



【参考】「横浜市民意識調査」（平成23年度）における同様の設問の結果（n=2,163）



(4) 問 22 住宅用火災警報器などの設置

《住宅用火災警報器などの設置の有無》

住宅用火災警報器などの自動で火災を感知する設備を設置したかについて、「設置した」は 71.9%、「設置していない」が 21.0%、「わからない」が 4.0%となっています。なお、設置されている割合は、「横浜市民意識調査」（平成 23 年度）と同程度です。

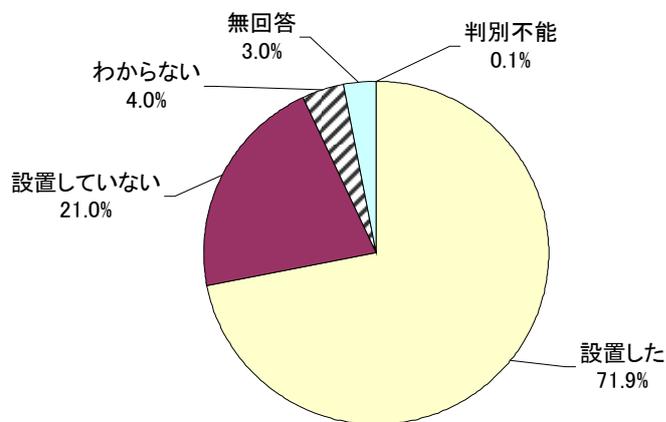
火災警報器等の設置状況について「磯子区民意識調査」（平成 21 年度）と比較すると、平成 21 年度調査では設置の有無がそれぞれ約半数であったのに対し、平成 23 年度調査では「設置した」の割合が平成 21 年度調査より 22.5 ポイント高まっています。

《住宅用火災警報器などを設置した場所》

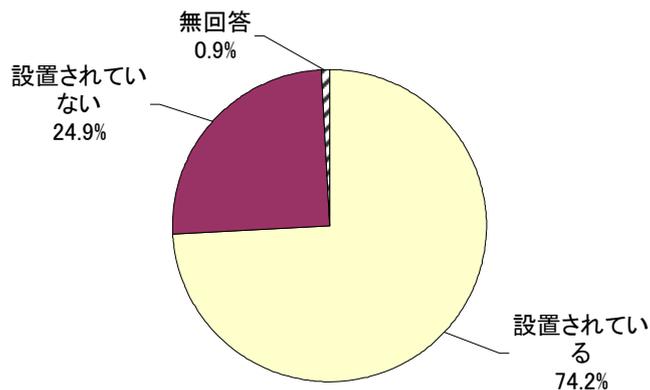
また、「設置した」と回答した方に設置されている場所をたずねたところ、「台所」は 91.6%、「寝室」が 69.2%、「階段」が 20.6%、「廊下」が 14.9%でした。

「その他」は 14.9%で、193 件の記入がありました。内容は、「居間・リビング」が 90 件、「全室・各部屋」が 37 件、「押入れ等の収納スペース」が 23 件、「風呂場、洗面所」が 12 件などとなっています。

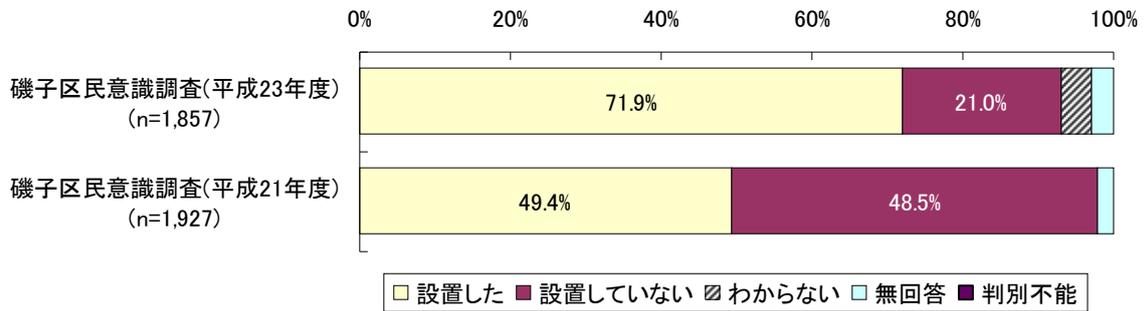
図 5 8 住宅用火災警報器などの設置の有無 (n=1,857)



【参考】「横浜市民意識調査」（平成 23 年度）における同様の設問の回答 (n=2,163)

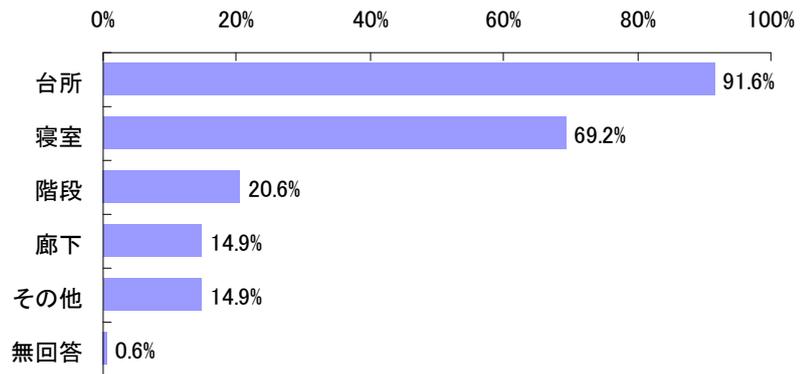


【参考】「磯子区民意識調査」(平成 21 年度) との比較



※「磯子区民意識調査」(平成 21 年度) には、「わからない」という選択肢は用意されていません

図 5 9 住宅用火災警報器などを設置した場所 (n=1,336)

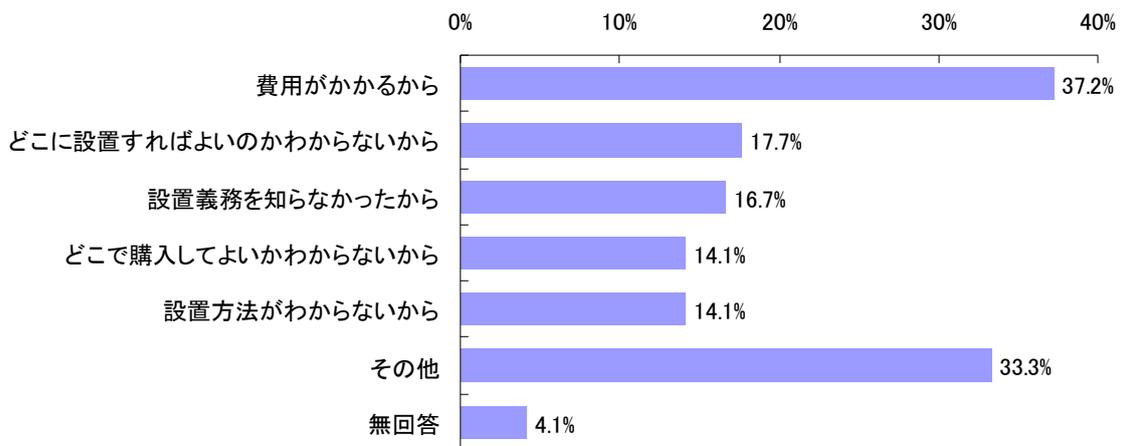


《住宅用火災警報器などを設置していない理由》

「設置していない」と回答した方に設置していない理由をたずねたところ、最も多かったのは「費用がかかるから」で37.2%でした。

「その他」は33.3%で、117件の記入がありました。「これから設置する予定」が23件、「設置、購入を検討中」が15件、「警報器は購入済みだが未設置」が12件あり、設置していない理由の記述としては「賃貸住宅だから」が11件、「忘れていた」が10件、「必要性を感じないから」が9件などとなっています。

図60 住宅用火災警報器などを設置していない理由（n=390）



7. その他（自由意見について）

自由意見欄には、557名の回答者から記入がありました。自由意見の主な内容を「横浜市の広聴情報データベースシステムで使用する内容分類表」に従って整理すると、各分類項目の件数は表14のようになりました。意見の多かった項目としては、「交通・道路に関すること」が157件と最も多く、次いで「公害・環境保全・緑に関すること」、「職員（教職員を除く）に関すること」がそれぞれ55件、「防犯・防災・消防に関すること」が53件などでした。

表14 自由意見の主な内容

内容（分類別）	件数
交通・道路に関すること	157件
うち、バスに関すること	(40件)
うち、バスダイヤ・定時運行に関すること	(25件)
うち、道路に関すること	(58件)
うち、駐車・駐輪に関すること	(26件)
公害・環境保全・緑に関すること	55件
うち、緑地保全・緑化推進に関すること	(25件)

内容（分類別）	件数
職員（教職員を除く）に関すること	55 件
うち、市民対応に関すること	(53 件)
うち、市民対応へのお礼	(26 件)
うち、市民対応への苦情	(27 件)
防犯・防災・消防に関すること	53 件
うち、防災・消防に関すること	(31 件)
市民利用施設に関すること	48 件
都市経営・運営に関すること	43 件
うち、行政改革・組織に関すること	(38 件)
うち、窓口サービスの機能強化に関すること	(27 件)
広報・広聴・市民相談・情報公開に関すること	43 件
うち、広報・広聴・市民相談に関すること	(41 件)
うち、広報に関すること	(23 件)
経済・産業に関すること	38 件
うち、産業振興に関すること	(32 件)
うち、商業・サービス業振興に関すること	(25 件)
福祉に関すること	37 件
うち、高齢者福祉に関すること	(22 件)
ごみ、リサイクルに関すること	36 件
うち、まちの美化に関すること	(21 件)
子育て支援に関すること	23 件
市民活動に関すること	22 件
都市整備・開発と住宅に関すること	15 件
保健・衛生・医療に関すること	10 件
戸籍・税金・保険年金に関すること	10 件
教育に関すること	9 件
港湾・河川に関すること	8 件
観光・シティセールスに関すること	3 件
文化・スポーツに関すること	2 件
選挙に関すること	1 件
その他	63 件
特になし	22 件

※一つの回答の中に複数の項目について述べられている場合には、それぞれの項目について1件と数えているため、項目ごとの件数の合計は回答総数と一致しません

Ⅲ. 参考資料（調査票・単純集計結果）

平成 23 年度 磯子区民意識調査（調査票）

区民の皆様には、日頃より磯子区政にご協力いただきありがとうございます。

磯子区では、区民の皆様の意見を生かした区政を行うために、生活環境や地域活動等についての区民アンケート調査を2年毎に実施しております。

皆様からいただいたご意見は、今後も「地域の人たちとともにつくる 暮らしやすさを実感できるまち・いそご」を目指した様々な施策に反映させてまいりたいと考えております。

つきましては、お忙しいなか誠に恐縮ではございますが、このアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成23年6月

磯子区長 さかもと 坂本 むらじ 連

このアンケートは、磯子区在住の20歳以上の区民の方々の中から無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封いたしました返信用封筒に入れて、**平成23年6月29日（水）までに投函**してください（切手及び記名は不要です）。

ご記入にあたって

- ◆封筒の宛先にお名前を書かせていただいたご本人がお答えください。
- ◆質問には、回答にある番号に○印を付けていただく形式、記号を回答欄に記入していただく形式、自由に意見を記入していただく形式があります。
- ◆回答にある番号に○印を付けていただく形式では、原則として該当する番号1つに○印を付けていただきます。複数の回答が可能な質問には、その旨、記載してあります。質問文の記載にしたがってご回答ください。回答が、「その他」に当てはまる場合には、その番号に○印を付けて、()内に具体的にその内容をご記入ください。



アンケートについて、ご不明な点やご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

磯子区役所 総務部区政推進課企画調整係
電話 045(750)2332
電子メール is-kikaku@city.yokohama.jp
担当 岡本、うるしだ 櫻田

あなたの普段の生活やあなたが考える磯子区の魅力についてお伺いします。

問1 あなたは、今のご自分の生活に満足していますか、それとも、不満がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|--------------------|-----------------------|
| 1 満足しているほう 16.5% | 2 まあ満足しているほう 47.3% | 3 どちらともいえない 15.7% |
| 4 やや不満があるほう 9.5% | 5 不満があるほう 8.1% | 6 わからない 0.5% 無回答 2.4% |

問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 自分の病気や老後のこと 44.6% | 2 景気や生活費のこと 39.2% |
| 3 家族の健康や生活上の問題 36.4% | 4 子どもの保育や教育のこと 12.4% |
| 5 仕事や職場のこと 11.9% | 6 失業・倒産や収入が減ること 7.6% |
| 7 犯罪や防犯のこと 9.2% | 8 住宅のこと 10.5% |
| 9 事故・災害のこと 16.8% | 10 環境問題のこと 9.9% |
| 11 近隣からの悪臭・騒音 3.6% | 12 その他 () 3.8% |
| 13 心配ごとや困っていることはない 7.4% | 無回答 2.5% 判別不能 0.7% |

問3 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|------------------|----------------|
| 1 住み続ける 33.1% | 2 たぶん住み続ける 42.9% | 3 たぶん移転する 6.4% |
| 4 移転する 1.2% | 5 わからない 15.7% | 無回答 0.6% |

問4 あなたは磯子区に愛着や誇りを感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| 1 感じている 26.1% | 2 やや感じている 33.3% | 3 どちらともいえない 24.9% |
| 4 あまり感じていない 8.9% | 5 まったく感じていない 3.2% | 6 わからない 2.2% |
| 無回答 1.1% 判別不能 0.2% | | |

問5 あなたが考える磯子区の魅力は何ですか。

(例：○○がある、○○なところ、○○だから など)

問6 次の項目について、あなたが普段生活するうえで重要だと思うことと現在のあなた自身の取組状況についてお答えください。(項目ごとに、「普段生活するうえで重要だと思うこと」、「あなた自身の取組状況」からそれぞれ番号を1つ選んで○)

項目	普段生活するうえで重要だと思うこと (%)							あなた自身の取組状況 (%)						
	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	判別不能	よくできている	大体できている	どちらでもない	あまりできていない	できていない	無回答	判別不能
ア. 不審者に注意すること	64.2	24.5	5.2	1.6	0.3	4.2	0.0	7.4	47.8	21.8	11.4	4.1	7.4	0.1
イ. 防犯パトロールに参加すること	17.8	34.2	30.9	6.6	2.9	7.6	0.0	2.0	6.3	17.1	16.3	49.9	8.2	0.2
ウ. 自宅に補助鍵や防犯カメラをつけること	31.8	36.9	15.6	7.8	1.6	6.4	0.1	6.6	26.1	15.0	16.1	27.7	8.5	0.1
エ. いざという時の避難場所を把握すること	69.3	19.8	3.9	1.1	0.2	5.6	0.0	15.8	42.6	11.9	14.7	7.2	7.8	0.0
オ. 普段から災害時の備えをすること	61.2	26.7	5.1	1.0	0.2	5.7	0.2	8.2	35.1	19.0	22.9	7.4	7.3	0.1
カ. 地域の防災訓練に参加すること	29.9	40.4	17.8	3.8	1.1	7.1	0.0	4.9	13.0	18.5	23.8	31.9	7.8	0.2
キ. ごみの分別をきちんとすること	66.2	24.0	4.1	0.8	0.3	4.5	0.1	50.7	38.4	2.8	0.9	0.4	6.7	0.1
ク. 資源集団回収に協力すること	55.3	29.1	8.7	1.3	0.3	5.3	0.0	39.4	36.8	9.3	3.4	3.6	7.3	0.3
ケ. 省エネに取り組むこと	58.3	30.7	5.1	0.8	0.2	4.7	0.3	17.3	52.3	16.7	5.3	1.0	7.1	0.2
コ. なるべくリサイクル製品を購入すること	14.0	28.1	39.0	9.0	3.8	6.0	0.1	3.9	16.2	40.9	17.6	13.8	7.6	0.1
サ. グリーンカーテンやエコドライブなど環境に配慮すること	29.2	42.3	18.7	2.9	0.9	6.0	0.0	6.5	27.9	31.8	16.9	8.8	7.8	0.2
シ. 子どもや子ども連れに気軽に声がけや挨拶をすること	22.6	35.4	28.2	6.1	2.0	5.8	0.1	8.3	28.3	30.0	14.8	10.9	7.7	0.0
ス. 困っている親子を見かけたときに手助けすること	38.7	41.1	13.1	0.8	0.4	5.7	0.1	9.5	36.8	30.0	10.6	5.2	7.6	0.2
セ. 子どもを対象とした遊び・活動等に参加すること	12.2	24.7	40.3	9.5	6.3	7.0	0.1	3.3	9.7	30.6	17.7	30.3	8.3	0.1
ソ. 定期的に健康診断を受けること	54.2	32.3	7.3	1.1	0.5	4.5	0.1	31.0	34.8	9.9	10.2	6.9	7.1	0.0
タ. 食事バランスに気をつけること	55.8	32.0	6.8	0.6	0.2	4.5	0.0	19.2	43.1	17.9	10.4	2.7	6.6	0.1
チ. 定期的に運動をすること	44.8	38.7	9.9	1.2	0.3	5.1	0.0	14.5	26.5	19.3	22.8	10.0	6.7	0.0
ツ. 近隣にどんな人が住んでいるか知っていること	37.3	41.7	12.8	2.3	0.7	5.1	0.1	13.9	37.3	21.8	13.9	6.0	7.1	0.0
テ. 困ったときには近隣の人と相談しあうこと	26.9	39.5	22.3	4.0	2.1	5.1	0.0	7.3	22.6	28.7	18.8	15.6	7.0	0.0
ト. 地域の見守り・支え合い活動に参加すること	18.5	39.7	29.7	4.4	1.5	6.1	0.1	2.7	12.8	27.9	22.9	26.3	7.3	0.1
ナ. 地域の行事になるべく参加すること	14.0	35.8	34.5	6.9	3.1	5.7	0.0	3.4	14.5	27.4	22.9	24.7	7.1	0.0
ニ. 自治会・町内会の運営に参加すること	16.3	35.8	32.4	6.5	3.6	5.4	0.0	5.8	20.2	23.6	19.0	24.4	6.9	0.0

隣近所との付き合いや地域での活動についてお伺いします。

問7 あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。 (○は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1 顔もよく知らない 7.9% | |
| 2 道で会えば挨拶ぐらいする 45.6% | |
| 3 たまに立ち話をする 32.0% | |
| 4 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている 5.4% | |
| 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする 7.1% | 無回答 0.9% 判別不能 1.1% |

問8 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--|----------|
| 1 自治会・町内会の活動 19.9% | |
| 2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動 7.5% | |
| 3 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動 3.4% | |
| 4 身近な道路や公園などの清掃活動 8.7% | |
| 5 文化・芸術・スポーツの参加や振興 12.2% | |
| 6 祭や盆踊り、運動会などのイベント 13.8% | |
| 7 資源回収やごみの分別、リサイクル活動 21.2% | |
| 8 公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺の緑地（里山など）の自然環境の保全 2.4% | |
| 9 在日外国人や海外との交流・支援などの活動 1.3% | |
| 10 P T A活動 5.0% | |
| 11 保育ボランティアなどの子育て支援 1.2% | |
| 12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動 4.4% | |
| 13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり 1.2% | |
| 14 その他の社会奉仕などボランティア活動（具体的に | ） 4.0% |
| 15 特にない 45.8% | 無回答 3.7% |

▼問8で、「15 特にない」とお答えの方にお伺いします。

問8-1 あなたが、地域活動に参加しないのはなぜですか。 (○はいくつでも)

- | | |
|---|----------|
| 1 仕事・学業・家事などで忙しく、時間的なゆとりがないから 53.0% | |
| 2 どのような地域活動があるかわからないから 29.4% | |
| 3 一緒に活動する仲間がないから 18.4% | |
| 4 活動場所や日時の都合の合う地域活動がないから 10.6% | |
| 5 自分の興味に合う地域活動や、趣味や特技を活かせる地域活動がないから 10.2% | |
| 6 交通費等の経費がかかるから、又は報酬がでないから 2.2% | |
| 7 地域活動には興味がないから 12.8% | |
| 8 その他（ | ） 18.1% |
| | 無回答 1.8% |

問9 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | | |
|------------------|----------------------|---------------------|----------|-----------|
| 1 してみたいと思う 25.5% | 2 してみたいが今はできない 43.0% | 3 してみたいとは思わない 22.8% | 無回答 8.5% | 判別不能 0.2% |
|------------------|----------------------|---------------------|----------|-----------|

問9で、「1 してみたいと思う」または「2 してみたいが今はできない」とお答えの方にお伺い↓します。

問9-1 どのような活動に参加してみたいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|----------|
| 1 自治会・町内会の活動 16.0% | |
| 2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動 11.6% | |
| 3 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動 18.9% | |
| 4 身近な道路や公園などの清掃活動 19.3% | |
| 5 文化・芸術・スポーツの参加や振興 29.6% | |
| 6 祭や盆踊り、運動会などのイベント 16.6% | |
| 7 資源回収やごみの分別、リサイクル活動 10.3% | |
| 8 公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺の緑地（里山など）の自然環境の保全 19.7% | |
| 9 在日外国人や海外との交流・支援などの活動 13.5% | |
| 10 PTA活動 1.7% | |
| 11 保育ボランティアなどの子育て支援 11.3% | |
| 12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動 11.2% | |
| 13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり 5.1% | |
| 14 その他の社会奉仕などボランティア活動（具体的に | ） 7.0% |
| 15 特にない 7.7% | 無回答 5.3% |

問10 あなたが地域でよく利用している施設、もしくは利用してみたい施設はどれですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 子育てを支援する施設 9.5% | 2 高齢者を支援する施設 13.6% |
| 3 障害者を支援する施設 6.0% | 4 地域の会合を開催できる施設 7.6% |
| 5 スポーツのできる施設 34.5% | 6 ホールのある施設 9.3% |
| 7 催しものができる施設 12.8% | 8 医療関係施設 18.0% |
| 9 商業施設 21.4% | |
| 10 その他の施設（具体的に | ） 4.7% |
| 11 特にない 23.5% | 無回答 4.5% |



生活環境全般に対する満足度・重要度についてお伺いします。

問 11 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前と比べてどのように変わったと思いますか。(項目ごとに、「満足度」、「以前と比べて」からそれぞれ番号を1つ選んで○)

項目	満足度(%)							以前と比べて(%)					
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	判別不能	よくなった	変わらなかった	悪くなった	わからない	無回答	判別不能
ア. バスの便などの地域交通	27.5	36.3	16.7	8.9	7.1	3.4	0.1	20.6	46.0	8.9	15.2	9.2	0.1
イ. 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	19.5	39.9	20.0	9.4	4.8	6.4	0.1	17.6	56.0	3.6	11.7	11.0	0.2
ウ. 放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	8.8	33.7	22.7	12.1	15.9	6.8	0.1	17.5	41.9	7.8	21.1	11.6	0.1
エ. 区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	3.3	20.3	13.4	8.7	45.9	8.2	0.1	7.8	27.8	4.3	46.6	13.5	0.1
オ. 商店街の振興	5.8	23.5	25.0	17.0	22.7	6.0	0.0	7.2	33.9	20.9	26.8	11.1	0.1
カ. 公園の管理、整備	11.1	41.1	14.9	4.7	21.6	6.4	0.0	17.6	39.7	5.1	26.4	11.2	0.0
キ. 緑の保全と緑化の推進	12.1	39.1	14.1	5.3	22.2	7.1	0.1	15.9	39.3	6.3	26.8	11.6	0.1
ク. ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	14.1	47.0	17.0	4.8	10.9	6.0	0.1	27.4	38.9	5.8	17.1	10.8	0.1
ケ. 地球温暖化への対策	2.5	17.2	18.5	5.8	49.3	6.6	0.1	5.5	29.1	4.2	49.5	11.6	0.1
コ. 災害対策	3.2	19.0	18.6	6.3	46.1	6.8	0.0	6.1	32.0	1.7	48.1	12.1	0.0
サ. 防犯対策	3.7	25.1	20.1	6.9	37.7	6.4	0.1	9.6	34.1	4.0	40.2	11.9	0.1
シ. 食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.0	16.3	12.1	3.1	58.5	6.8	0.1	4.7	23.1	1.5	58.2	12.4	0.1
ス. 子育て支援や青少年の健全育成	2.9	16.7	12.9	4.6	54.8	8.1	0.0	5.7	22.8	3.2	55.0	13.2	0.0
セ. 感染症・生活習慣病など保健推進	3.0	18.9	11.0	2.7	56.5	7.8	0.1	6.8	23.5	1.0	56.0	12.7	0.1
ソ. 高齢者福祉	4.6	19.2	14.1	6.7	49.1	6.5	0.0	10.9	23.5	4.0	50.0	11.7	0.0
タ. 障害者福祉	3.5	13.7	11.4	4.7	59.1	7.4	0.1	6.8	19.6	2.7	58.6	12.1	0.1
チ. 経済的に困っている人の保護	2.2	9.0	10.6	6.4	64.2	7.8	0.0	3.0	16.9	4.1	63.5	12.3	0.1
ツ. 地域活動支援	2.5	15.5	10.2	2.3	60.6	8.8	0.1	4.8	20.5	1.9	59.1	13.7	0.0
テ. 地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	6.5	28.3	12.5	3.8	41.5	7.3	0.1	10.7	29.9	2.7	44.5	12.1	0.1
ト. 広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	4.6	23.9	11.3	2.7	49.7	7.8	0.1	7.9	27.2	1.3	50.2	13.1	0.2
ナ. 身近な住民窓口サービス	7.2	29.7	11.1	4.0	40.5	7.3	0.2	14.6	29.0	1.7	42.1	12.6	0.1
お住まい周辺の生活環境の総合的な評価	7.9	45.8	19.0	4.8	12.5	9.7	0.2	11.6	47.7	5.5	20.5	14.7	0.1

問 12 上記ア～ナの質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。

(ア～ナから3つを選んで記入)

ア 33.5%

サ 32.4%

コ 26.3%

問 13 上記ア～ナの質問項目のうち、磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。

(ア～ナから3つを選んで記入)

コ 38.0%

サ 29.6%

ソ 27.9%

区政に関する情報や区の事業などについてお伺いします。

問 14 あなたは主にどのような媒体で区役所や市役所からの情報を入手していますか (〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------------|-------------------------|------------------------|
| 1 広報よこはま 70.9% | 2 区や市のパソコン用ホームページ 15.2% | 3 区や市の携帯電話用ホームページ 1.5% |
| 4 テレビ 7.4% | 5 ラジオ 2.0% | 6 新聞 16.1% |
| 7 タウン紙 24.0% | 8 パンフレット・チラシ 9.9% | 9 町内会等の掲示板 33.1% |
| 10 回覧板 49.3% | 11 コールセンター 0.3% | 12 区の窓口 5.4% |
| 13 口コミ (人づて) 7.5% | 14 その他 () 0.8% | 15 特に入手していない 8.6% |
- 無回答 1.2%

問 15 区役所から提供してほしい情報は何か (〇はいくつでも)

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1 区役所での手続き 30.8% | 2 区内の施策や計画 27.4% | 3 制度や相談窓口 38.1% |
| 4 地域の身近な情報 52.1% | 5 区内のイベント 26.6% | 6 その他 () 3.3% |
- 無回答 8.9%

問 16 あなたは、磯子区で策定している以下の方針、及び計画について知っていますか。
(項目ごとに〇は1つ)

①磯子区区政運営方針

- | | | |
|-----------------|----------------------------|--------------|
| 1 内容を知っている 2.8% | 2 名称は知っているが、内容はわからない 25.0% | 3 知らない 69.6% |
|-----------------|----------------------------|--------------|
- 無回答 2.6%

②横浜市都市計画マスタープラン・磯子区プラン 磯子区まちづくり方針

- | | | |
|-----------------|----------------------------|--------------|
| 1 内容を知っている 2.3% | 2 名称は知っているが、内容はわからない 26.4% | 3 知らない 68.9% |
|-----------------|----------------------------|--------------|
- 無回答 2.5%

③磯子区地域福祉保健計画 (愛称：スイッチ^{オン}磯子)

- | | | |
|-----------------|----------------------------|--------------|
| 1 内容を知っている 5.7% | 2 名称は知っているが、内容はわからない 25.0% | 3 知らない 66.8% |
|-----------------|----------------------------|--------------|
- 無回答 2.4% 判別不能 0.1%

《参考》



磯子区区政運営方針



横浜市都市計画マスタープラン・
磯子区プラン 磯子区まちづくり方針



磯子区地域福祉保健計画
(愛称：スイッチ^{オン}磯子)

問 17 あなたは高齢者の介護や福祉のことで困ったときに、どこに相談しますか。 (〇はいくつでも)

1 区役所 59.7%	2 地域ケアプラザ・地域包括支援センター 30.9%	3 区社会福祉協議会 10.4%
4 わからない 19.8%	5 その他 () 3.7%	無回答 2.7%

《新杉田行政サービスコーナーの利用についてお伺いします。(行政サービスコーナーでは、土日でも住民票の写し等の証明書の発行を受けることができます)》

問 18 あなたは新杉田行政サービスコーナーを利用したことがありますか。 (〇は1つ)

1 利用したことがある 32.2%	2 知っているが、利用したことがない 27.7%	3 知らない 37.7%
		無回答 2.4%

↓ 問 18 で「2 知っているが、利用したことがない」と答えた方にお伺いします。

問 18-1 利用しない理由は何ですか。 (〇はいくつでも)

1 業務内容がわからない 8.2%	2 自分にとって利用しにくい場所にある 40.9%
3 開いている時間が自分のニーズに合わない 3.3%	4 証明書が必要なことがあまりない 48.1%
5 その他 () 13.4%	無回答 1.8%

災害対策についてお伺いします。

問 19 あなたやあなたの家族にとって大地震が起きたときに特に心配なことをあげてください。

(〇はいくつでも)

1 家屋の倒壊損傷 63.1%	2 家具の転倒 39.4%
3 火災の発生 63.4%	4 津波の被害 22.0%
5 土地の液状化 19.2%	6 がけ崩れや地割れ 29.5%
7 災害情報の入手 45.4%	8 家族・知人の安否 66.9%
9 水道・電気・ガスなどのライフラインの停止 82.3%	10 食料品・飲料水の確保 66.1%
11 避難場所での生活 51.3%	12 けが・病気の治療 42.4%
13 要援護者(高齢者や障害のある方)の避難 15.5%	14 いざというとき、隣近所に頼る人がいない 14.7%
15 交通機関の運休・帰宅困難になること 42.2%	16 デマなどによる治安の乱れ 21.1%
17 ペットの保護 13.5%	18 特に心配なことはない 0.3%
19 その他 () 1.1%	無回答 1.3%

問 20 あなたの家庭では大地震に対してどのような準備を行っていますか。 (〇はいくつでも)

1 建物の耐震診断や耐震補強 10.7%	2 家具類の固定や転倒防止などの対策 38.0%
3 家族との連絡方法の確認 44.5%	4 避難場所(地域防災拠点等)の確認 42.2%
5 携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意 73.7%	6 3日分以上の食料品・飲料水の備蓄 41.0%
7 地域の防災訓練への参加 11.0%	8 隣近所との話し合い 6.0%
9 職場や学校からの帰宅ルートの確認 17.7%	10 特に何もしていない 8.7%
11 その他 () 0.6%	無回答 1.6%

問 21 あなたは、磯子区や横浜市が行っている次の防災事業などについて、知っていますか。

(項目ごとに○は1つ)

①地域防災拠点 (家屋の倒壊などにより自宅で生活できない方が一定期間避難生活を送る場所です。)

1 内容を知っている 15.1% 2 聞いたことはあるが、内容は知らない 26.3% 3 知らない 55.3%
無回答 3.2% 判別不能 0.1%

②広域避難場所 (地震による大火災発生時の避難場所となります。)

1 内容を知っている 45.4% 2 聞いたことはあるが、内容は知らない 32.4% 3 知らない 19.9%
無回答 2.1% 判別不能 0.2%

③磯子区防災マップ

1 内容を知っている 18.8% 2 聞いたことはあるが、内容は知らない 43.0% 3 知らない 34.8%
無回答 3.4% 判別不能 0.1%

④ハザードマップ (横浜市が発行しており、液状化・洪水・地震などの情報が見られます。インターネットでの閲覧も可能です。)

1 内容を知っている 8.2% 2 聞いたことはあるが、内容は知らない 31.6% 3 知らない 57.6%
無回答 2.5% 判別不能 0.1%

⑤「横浜市危機管理ホームページ」(市内雨量情報、河川水位情報や地震情報などの防災情報が見られます。)

1 内容を知っている 6.9% 2 聞いたことはあるが、内容は知らない 20.4% 3 知らない 69.4%
無回答 3.2% 判別不能 0.1%

《住宅用火災警報器の設置についてお伺いします。(消防法の改正により、平成 23 年 5 月 31 日までに住宅へ火災警報器を設置することが義務付けられています)》

問 22 あなたのお宅では住宅用火災警報器などの自動で火災を感知する設備を設置しましたか。

(○は1つ)

1 設置した 71.9% 2 設置していない 21.0% 3 わからない 4.0%
無回答 3.0% 判別不能 0.1%

※アパートやマンションなどで既に自動火災報知設備の感知器が設置されている場合も「1 設置した」を選択してください。

問 22 で「1 設置した」と答えた方にお伺いします。

《改正消防法では「寝室」、「台所」、「階段」(寝室が2階以上にある場合)に住宅用火災警報器などの感知器を設置することが義務付けられています》

問 22-1 あなたのお宅で住宅用火災警報器などの感知器が設置されている場所は、どこですか。

(○はいくつでも)

1 台所 91.6% 2 寝室 69.2% 3 階段 20.6% 4 廊下 14.9% 5 その他 () 14.9%
無回答 0.6%

↓ 問 22 で「2 設置していない」と答えた方にお伺いします。

問 22-2 住宅用火災警報器などの感知器を設置していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 設置義務を知らなかったから 16.7% 2 どこで購入してよいかわからないから 14.1%
3 設置方法がわからないから 14.1% 4 どこに設置すればよいかわからないから 17.7%
5 費用がかかるから 37.2% 6 その他 () 33.3%
無回答 4.1%

あなたご自身やご家族のことについてお伺いします。

F 1 あなたの性別をお選びください。 (○は1つ)

1 男性 41.3%	2 女性 56.9%	無回答 1.8%
------------	------------	----------

F 2 あなたの年齢をお選びください。 (○は1つ)

1 20歳～24歳 3.8%	2 25歳～29歳 3.8%	3 30歳～34歳 6.0%	4 35歳～39歳 8.0%	5 40歳～44歳 8.3%
6 45歳～49歳 8.2%	7 50歳～54歳 6.8%	8 55歳～59歳 7.7%	9 60歳～64歳 12.7%	10 65歳～69歳 10.4%
11 70歳～74歳 8.7%	12 75歳以上 14.5%	無回答 1.1%		

F 3 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。 (○は1つ)

1 既婚 (配偶者あり) 67.4%	2 既婚 (離死別) 12.4%	3 未婚 17.1%
		無回答 3.1% 判別不能 0.1%

F 3-1 (F 3で既婚 (配偶者あり) と答えた方) あなたは共働きをしていますか。 (○は1つ)

1 フルタイム共働き 13.7%	2 パートタイム共働き (夫婦の何れか、あるいは両方がパートタイム) 23.6%
3 していない 60.7%	無回答 1.8% 判別不能 0.2%

F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。 (○はいくつでも)

1 小学校入学前 8.3%	2 小学校在学中 8.6%
3 中学校在学中 6.3%	4 高校在学中 5.8%
5 各種学校、専修・専門学校在学中 0.9%	6 短大・大学・大学院在学中 5.7%
7 学校教育終了—未婚—同居 18.3%	8 学校教育終了—未婚—別居 9.9%
9 学校教育終了—既婚—同居 4.0%	10 学校教育終了—既婚—別居 28.0%
11 その他 () 2.7%	12 子どもはいない 20.6%
無回答 9.5%	

F 5 あなたのご家族 (同居されている方) の構成をお選びください。 (○は1つ)

1 ひとり暮らし 10.8%	2 夫婦のみ 27.5%	3 親と子 (2世代) 49.0%
4 祖父母と親と子 (3世代) 5.2%	5 その他 () 4.9%	無回答 2.5% 判別不能 0.1%

F 6 あなたのご職業をお選びください。 (○は1つ)

1 自営業・自由業 (農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者) 6.2%				
2 管理職 (会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など) 3.6%				
3 専門技術職 (勤務医師、研究所研究員、技師など) 8.1%				
4 事務職 (事務職、営業職、教員など) 15.6%				
5 生産・販売等の職業 (生産工程、販売・サービス、運転手、保安職など) 14.3%				
6 主婦・主夫 24.1%	7 学生 1.5%	8 無職 23.2%	無回答 2.6%	判別不能 0.9%

F 7 あなたの住んでいる町名をお選びください。(○は1つ)

《根岸地域》			
1 上町 0.9%	2 馬場町 1.0%	3 坂下町 0.8%	4 下町 0.8%
5 原町 0.8%	6 西町 1.5%	7 東町 1.5%	8 鳳町 0.0%
《滝頭地域》			
9 丸山一・二丁目 3.6%	10 滝頭一～三丁目 3.4%	11 岡村一～三丁目 3.2%	12 中浜町 0.9%
《岡村地域》			
13 岡村四～六・八丁目 4.6%			
《磯子地域》			
14 磯子一～八丁目 13.3%	15 磯子台 1.1%	16 広地町 0.6%	17 久木町 0.9%
18 岡村七丁目 0.9%	19 新磯子町 0.0%		
《汐見台地域》			
20 汐見台1～3丁目 4.1%			
《屏風ヶ浦地域》			
21 森一～六丁目 8.2%	22 中原一～四丁目 4.0%	23 新中原町 0.0%	24 森が丘一・二丁目 2.0%
25 新森町 0.0%			
《杉田地域》			
26 杉田一～九丁目 12.9%	27 杉田坪呑 1.3%	28 新杉田町 0.4%	
《上笹下地域》			
29 田中一・二丁目 1.9%	30 栗木一～三丁目 3.4%	31 上中里町 2.0%	32 峰町 0.2%
33 氷取沢町 2.3%			
《洋光台地域》			
34 洋光台一～六丁目 15.5%			無回答 1.8% 判別不能 0.1%

F 8 あなたのお住いの形態をお選びください。(○は1つ)

1 持家（一戸建て） 43.3%	2 持家（マンション・共同住宅） 31.8%
3 借家（一戸建て） 2.3%	4 借家（県営・市営の共同住宅） 3.0%
5 借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅） 5.2%	6 社宅、公務員住宅 1.9%
7 民間アパート、民間賃貸マンション 10.2%	8 その他（ ） 0.9%
無回答 1.2% 判別不能 0.1%	

F 9 あなたは今のお住いにいつごろから住んでいますか。(○は1つ)

1 昭和 20 年（1945）より前 1.9%	2 昭和 20～29 年（1945～1954） 2.0%
3 昭和 30～39 年（1955～1964） 4.0%	4 昭和 40～49 年（1965～1974） 11.6%
5 昭和 50～59 年（1975～1984） 13.4%	6 昭和 60～平成 6 年（1985～1994） 15.7%
7 平成 7～11 年（1995～1999） 11.5%	8 平成 12～16 年（2000～2004） 14.3%
9 平成 17～21 年（2005～2009） 17.7%	10 平成 22 年（2010）以降 6.5%
無回答 1.3% 判別不能 0.1%	

F10 あなたはどこへ通勤・通学されていますか。職業をお持ちでない方は、日常生活を主に過ごす場所をお選びください。(○は1つ)

1 磯子区 49.3%	2 横浜市内の他の区 28.5%	3 神奈川県内の他市町村 5.2%
4 東京都内 10.4%	5 その他 () 2.5%	無回答 3.8% 判別不能 0.3%

F11 あなたが普段利用している鉄道駅は、次のうちのどこですか。(最も利用頻度の高い駅に1つだけ○)

1 根岸駅 15.2%	2 磯子駅 15.8%	3 新杉田駅 7.8%	4 洋光台駅 20.3%	5 港南台駅 0.4%
6 上大岡駅 10.1%	7 屏風浦駅 6.1%	8 杉田駅 8.8%	9 その他 () 4.0%	
10 普段、鉄道を利用しない 6.9%				無回答 2.9% 判別不能 1.7%

↓ F11で「1 根岸駅」～「9 その他」と答えた方にお伺いします。

F11-1 あなたが普段利用している鉄道駅までの交通手段は何ですか。(○は1つ)

1 徒歩のみ 47.8%	2 自転車 4.3%	3 バイク 1.3%	4 バス 25.9%
5 自家用車 1.9%	6 その他 () 1.6%		無回答 16.1% 判別不能 1.1%

自由意見欄

区役所に対するご意見・ご提案や、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケート票は同封いたしました返信用封筒に入れて、

平成23年6月29日(水)までにご投函ください(切手及び記名は不要です)。



磯子区マスコットキャラクター
いそっぴ

平成23年度 磯子区民意識調査 報告書

平成 23 年 12 月発行

横浜市磯子区政推進課

〒235-0016 横浜市磯子区磯子 3-5-1

TEL 045(750)2331 FAX 045(750)2533